

第六十二回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第四回

付託議案

關稅定率法中改正法律案(政府提出)
輸入税ノ從量税率ニ關スル法律案(政府提出)
遠洋漁業獎勵法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和七年六月九日(木曜日)午前十時四十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事 守屋 榮夫君

理事 高橋熊次郎君

理事 手代木隆吉君

中島知久平君 小笠原三九郎君

倉元 要一君 若宮 貞夫君

江藤源九郎君 武田德三郎君

杉本國太郎君 青山 憲三君

中島彌團次君 櫻井兵五郎君

永田善三郎君 田島勝太郎君

小池 四郎君 今井 健彦君

同日委員高橋熊次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ今井健彦君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣男爵 中島久萬吉君

拓務大臣 永井柳太郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 堀切善兵衛君

大藏省主稅局長 中島 鐵平君

農林省農務局長 小平 權一君

農林省山林局長 長瀬 貞一君

農林省水產局長 戸田 保忠君

農林省畜產局長 村上龍太郎君

商工政務次官 岩切 重雄君

商工參與官 松村 光三君

商工省工務局長 竹内 可吉君

商工省鑛山局長 福田 庸雄君

商工省貿易局長 寺尾 進君

拓務省殖產局長 北島謙次郎君

朝鮮總督府政務總監 今井田清德君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

商工省囑託 吉田 永助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

輸入税ノ從量税率ニ關スル法律案(政府提出)

遠洋漁業獎勵法中改定法律案(政府提出)

提出)

○東委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス

○倉元委員 私議事進行ニ付テ一言委員長ニ申上ゲテ見タイと思フ、委員長

ガ昨日守屋理事ニ席ヲ譲ラレテ御出デ

ニナリマシタ後ノ狀態ヲ見テ居リマス

ト、又中島君永田君ガ御發言ニナリ、

續イテ中島君ガ御發言ニナリマシタガ、

此關聯シタ事項トシテ質問ノ場合ハ成

○小池委員 今ノ御發言デ時間モナイ

ベク其關聯事項ダケヲ濟マセバ、後ハ

本筋ノ質問ノ順序ニ返ルト云フコトニ

ヤツテ戴カナイト、際限ナク其關聯事項

デ、又同一人ニ返テ行クト云フコトデ

ハ、同ジ事ガ繰返サレ、各人ガ考ヘテ

居ル質問モ中島君ノ質問ニ依ッテ満足

出來ルモノモアリ満足シ得ナイモノモ

アル、斯ウ云フ事ヲ考ヘテ見マス、

今ノ狀態デ進メバ是カラ一週間アッテ

モ足リナイ、ドウカ委員長ハ其邊ノコ

トヲ按配セラレテ、一通リ其本人ノ通

告順ニ依ル質問ノ大體ノコトヲ終ッタ

ナラバ、次ノ人ニ御廻ハシ下サリ、サ

ウシテ尙ホ時間ノ餘裕ガアリマシタナ

ラバ、再び其者ニ御許シ下サルト云フ

コトデ御進ミニナラヌト、此狀態デ進

ミマス、何日アッテモ私ハ足リナイト

思ッテ居リマスガ、ドウカサウ云フ方針

デ御進ミヲ願ヒタイ

○東委員長 承知シマシタ、委員長ハ

成ベク寛容ノ態度デ議ヲ盡シタイト云

フ積リデヤツテ居ルノデアリマスルガ、

段々期間モ切迫シテ參リマシタノデ、

本日ハサウ云フ倉元君ノ要求ノ通りニ

取計フ積リデ居リマス、御承知ヲ願ヒ

マス

○小池委員 今ノ御發言デ時間モナイ

コトデアリマスカラ、本筋ダケヲ質問

シタイト存ジマス、今迄ノ委員會デ、

幾分之ニ觸レタ點ガアッタと思ヒマス

ルガ、マダドウモ納得シ兼ねル點ガア

ルノデ、四五ノ點ニ付テ御質問ヲ是非

シナケレバナラナイ、ソレハ銑鐵ト木

材ニ關スル問題デアリマスガ、銑鐵ノ關

稅値上ニ付キマシテ、何故關稅ノ値上

ヲスルカト云フ、其動機ガ印度銑云々

ト云フコトニアルコトハ承知シテ居リ

マスガ、其點ガ私共不審ニ考ヘラレル

點ガ多イノデアリマス、事實ハ内地產

ノ銑鐵ノ保護ヲシナケレバナラナイト

云フノハ、其主ナル對象ガ印度銑ニア

ルノデハナクシテ、實ハ滿洲產ノ銑鐵

ニアルノデハナイカト云フコトヲ吾々

ハ考ヘサセラレルノデアリマス、ト云

フノハ外デモナイノデアリマスガ、銑

鐵共同組合デアリマス、此構成員ノ行

動ニ付テハ、色々ナ統制ガ行ハレテ居

ル譯デアリマスルガ、事實ハ此共同組

合ハ、其統制ガ破レテ居リマシテ、滿

洲ノ銑鐵業者モ入ッテ居リマスルガ、ヤ

ハリソレヲ破ッテ、ドン／＼獨自ノ行動

ヲシテ居ル、又内地ノ銑鐵業者モソレ

ソレ獨自ノ行動ヲシテ、共同組合ナル

「カルテル」ガ其本能ヲ發揮スルコト

ガ出來ナイ狀態ニナツテ居リマス、事實ハヤハリ滿洲銑ガ相當ソレヲ突破シテ内地ニ飛込シテ來テ居ル狀態デアリマス、サウシテ内地ノ銑鐵業者ヲ脅カシテ居ルト云フ點カラ、此問題ガ起ツタノデハナイカト云フコトヲ吾々ハ考ヘサセラレルノデアリマス、ト云フノハ統計ヲ見テモ分ルコトデアリマスガ、滿洲銑鐵ノ内地移入高ト云フモノハ非常ニ年々増加シテ居リマシテ、昭和四年ハ十九萬七千噸、五年ハ十七萬九千噸、六年ニ至ツテハ二十四萬二千噸、斯ウ云フヤウニ累増シテ居リマス、今年七年ニハ特ニ多クナリマシテ、四月迄ノ私ノ調べニ依リマスト既ニ十一萬噸ノ滿洲銑鐵ガ内地ニ入ツテ居リマス、是ガ七年ニ於キマシテハ、今後此關稅問題ニ依ツテ變化ガアルト思ヒマスガ、此儘ニ置キマスナラバ、恐ラク非常ナ數字ニ云フコトモ考ヘラレル、ドノ位ニナルカ知レマセスガ、サウ云フヤウナ滿洲銑ノ非常ナ累年ノ増加、此問題ガ内地ノ銑鐵業者ヲ脅威シテ居ルコトハ明カニ分ルノデアリマス、是ハ今年一月カラ四月マデノ、月別ノ輸入高ト云フモノヲ調べマシテモ、ドン／＼殖エテ參リマシテ、一月ト四月トハ大變ナ違ヒヲ起シテ居リマス、ソレニ較ベマス、ト問題ノ對象ニナツテ居リマス所ノ印度

銑鐵ト云フモノハ大シタコトハナイノデアリマス、今年ノ一月、二月、三月、四月ノ輸入高ヲ見マシテモ大シタコトモゴザイマセヌ、四月マデニ七萬四千噸ダケ入ツテ居リマスガ、是ハ私共ノ調べニ依リマス、普通ノ狀態デハナクシテ、今日ノ此關稅ノ引上ト云フ問題ガ見エ透イテ居リマスル爲ノ迷惑ガアル爲ニ、相當入ツテ居ルノデ、普通ナラバ斯ウ入ルコトハナイト思ヒマス、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘマスルト、内地銑鐵業者ノ本當ノ脅威ニナル所ノ重大ナル主體ハ、滿洲ノ銑鐵デアツテ、印度銑鐵デハナイト云フコトハ、今度ノ關稅値上ノ眞ノ目的ガ何處ニアリマセウトモ、事實ニ於テハ、此引上ヲスルシナイト云フコトガ、内地ノ銑鐵業者ト滿洲銑鐵業者ノ間ノ問題ト化ケ變ツテ來テ居ルト云フコトガ事實デアリマス、サウ云フ問題ガ事實トシテ起リマスガ、サウナルト滿洲ト日本ノ産業ノ對立狀態ト云フコトニナルノデアリマ、其點ニ付テ、サウナツテモ構ハナイトカ、或ハソレハ困ルコトナノダトカ、何レカノ御意見ガアルト思ヒマスガ、其點ノ御意見ヲ承リタイ

○福田政府委員 御答致シマス、只今今同ノ關稅改正ハ滿洲銑ノコトヲ考慮シテ、企テラレタノデヤナイカト云フ御意見デゴザイマシタガ、私共ノ考ヘマシタノハ、決シテサウ云フ積リデハゴザイマセヌ、此不況裡ニ際シテ、御承知ノ通り銑鐵ノ需要ハ非常ニ減ツテ居リマス、内地及朝鮮、滿洲ヲ合セマシテ、日本ノ銑鐵生産能力ハ二百十何萬噸ト云フヤウナ、堂々タル生産能力ヲ持つテ居ルニ拘ラズ、現實ノ產額ハ百四十萬噸、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居リマス、恰度日本ノ需要ガ、内地ノ現在ノ生産ヲ以テ充タサレテ居ル形ニナツテ居リマス、サウシテ減產率ハ、四割ニモナツテ居リマス、ニモ拘ラズ、印度銑ノ輸入ハ尙ホ止マナイ、是ハ國家ノ政策上カラ見テ非常ニ不得策デアリマシテ、是以上減產ヲスルト云フヤウナコトニナレバ、徒ラニ印度銑ノ輸入ガ増加スル、斯ウ云フ結果ニナリマスノデ、此上印度銑ガ輸入サレテ、サウシテ多大ノ「ストック」ヲ擁シテ苦シデ居ル内地業者ノ苦痛ヲ増スト云フコトハ、内地ノ最も重要ナル銑鐵業ノ基礎ヲ非常ニ危殆ニ陥ラシムル虞ガアル、斯ウ云フ見地カラ致シマシテ立案致シマシタ、滿洲銑ガ入ツテ來ルカラ、ソレヲドウトカシヨウト云フ考ハ毛頭ナイノデアリマス、私共ノ考ト致シマシテハ、内地ノ銑鐵、朝鮮ノ銑鐵、ソレカラ滿洲產ノ銑鐵ト云フモノヲ以テ、廣イ意味ニ於キマシテノ自給自足ヲ圖リタイ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマスノデ、

滿洲ノ銑鐵ヲ特別ニ待遇シテ、此輸入ヲ困難ナラシムルト云フ目的ハ全然考ヘテ居リマセヌ

○小池委員 立案ノ趣旨ハ能ク分リマスケレドモ、立案ノ趣旨如何ニ拘ラズ、結果ニ於テ内地產銑鐵ノ生産高ガ、内地ノ需要ヲ充タスニ餘リアルト仰シヤルノデスカラ、結局此關稅改正ガ通リマスレバ、内地ノ需要ハ全部内地ノ生産ニ於テ補フコトガ出來ル、結果ニ於テハ滿洲ノ銑鐵ガ入ルコトガ出來ナクナルト云フコトハ承認シナケレバナナイ、其事ハドウナツテモ構ハナイト云フ覺悟ガアツテ、斯ウ云フコトヲ爲サツタノカドウカト云フ、結果ニ付テノ御意見ヲ承リタイ

○福田政府委員 私共ハ少クモ銑鐵ニ關スル限リニ於キマシテハ、滿洲ノ銑鐵モ、内地ノ銑鐵ト同ジヤウナ「レベ」ニ於テ之ヲ助長致シテ行キタイト考ヘテ居リマス、滿洲ノ銑鐵ニ付テハ、輸入稅ハ一應課カリマスガ、併シ他ノ何等カノ方法ニ依リマシテ之ヲ緩和致シマシテ、詰リ滿洲ノ銑鐵ト印度銑鐵トノ競争上有利ニナル結果ニナルコト、信ジマス、滿洲ノ銑鐵ノ生産ガ、此關稅ヲ課シタコトニ依ツテ、今日非常ニ不利益ニナルト云フコトハ毛頭アリマセヌ、御心配ニナルヤウナ事實ハナイト考ヘマス

○小池委員 毛頭御心配ハナイト仰シヤイマスケレドモ、何等カ滿洲ノ銑鐵ダケニ付テ有利ノ條件ヲ御作リニナルト云フコトデアリマスガ、有利ノ條件ヲ御作リニナレバ當然此關稅改正ト同時ニ何等カ追加豫算ヲ御出シニナラナケレバ實行不可能ダト考ヘマスガ如何デスカ

○福田政府委員 此問題ハ國際性ガアリマスノデ、速記ヲ中止シテ……

○東委員長 デハ速記ヲ中止シテ……〔速記中止〕

○東委員長 ソレデハ速記ヲ始メテ下サイ

○小池委員 其點ハソレデオシマヒニ致シマス、極ク簡單デアリマスガ輸入銑鐵ガ高クナル、同時ニ關稅引上ニ依ッテ内地銑鐵モ幾分値上リニナルト思フノデアリマスガ、サウスルト「スクラップ」ト云フモノハ當然入ッテ來ルト思ヒマス、是ハ大分入ッテ來ルト思ヒマスガ、ソレニ付テ御考ハドウデスカ

○福田政府委員 只今御質問ノ通り、「スクラップ」ハ、又此銑鐵ト同時ニ鋼材ノ製造ノ重要ナル原料ニナッテ居リマスノデ、サウシテ或ル部分ニ於テハ銑鐵ノ代用モ致スノデゴザイマスカラ、「スクラップ」ノ稅モ只今ハ無稅ニナッテ居リマスガ、「スクラップ」ノ稅ニ付テモ相當ノ課稅ヲシナケレバ、銑鐵ノ保護

ハ全キヲ得ナイデハナイカト、サウ云フ御質問ノヤウニ伺ヒマスガ、「スクラップ」ハ銑鐵ト違ヒマシテ、特定ノ工場ニ於テ生産サレルモノデハナク、副産物トナッテ出テ來ルノデアリマスカラ、其供給モ自カラ限リガアルノデアリマス、サウシテ此輸入「スクラップ」ハ、原則トシテ米國方面カラ參リマスモノガソレガ大部分デゴザイマス、爲替相場ノ影響ヲ受ケマシテ、御承知ノ通り相當値段モ騰貴致シテ居リマス、現在ノ狀態ニ於キマシテハ、特ニ無稅ノ「スクラップ」ニ關稅ヲ設定シテマデ、此輸入ヲ抑壓スルト云フコトノ必要ハナイノデハナイカ、取敢ヘズ此銑鐵ニ課稅ヲ致シマシテ、サウシテ印度銑鐵ノ輸入ヲ防遏スルト云フ程度ニ止メテ置ク方ガ、寧ロ現在ノ狀態カラ申シマスレバ妥當デアルト、斯ウ云フ考カラ致シマシテ、「スクラップ」ハ從前ノ通り据置イテ、銑鐵ダケ相當ノ稅ヲ増徴スルト、斯ウ云フ企テヲ致シマシタ

○小池委員 分リマシタガ、ソレハドウモ幾分妙ナ所ガアッテ、印度ノ方ハヒドクヤッ付ケルケレドモ、米國或ハ南洋邊リカラ來ル「スクラップ」ニ付テハ、相當寬大ナル處置ニ、結果ニ於テハナルト信ジマス、是ハ少シ偏頗ダト云フコトヲ申上ゲテオシマヒニ致シマス、次ニ此銑鐵ノ引上ヲ致シマスルコトハ、

日本ノ銑鐵産業ノ振興ノ爲メデアリマスガ、同時ニソレノ影響トシマシテ、銑鐵業ニ使ハレテ居ル勞働者ガ、ソレニ依ッテ潤ハナケレバナライ結果ニナリマス、是ハ當然デアリマスガ、一ツハ色々ナ銑鐵業者ノ方カラノ自己辯護ニ依リマスルト、日本ノ銑鐵業ヲ盛ンナラシメル爲ニ關稅引上ヲヤッテ吳レルナラバ、勞働者ガ非常ニ潤フデアラウト云フヤウナコトヲ一ツノ大キナ理由トシテ宣傳シテ居ルヤウデアリマスガ、此點ニ付テ同時ニ銑鐵ガ引上グラレマスナラバ、已ムヲ得ズ鋼材ハヤハリ引上ゲラレルノデアリマスカラシテ、鋼材製造業ニ關係スル、所謂鋼材ヲ使用スル所ノ幾多ノ事業ニ關係シテ居ル所ノ勞働者ノコトモ傍ラ考ヘナケレバナライ、サウシテ此二ツノ種類ノ事業ニ携ッテ居ル勞働者ガドウ云フ風ナ影響ヲ受ケルカト云フコトハ、關稅引上ノ立案ヲ爲サル時ニ御考ニナタカドウカ

○福田政府委員 無論御話ノ通り、銑鐵製造業ナルモノハ、製鋼業ハ勿論、諸般ノ鐵工業ノ材料ヲ製造スル最モ基礎的工業デアリマスカラ、私共ト致シマシテモ此影響ハ最小限度ニ止メナクテハナラヌ、サウシテ此銑鐵ヲ製造スル方モ、亦之ヲ需要スル方モ、共存共榮デ行ク、詰リ一方ガ良クナッテモ一方ガ惡クナルト云フヤウナコトデハ、結局其原料製造者トシテハ、事業ガ不振ニナリマシテ、立行カヌコトニナリマスノデ、其邊ノ關係ハ十分ニ考慮致シタ積リデゴザイマス、ソレデ此關稅ダケデ銑鐵ヲ保護スルト致シマスレバ、只今計畫致シテ居リマスヨリ、遙ニ高イ稅ヲ課ケナクテハナラヌ、斯ウ云フ風ナ計算ニナリマスノデ、從來ノ獎勵金ヲ据置キマシテ、其足ラヌ所ヲ關稅ヲ補フ、斯ウ云フ或ル見方ニ依ッテハ甚ダ不徹底ナ遣方ヲ採ッタノデアリマスガ、其結果ト致シマシテ、ソレデハ消費工業

銑鐵ヲ消費スル工業ニ幾何ノ影響ガアルカト、斯ウ云フコトモ相當研究致シマシタ、デ關稅ハ此計畫通りニ致シマスト四圓引上ガルコトニナリマスガ、併シ御承知ノ通りノ不況時代デアリマスシ、「ストック」ハ六十萬噸モアル、斯ウ云フ狀態デゴザイマスノデ、中々實際上ソレ程ノ値上リガ來ルモノトハ考ヘラレナイノデアリマス、普通ノ狀態ニ於キマシテモ、關稅ダケ値上リガアルト云フコトハナイノデアリマシテ、マア七割モ上レバ結構ダト云フコトニナッテ居リマス、斯ウ云フ特殊ナ事情ニアリマスノデ、恐ラク値上リハ極ク少イデアラウト思ヒマス、其程度ノ値上リデアルトスレバ、其鐵ヲ消費スル他ノ工業ニ及ボス影響モ極メテ輕微デハナ

イカ、隨テ其方面ノ事業ニ惡影響ヲ及
ボシテ、其方面ノ事業ガ衰退シテ、失業
者ガ生ズルト云フコトハナカラウト思
フ、大體今ノ鐵ノ値ガ、御承知ノ通り非
常ニ安クナッテ居ルト云フコトモ、此日
本ノ銑鐵製造業ガ段々發達致シマシ
テ、今日ノ域ニ達シタト云フコトガ非
常ナ原因ニナッテ居リマスノデ、若シ反
對ニ日本ノ銑鐵ガ印度銑鐵ニ壓迫サレ
テ、事業ガ衰ヘルト云フコトニナレバ、
却テ日本ノ銑鐵ノ市價ガ印度銑鐵ノ思
フ儘ニ左右サレテ、現在ヨリモ吊上ル
ノデハナイカ、サウスレバ却テ其方面
ノ惡影響ノ方ガ怖イノデアリマス、其
程度ノ關稅ヲ引上ゲマシテモ、消費工
業ニ惡影響ヲ及ボスト云フヤウナコト
ハ、現在ノ狀態ニ於テハナイノデハナ
イカト考ヘテ居リマス

○小池委員 今ノ御答辯ハ解シ兼ネル
ノデアリマス、仰シヤル中ニ自己矛盾
ノヤウナコトガチヨット多イヤウニ思
フノデアリマスガ、是ハ私政府委員ノ
方ノ肚ノ中ヲ忖度スルノハ甚ダ失禮デ
アリマスガ、自ラ御自信ノナイヤウナ
無理ナ答辯ヲ爲サッテ居ルヤウニ考ヘ
テラレルノデアリマス、サウデナケレバ
甚ダ失禮デアリマスガ、ドウモサウ云
フ風ニ取レマス、第一此關稅ヲ値上シ
テモ、内地ノ銑鐵ノ値段が大シテ上ラ
ナイト仰シヤル位ナラバ内地銑鐵業者

ル意思ハ無論持ッテ居リマス、又斯ノ如
クスルコトガ日本ノ製鐵政策カラ言ッ
テ當然ノコト、考ヘテ居リマスガ、如
何セン、御承知ノ通り只今ノ鋼材ノ事
業ガ甚ダ振ヒマセヌ、現在鋼材ヲ製造
シテ居ル生産會社ノ生産品ヲ以テシテ
モ過剩ニナッテ居リマシテ、生産制限ト
云フヤウナコトヲ餘儀ナクサレテ居ル
ヤウナ狀態デアリマス、銑鐵製造工場
ニ於テ一貫作業ヲヤッタナラバ、洵ニ生
産過剩ニナリマシテ、市場ヲ混亂サセ
ルト云フ虞ガアリマスノデ、無論將來
鋼材ノ需要ガ増加致シマシテ、大ニ生
産増加ノ必要ガアル場合ニ於テハ、第
一ニ銑鐵ヲ製造シテ居ル工場ノ一貫作
業ヲヤラセタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ
居リマス

○小池委員 ソレモドウモ少シカシ
イト思フノデアリマシテ、今仰シヤル
所ニ依ルト、ヤハリ日本ノ鋼材業ト云
フモノハ相當苦シイ、死線ノ近所マデ
來テ居ルト云フヤウニ受取レマシタ、
ソレモ亦事實ダト思ヒマスガ、サウ云
フ苦シイ爲ニ一貫作業モ無理ニサセル
コトガ出來ナイト仰シヤルナラバ、銑
鐵ノ値ヲ上ゲテ、鋼材業ト云フモノヲ
苦シマセル、鐵工業ト云フモノヲ苦シ
マセルト云フコトガ既ニ矛盾デアル、
銑鐵業モ鋼材業モ兩方共苦シイノデア
ルノニ、此二ツノ中デ銑鐵業ダケヲ特

ニ助ケテヤルト云フ御意思デアルナラ
バ、私共ハ解シ兼ネル、次ニ今日ノ日
本ノ内地ノ製鐵業ト云フモノハ、極ク
二三ノ大財閥デアリマシテ、御承知ノ
通り三井系、三菱系、僅カデハアリマス
ルガ淺野系ガアルヤウデアリマスル
ガ、此大財閥ガ持ッテ居リマスル獨占製
銑業ト云フモノ、將來ト云フモノハ、
是ハ相當國民ガ關心ヲ持タナケレバナ
ラナイ危險ナル問題ダト私ハ思フ、ソ
レヲ幸ニモ——是ハ妙ナ自由主義的ナ
一ツノ作用デアリマシタケレドモ、印
度銑鐵ガ入リ、或ハ滿洲ノ銑鐵ガ入リ
マシテ、之ヲ自由主義的ニ調節シテ居
タ爲ニ、何等カノ其處ニ獨占的ナ威力
ノ發揮ガ薄クナッテ居ッタト云フコトハ
事實デアリマス、所ガ今度ノ關稅改正
デ以テ、印度銑ヲ叩キ付ケテシマフ、滿
洲銑ニ付テハ先程御話ガアリマシタカ
ラ左程デアリマセヌガ、ヤハリ相當
苦シクナルダラウト思ヒマスガ、其調
節劑ト云フモノガナクナッテシマフ以
上ハ、是ハ殆ド三井、三菱、特ニ三井ノ
獨占「カルテル」ガ玆ニ成立スルコトニ
ナル、サウシマシタ時ニ、今後内地ノ銑
鐵ノ市價ト云フモノハ、財閥ノ爲ニ常
ニ左右サレテシマフト云フコトハ、私
ハ豫想スルコトガ出來ルト思ヒマス、
此點ハ今マデノヤウナ時勢デアリマス
ルナラバ問題ハナカッタノデアリマス

ガ、今日協力内閣が出来タ其趣意モ其
處ニアルト思ヒマスガ、何等カ今マデ
ノ大キナ獨占資本主義ヲ匡正シ、或ハ
ソレヲ抑ヘ付ケナケレバナラナイト云
フ必要ガ生レテ來テ居ル時節デアリマ
ス、是ハ既ニ常識ニナツテ居ルト思ヒマ
スルガ、ソレニ反對ナ一ツノコトヲ政
府ガ作ッテヤルト云フコトハ、私ニ解シ
兼ネルコトナノデアリマス

○東委員長 一寸、小池サン、中途デス
ガ、アナタノ質問ハ大分大キナヤウダ
ガ、モウ盡キマスカマデアリマス、マ
デアリマスナラバ商工大臣ヲ呼ンデ來
マセウカ……

○小池委員 モウ直グデアリマス、來
テ貰ヘバ尙ホ宜シウゴザイマスガ(來
テ貰ッタ方ガ宜イデセウ)ト呼フ者ア
リ、來テ貰ッテ居ル間ニ私ドン／＼進
メマス——解シ兼ネル點デス、況シテ
私ガ心配シマスノハ、滿洲ノ銑鐵ト云
フモノハ、ヤハリ聞イテ居ル所ニ依リ
マス、三井物産トカ、或ハ三菱商事ガ
販賣權ヲ相當握ッテ居ルト云フコトデ
アリマス、ソレガ又事實デアルトスレ
バ、滿洲銑ニ依ッテ内地ノ銑鐵ノ値段ヲ
調節スルト云フコトモ相當ムツカシク
ナツテ來テ居ルト思フ、之ヲドウスル
カ、將來相當大キナ問題デアツテ、是ハ
政府當局ノ責任ニナツテ來ルト思ヒマ
ス、ソレニ付テハ斯ウ云フコトモ考ヘ

ラレル、八幡ノ製鐵所ガ今マデ鋼材ノ
値段ガ高クナリマシタ時ニ、八幡製鐵
所ガドン／＼鋼材ヲ賣出シマシテ、日
本ノ鋼材ガ、無理ニ高クサレタモノヲ
調節シテ居ッタ事實ガアル、若モソレヲ
スレバ、八幡製鐵所ノ銑鐵ガ、獨占資本
ノ威力ニ依ッテ無理ナ値上リヲ致シタ
時ニ、八幡製鐵所ガ銑鐵ヲドン／＼賣
テ、ソレデ調節スルト云フコトモ一法
デアリマスガ、何等カソレニ付テノ今
カラノ對策ハ御有リニナルカドウカ

○福田政府委員 今回ノ銑鐵引上ゲ
ハ、鋼材業者ニ對シテ惡影響ヲ與ヘル、
ソレデ銑鐵ダケヲ保護スル偏頗ナ方法
デヤナイカ、斯ウ云フ御質問デゴザイ
マスガ、銑鐵關稅ハ、先般大藏省ノ政府
委員カラ御説明モアリマシタ通り、從
來非常ニ低イ稅ニナツテ居リマシテ、鋼
材ハ度々稅率ノ改正ヲサレテ居リマス
ガ、銑鐵ハ明治三十九年ニ每百斤十錢
ト云フヤウナコトニ定メラレマシタ、
其當時ニ於ケル内地ノ銑鐵ノ產額ハ多
分十四萬噸位デアリマス、官營製鐵一
手デ造ッテ居ッタ、サウ云フ時代ノ稅率
ガ依然置カレテアルノデ、鋼材ノ稅率
ハ割合ニ低イ、是ハ強イテ鈞合ヲ取ル必
要モアリマセヌガ、實際ノ生産ノ狀態
其他カラ見マシテ、非常ニ低クナツテ居
ルヤウニ思ヒマス、サウシテ銑鐵關稅
ノ引上ゲニ依リマシテ、多少トモ値上

リモアリマスガ、無論鋼材ニモソレダ
ケノ影響ヲ及ボシマスガ、此鋼材ノ關
稅ニ付キマシテハ、今回一般的ニ其影
響ヲ見タ譯デハアリマセヌケレドモ、
其三割五分ノ從量稅ノ賦課ト云フ所カ
ラ致シマシテ、從量稅ニ依ル鋼材ノ各
種類ニ付キマシテハ、此銑鐵關稅過重
ニ依ル影響以上ニ、稅ガ實際上増スヤ
ウナ結果ニナリマスノデ、鋼材ノ方ニ
不鈞合ナ惡影響ヲ與ヘルモノトハ私共
ハ考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ此銑鐵
事業ヲ保護スルノハ、財閥ノ事業ヲ保
護スルノデアツテ、時代思想ニ反スル、
斯ウ云フ御意見デアリマスガ、私共ハ
何時モ鐵ノ生産事業其モノヲ念頭ニ置
キマシテ、日本ニ於ケル鐵ノ生産事業
ヲドウシテモ與サナケレバナラヌ、殊
ニ銑鐵ハ鋼材製造業其他ノ産業ノ基礎
ニナツテ居ル、鐵工業ノ原料品タルノミ
ナラズ、一方ニ於キマシテハ其莫大ナ
ル副產物ガ附キマシテ、其副產物ニ依ッ
テ化學工業、或ハ國防上必要ナル火藥、
或ハ飛行機ノ燃料ニナル「ベンゾール」
トカサウ云フモノガ澤山出テ參ル、詰
リ非常ナ重大ナ意味ヲ持ッテ居ル産業
デゴザイマスノデ、是非ソレヲ日本ニ
於テ興シタイ、斯ウ云フ考カラ致シテ、
此製鐵業振興ノ方策ヲ講ジタコトデア
リマスカラ、斷ジテ大財閥ノ保護トカ、
サウ云フコトヲ考ヘテ居ル譯デハアリ

マセヌ、御承知ノ通り此銑鐵製造業ニ
現在從事シテ居ル勞働者モ四千人以上
ニ上ツテ居ルト思ヒマスカラ、銑鐵ノ輸
入ヲ完全ニ防遏致シマシテ、相當ノ増
產ヲ期待スルコトガ出來ルトスレバ、
其方面ノ勞働ノ需要モ相當ニ大キクナ
ルダラウト思ヒマス、決シテ此財閥ノ
擁護、サウ云フ考カラヤッテ居ルノデハ
アリマセヌ、大體ニ斯ウ云フ事業ハ、事
業ノ性質ト致シマシテ、大キナ資本金
ヲ投資ヲ要シ又比較的新シイ事業デア
リマシテ、到底小サイ資本デ出來ル仕
事デハアリマセヌノデ、結果ニ於テ大
財閥ノ事業ニハナツテ居ルノデゴザイ
マスガ、決シテ其大財閥ヲ保護スルト
云フコトガ、吾々ノ目的デハナクテ、此
重要ナル産業ヲ保護助長シタイト云フ
ノガ目的デアリマス、サウシテ其印度
銑ノ輸入ヲ抑壓致シテシマッタラ、今度
ハ銑鐵ノ値ガ非常ニ上ルデハナイカ、
斯ウ云フ御心配モアルヤウデゴザイマ
スガ、假ニ此銑鐵ノ値ガ上ルト云フコ
トニナレバ、又印度銑ノ競争ガ其處ニ
生ジテ參リマスノデ、決シテ敵國外患
ガ去ッタト云フ譯デハアリマセヌ、唯或
ル程度ニ此日本ノ銑鐵ノ値ガ上ツテ、先
ヅ世界の水準若クハソレニ近い程度迄
上レバ結構デアルト云フヤウナ程度デ
ゴザイマスカラ、不當ナ値上リニナル

ト云フコトハ決シテナイノデゴザイマス、又サウシタクテモ國際的製品タル鐵ノ性質上、ソシナ値上ハ出來ナイト考ヘテ居リマス

ソレカラ滿洲銑ニ依ッテ日本ノ内地ノ鐵價ヲ調節スルコトハ困難デハナイカ、斯ウ云フ御考ノヤウデゴザイマスカ、是ハ吾々ト致シマシテハ、滿洲ノ銑鐵モ内地ノ銑鐵モ同様ノ趣意ニ於テ保護助長シテ行キタイト考ヘテ居リマスノデ、大體ソレガ不當ナ値上ニナルト云フヤウナコトデアレバ相互ニ牽制致シマシテ、調節サセルト云フ途モ同時ニ生ジテ來ルノデハナイカト考ヘテ居リマス

ソレカラ普通ノ場合ニハ八幡製鐵所ノ銑鐵ヲ増産致シマシテ、此市場ノ値段ヲ調節シタラドウカト云フ御尋デゴザイマス、恐ラクソシナ時代ハ生ジナイダラウト思ヒマスガ、寧ロサウ云フコトヲシナイマデニ、市場ノ値段ガ世界的ニ印度銑ノ競争其他ガ起ッテ、サウ云フ場合ニハ當然相當ナ所ニ調節サレルダラウト、斯ウ考ヘテ居リマス

○小池委員 モウ二ツデオシマヒニナリマス、政府委員ノ御答辯ニ付テ一寸言ダケ申上ゲマス、今ノ政府委員ノ御答辯ハ在リ來リノ御答辯デ、アレデハ到底納得ガ出來ナイ、洵ニ申譯ナイコ

トデアリマスガ納得出來マセヌ、ト云フノハ今申上ゲタノハ印度銑ガ來ナクナルノデアリマス、ソレカラ滿洲銑ガ内地ノ銑鐵ノ値段ヲ左右スルダケノ力ヲ持タナイヤウニナルダラウ、サウスルト日本内地ノ銑鐵ノ値段ヲ左右致シマスルモノハ、主トシテ三井、三菱系ノ銑鐵獨占「カルテル」見タ様ナモノガ値段ヲ左右スルヤウニナルダラウ、是ハ何處デモサウデアリマスガ、日本デモ色々ナ種類ニ於テ惱マサレタ來タノデアリマスガ、サウシタ獨占的ナモノガ出來マシタナラバ、銑鐵ノ値段ト云フモノハ、隨分無法ナ動シ方ヲサレヤシナイカト云フコト、サウ云フ心配ガ當然起ルト思ヒマス、其點ニ付テハ是ハ大キナ問題デアッテ、今サウ云フコトガアッテハ困ル、ソレヲ如何ニ協定スルカト云フコトガ、今日ノ資本主義ノ行詰リ、之ヲドウ修正スルカ又モウ少シ進

シテ變革スルカト云フコトガ、一般ノ國民ノ重大ナル懸案ニナッテ居リマス、其點ニ付テハ安心ガナケレバ、此引上ニ付テハ安心モ何モ出來ナイト云フコトニナルノデアリマスガ、ソレヲ一ツ大臣ニ簡單デ宜シウアリマスガ見透シ、或ハ確信ヲ伺ハシテ戴キタイ

○中島國務大臣 此銑鐵ノ分野カラ申シマススト云フト、三井、三菱、即チ此財閥系ノ生産ト云フモノハ實ハ案外少イノ

デゴザイマス、領分ノ上カラ申シマスルト云フト、比較的極ク小部分デアリマシテ、私ガ一寸調べテ置キマシタ所ニ依リマシテモ、銑鐵ニ於キマシテ三井、三菱ノ財閥系ノ領分ト云フモノハ、二割二分足ラズニ過ギナイヤウナ譯デアリマシテ、隨テ只今小池君ノ御心配ニ相成リマスルヤウナ、一種ノ財閥系ノ爲ニ銑鐵ノ領分ガ支配ヲ受ケルト云フヤウナコトニナルト云フ心配ハ、私ハ餘リ多分ニハ持つテ居ラヌト思ヒマス、併シ大體ニ於キマシテ只今仰セノ如キ、此資本主義經濟ノ動向ト云フモノガ、大體仰セノ如キ方向ヲ取ッテ居ルノデアリマスルカラ、若シソレガ爲ニ

特ニ此一部ノ財閥ニ私スルガ如キ現象ガ起リマシタ場合ニハ、適當ニ之ニ對處スル方法ガアルダラウト思ヒマス、私ハ其點ニ付テハ勿論御意見ト考ヲ同ジウ致シテ居リマスル一人ト致シマシテ、只今ノ御注意ノ點ニ付テハ重々諒シテ置キタイト存ジマス

○小池委員 能ク分リマシタガ、今仰セラレタ其銑鐵ノ需要高ノ中ノ二割ト仰シヤイマシタガ、ソレハ違フノデアリマス、二割ハ二割デゴザイマスケレドモ、八幡ノ製鐵所ガ澤山造ッテ居リマスガ、實際銑鐵ガ値上ッテ困リマスノハ、鋼材ヲ造リマス所ノ事業家ガ銑鐵ヲ買フノニ八幡カラ買ハナイ、結局三

井、三菱系其他滿洲系ノモノヲ使ハナケレバナラス、サウ致シマススト云フト、二割トシテモ小サナモノトハ考ヘルコトガ出來ナイ、此三井、三菱系ガ、矢張鋼材會社ガ買フ所ノ銑鐵ニ付テ相當大キナ二割デハナイカ、恐ラク五割近クノ威力ヲ發揮スルダラウト思フノデアリマスカ、是ハ大臣ガ御考ニナル程小サイ問題デハナイト思ヒマス、尙ホ其點ニ付テハ十分一ツ努力シテ下サルト云フコトヲ承ッテ、ソレハソレダケニシテ置キタイ

是ハ最後デアリマスガ、モウ一ツ矢張滿洲材ノ問題、是ハ非常ニ心配ニナリマスノデ、昨日モドナタカラカ御質問ガアリマシタガ、滿洲材ニ付テ矢張値上リニナルノデアリマス、是ハ矢張先刻政府委員ガ御答ニナリマシタヤウナ調子デ御取扱ニナルノデアリマスカ

○中島國務大臣 今政府委員カラ聽キマシタノデアリマスガ、大體左様ニ考ヘテ居リマス、私モ何レ通常議會ニ何等カノ施設ニ付テ御相談ヲ致スコトニ相成ラウト思ヒマス

○小池委員 モウ一ツ、ソレハナデゴザイマスガ、製材品ニ付テハ原木ニ付テモデゴザイマスガ

○北島政府委員 滿洲材ニ對シマシテ、今度ノ關稅引上ニ依リマシテ相當ノ打撃ヲ受ケルコトハ勿論ノコトデア

リマスガ、之ニ對シマシテハ從來共、昨日多分質問應答ガアツタと思ヒマスガ、或ル程度ノ保護ノ方法ハ講ジテ居ルノデアリマス、今度ノ從量稅ヲ引上ゲルニ付キマシテモ其點ニ付キマシテハ目下色々考慮ハ致シテ居リマススケレドモ、マダ具體的ニドウ云フ方法ヲ講ズルト云フマデニハ、私トシテハ一寸申上ダ兼ル狀態ニナツテ居リマススケレドモ、大體何トカ方法ヲ講ジタイト思ヒマシテ、今考究中デアリマス

○小池委員 モウ質問ハシテモ仕様がナイト思フ、實ハ伺ヒマシテモ總テノ點ガ全然納得ガ出來ナイノデアリマス、無理ニ矢張引上ヲシナケレバナラナイト云フ理窟ヲ御話ニナツテ居ルノデハナイカト云フ感ジガシテナラナイノデアリマス、是ハドウモ今迄ノ速記ヲ見マシテモ、中島君ガ御質問ニナツタ其御答ヲ見マシテモ、是ハドウモ納得ガ出來ナイノデアリマス、是レ以上御質問申上ゲテモ仕様ガナイノデ、私ハ此木材乃至銑鐵ナンカニ付テハドウモ要領ヲ得ナイト思ヒマス、第一滿洲ニ對スル對策ナント云フコトヲチットモ考ヘナイ、滿洲ト日本トノ聯繫アル統制經濟ト云フコトヲ少シモ考ノ中ニ入レナイデ出來上ツタ關稅引上案デアリマシテ、ソレヲ其儘御出シニナルト云フコトニ付テハ、吾々ハ非常ナ不滿ヲ

持ツ、此點ハ討論ニナルカラ止メマスガ、サウ云フ意思ダケヲ表明致シマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○東委員長 今度ハ手代木君ガヤル順序ニナツテ居ルガ、若シ簡單ナラ永田君ニ御許シヲ致シマス

○永田委員 昨昨日來商工大臣ニ御依頼シテ居ルノデアリマスカラ……

○東委員長 宜シウゴザイマス、ソレデハ永田君

○永田委員 商工大臣ニ於カレマシテモ御就任勿々デアリマスシ、又此委員會ニモ左様御勉強モナイ、隨テ此處デドウ云フ論ガサレテ居ルカト云フコトモ恐ラク深ク御承知ガナイコト、思ヒマス、隨テ吾々トシテモ協力内閣デアリマスカラ、割引ヲシテ質問ヲシテ居ルノデアリマス、併シ割引ヲシテモ疑問ノアル點ハ質問シナケレバナラス、先般來政府委員諸君ノ御説明デ、第一銑鐵關稅引上ハ、印度ニ非常ニ安イ鐵ガアル、ソレデ内地ノ生産ト鈞合ガ出來ヌ、斯ウ云フコトデ銑鐵ノ内地及ビ印度ノ市價ヲ出シテ居ラレルガ、其市價ガ丸切り吾々ノ調査トハ鈞合ハナイ、昨日其市價ヲ政府カラ御出シナツテ居ル、印度銑ノ輸入値段調べ、噸當リガ色々出テ居リマスルガ、面倒ダカラ省キマス、「カルカッタ」ノ「エフ・オー・ビー」ハ二十四「ルービー」ノ値段ダト

云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、二十四「ルービー」ト云フ値段ハ殆ドアリマセヌ、二十二「ルービー」ト云フコトモ出テ居リマスガ、二十二「ルービー」ト云フ値段モ殆ドナイ、是ハ稅關ノ「インボイス」ヲ御示シ下サレバ私共ハ直グ分ルト思ヒマス、大體二十六以下ノ場合ハ最近ニ於テナイト云フコトヲ私共ハ聞イテ居ルノデアリマス、併シ別ニ此處ハ裁判所デモアリマセヌカラ、「インボイス」ノ御提出ヲ願ヒタイト云フコトヲ決シテ言フ譯デハアリマセヌガ、斯ウ云フコトニ事實僞リガアツテ、商工大臣ハ盲目ニナツテ居ルヤウニ思フ、併シ之ヲ二十四「ルービー」トシマシテモ、サウシテ爲替ヲ百十五圓トシテ換算シテ見テモ、是ガ二十六圓五十一錢ニシカナツテ居ラナイ、其二十六圓五十一錢ト云フ一番安イ所ヲ取ツテ見マシテ、ソレヲ當嵌メテ見ルト斯ウナル、此中デ「カルカッタ」カラ日本マデノ運賃諸掛リガアリマス、又金利モアリマス、斯ウ云フモノヲ加ヘ見テ、日本ニ入ルマデノ間ノ運賃諸掛リガ僅ニ五圓六十四錢シカナイト云フコトニナリ、原價ガ二十圓八十七錢ト云フコトニナル、所ガ一方内地ノ方ノ原價ノ内容ヲ見マスト、市價マデノ運賃ダケデモ三圓ヲ書出シテアル、ソレニ金利ガ六十五錢、斯ウ云フ譯デ市場マデノ運

賃ダケデモ三圓ダト云フノニ、「カルカッタ」カラ來ルモノハ一切ノ經費ヲ加ヘテモ五圓六十四錢ダト云フノデスガ、私共船會社ナドニ就テ聽イテ見マスト——是ナドハ決シテ嘘ハナイノデ、外國會社ト郵船會社デ兩方デ四分、六分位宛、運賃ヲ協定シテヤツテ居ルノデスカラ嘘デハナイ、ソレガ六「ルービー」デアアル、今爲替ヲ百十五圓トシテ換算シテモ五圓二十錢ニナル、サウシテ「バーン」銑ガ二十圓八十七錢、ソレニ商工省ノ仰ッシャル所ニ依レバ運賃諸掛リガ五圓六十四錢シカナイト、此五圓六十四錢ノ運賃諸掛リノ中カラ郵船會社其他ノ協定航路運賃五圓二十錢ヲ引イテ見ルト四十四錢シカ殘ラナイ、即チ陸揚ノ諸掛リモ、金利モ、輸入商ノ手數料モ、保險料モ、此四十四錢デ悉ク拂ハナケレバナラナイト云フ結果ニナル、斯ウ云フコトヲ論ズレバ幾ラデモ矛盾撞著ガ出テ來ル、私ハ長ク申上ゲヨウトモ思ハナイ、唯、例ヲ示スダケデス、是ガ反對黨デ議論スルト云フコトニナレバ「インボイス」モ見セテ吳レ、郵船會社トドウ云フ運賃契約ヲシテ居ルカト云フコトマデ伺ハナケレバナラナイコトニナルノデスガ、ソシナコトハ申上ゲナイトシテモ、今此運賃諸掛リノ間違ニ付テモ澤山議論ハアルト思フ、一例ヲ舉ゲテモ斯ウ云フコトニナ

リマスガ、商工大臣ハ御手許ノ皆様ガ御調ニナツタノニ間違ナイト思フテ居ルノデスカ、其點ヲ伺ヒタイ、必シモ合ハヌカモ知ラヌガ、信用スル人ノ調ベタモノダカラ、此處ヘ出シタ通りデ間違ナイト云フ御考デアリマスカ

○中島國務大臣 ドウモ彼我ノ間ニ數字ノ相違ヲ來シマシテ、ソレガ爲ニ御疑ヲ深カラシメル點ニ付キマシテハ甚ダ遺憾ニ堪エマセス、併シ私ト致シマシテハ少クトモ政府委員カラ御示申上ゲマシタ數字ニ付テ責任ヲ負フ外ハナイノデアリマス、其點ドウゾ惡シカラズ御了承ヲ願ヒタイ

○福田政府委員 私カラ内容ヲ少シ申上ゲタイ、内地ノ生産費モ、印度銑ノ沖著價格ノ算定モ、無論實績ヲ基礎トシタノデアリマス、ソコデ「カルカッタ」F、O、B二十四「ルビー」ト云フ數字ハ私共ノ方ニ相當正確ナ材料ガアリマシテ、二十四「ルビー」ニナルト云フコトハ、確信ヲ持ッテノコトデアリマス、サウシテ印度ニ於ケル生産費其他カラ考ヘマシテモ、是ハアリ得ル數字デ、場合ニ依ッテハ御手許ニ差上ゲタ表ニ示シタ通りニF、O、B二十二「ルビー」デモ出來ルト思フノデアリマス、御參考マデニソレヲ附加シテアリマス、印度カラ日本迄ノ運賃、保険料、是ハ運賃ハ「ノミナル」ニハ六「ルビー」ニナツテ居

ルガ、實際ハ五・一「ルビー」ト云フ實際ノ運賃ニナツテ居ルヤウデアリマス、ソレヲ基トシテ計算致シマシタ、陸揚ゲノ諸掛リ、金利、手数料等ノ外ニ一圓六十錢ヲ見込ミマシテ、御手許ニ差上ゲタヤウナ爲替ノ變動ニ依リ換算致シマシテ、御手許ニ差上ゲタ數字ニナル譯デス、成程一昨日来中島委員カラモ色色御質問ガアリマシタガ、今ノ取引ハ三十圓以下デヤナイ、斯ウ云フヤウナ御話モアリマスケレドモ、吾々ノ見ル所ト致シマシテハ、現在内地ノ共販組合ナルモノノ値段ガ、實際上「エス」號銑デ二十六圓、普通ノ銑鐵ハ一圓方安イ、斯ウ云フヤウナ場合ニ三十圓ノ「オフファー」ハアリマシテモ、サウ云フ契約ガ出來ル筈ハナイ、矢張前ニ申上ゲタ程度ノ値段デナケレバ實際ノ取引ハ出來ナイト思フ、又此値段デ現在ノ關稅ヲ以テシテハ印度鐵ヲ輸入シ得ル可能性ガ十分アルノデ、玆ニ提案致シマシタ程度ノ稅ヲ盛ラナケレバナラヌト考ヘタ次第デアリマス

○永田委員 御説ハ御尤ラシイデスケレド、運賃ヲ假ニ御説ノ通りニ五・一「ルビー」トシマシタ所ガ、其残りガ一圓六十錢ト斯ウ云フ、内地ノ銑鐵ノ生産費ヲ出シタ中ニモ、内輸ノモノデモ六十五錢ト云フ金利ガ見テアル、此内假ニ六十五錢ヲ引ケバ、アト九十五錢

シカ保險料モ陸揚ゲノ諸掛リモ、輸入商ノ手数料モナイ、斯ウ云フ譯ニナルノデ、私共是ガ到底正確ナ調査デアルトハ思ハナイ、現在ノ販賣價格ガ幾ラデアルカト云フヤウナコトハ、モウ議論シ盡サレテ居リマスカラ、私只今ノ福田君ノ御説ニ賛成ハ出來ナイガ、現在不況ニ直面シテ居ッテ先ニ物ノ値ガ出ルト思ヘバ誰モ關稅モ掛ルカラ賣ル人ハアリマセス、何時事情ガ變ルカ分ラナイノデ手持チニシテ置ク、金ノ輸出禁止以後殆ド商賣モ出來兼テ居ル、其上ニ更ニ斯ウ云フコトヲヤルト云フコトハ、何カ他ニ特殊ナ考ガナケレバナラヌト思ヒマス、斯ウ云フ爲替ノ變動ノナイ昨年邊リニシマシテモ、製鐵問題ト云フモノハ隨分ヤカマシイ問題デ、一方ニ於テハ物ガアリ過ギル、一方ニ於テハ保護ガ厚過ギルト云フヤウナコトデ議論ガ繰返サレテ居ル、既ニ此爲替ノ下落ニ依ッテ非常ナ利益ヲ得テ居ル、其上ニ又突如トシテ斯ウ云フモノヲ拵ヘナケレバナラヌト云フコトハ、ドウモ分リマセスケレドモ、其點ハ先ヅ幾ラ議論シテモ同ジコトデアリマスカラ、其儘ニシテ置キマス、ソレカラ私ハ製鐵ノコトヲ伺ヒタイ

メマスカ、是ハ商工大臣ニ伺ハナクテモ福田君デモ宜シイガ、吾々ガ納得スルヤウナ努力ノ跡ヲ認メマスカ、ソレヲ伺フノハ、今回ノ保護關稅ヲ設ケテ殆ド禁止關稅ヲ設ケテヤリマシタリ、先年モ錢ヲ出シテヤッテ、豫算ノ數字ハ知リマセヌガ、恐ラク一千三四百萬圓ニナリマセウ、一千三四百萬圓モ補助金ヲヤッテ、今日ニナツテモマダイカナイ、マダ何モ自分等ハ整理ハ出來テ居ラス、斯ウ云ウコトデハ吾々ハ何時迄モ斯ウ云フモノニ掛ッテ居レナイ、戰爭ノ時ニナレバ困ルデヤナイカト、斯ウ云フ者モアルガ、私ハ歐洲戰爭ノ時ニ自分デ製鐵ヲヤッテ居ッテタガ、アア云フ時ハ誰デモ儲カルカラ造ル、今シマッテ居ル會社ト云フモノハ、アノ當時一噸二十五圓デ隨分儲ケタノデアリマス、ソレヲ今日整理シテシマヘバ結構、又戰爭ガ出來レバ儲カルノデスカラ幾ラデモ出來ル、何時迄モ整理ノ出來テ居ナイモノニ掛リ合ッテハ困ル、何カ大正十五年以來、誠心誠意努力シテ玆マデヤッテ來タト云フ跡ガ見ラレバ宜イガ、何カ政府デ認メラレル跡ガゴザイマスカ

○福田政府委員 負債ノ整理ニ付テハ

「中島委員」千三百萬圓ノ金ヲドウシテ居ルカト云フコトヲ聽キタイ「ト呼フ」

○福田政府委員 負債ノ整理ニ付テハ

今數字ノ持合セガアリマセヌカラ、後
デ申上ゲマスガ、大正十五年以來ドウ
云フ設備ノ改善擴張ヲ致シタカト云フ
コトニ付テハ、一應申上ゲタイ、大正十
五年以來民間ノ銑鐵製造業者デ設備ノ
改良擴張ノ爲ニ實際投資致シマシタ金
額ハ、約千二百五十萬圓ニ上ッテ居リマ
ス、ソレデ其結果生産費ナンカモ非常
ニ下リマシタ

○永田委員 一寸御待チ下サイ、千二
百五十萬圓ノ設備ノ改良費ハ民間四社
デスカ

○福田政府委員 イヤ三社デアリマ
ス、釜石、輪西、兼二浦、其内容ハ色々細
カクナルカラ申上ゲマセヌガ、其結果
此生産費ヲ較ベマシテモ非常ニ減ッテ
居リマス、先ヅ大正十五年ヲ百ト致シ
マスレバ、生産費ガ其當時ヨリモ三十
割位減ッテ居ルヤウナ數字ニナッテ居リ
マス、ソレカラ此職工一人當リノ生産
噸數、是モ御承知ノ通り今大分生産ノ
數量モ減ッテ居リマスガ、ソレデモ大正
十五年ト昭和六年ト比較致シマシテ、
三菱製鐵ナンカガ大正十五年ヲ百ト致
シマス、昭和六年ニハ百五十五ト云
フヤウナ能率ヲ擧ゲテ居リマシテ、其
當時ヨリモ餘程事業ガ改善サレテ居
ル、唯折角事業ヲ改善致シマシテモ、此
需要ノ不振ト、ソレカラ一方ニ於テハ
外國ノ輸入ガ尙ホ止ラヌ、斯ウ云フ爲

ニ其全能力ヲ發揮致スコトガ出來ナ
イ、斯ウ云フ窮境ニアリマス、ソレデセ
メテ此際外國ノ銑鐵ノ輸入ヲ防遏致シ
マシテ、此改良サレタ設備ヲ十分ニ動
カスト云フコトニナリマスレバ、尙ホ
將來ニ於テ此生産費ノ減少其他ニ依ッ
テ日本ノ製鐵業ノ基礎ヲ確立シ、延イ
テ消費者ニ對シテモヨリ廉價ナ銑鐵ヲ
供給スルコトガ出來ル時ガ必ズ來ルデ
アラウト思ヒマス、斯ウ云フ見地カラ
致シマシテ此關稅ノ改正ヲ立案シタ譯
デアリマス

○永田委員 其千二百五十萬圓入レタ
ト云フコトハ結構ナノデアリマス、補
助金モ三社ヘ相當ニ行ッテ居リマセウ、
七百萬圓位ハ行ッテ居リマセウカ、私能
ク分リマセヌガ——ソレヲ投ジテ改良
シタト云フコトハ大變結構デアル、是
デ果シテ總テ「キャパシティ」ガ上ル
カドウカ分ラヌガ、是ハ非常ニ喜ブベ
キコトデアル、先日モ福田君ノ御話ニ、
一噸設備費五十圓ト云フモノヲ標準ニ
シテ今度ノ關稅ノ盛方ガ出タ、生産費
其他モソレカラ出シタノダト云フコト
デ、是ハ拜見シテモサウナッテ居リマ
ス、又本日戴イタ八幡製鐵所ノ書類ヲ
見マシテモ、作ッタモノカドウカハ知レ
マセヌガ、四十六圓幾ラト云フコト
ニナッテ居リマシテ、大體設備費五十圓
ヲ目安ニ置イテ居ラレル、斯ウ云フコ

トデアリマス、ソレデ商工大臣ニ伺フ
ガ、サウ云フヤウナ成行ニ今委員會ガ
ナッテ居ルノデスガ、ソコデ先程——小
池君ハ見エナクナッタガ、小池君ノ御話
ニモアッタヤウニ、何ト言フテモ此製鐵
所ガ釜石、輪西ガ三井デアル、兼二浦ガ
三菱デアル、斯ウ云フコトハモウ日本
人誰デモ知ッテ居ルコトデアル、サウシ
テ此頃世間デハ何トカ言フト政黨ガ惡
イコトヲスル、泥棒ヲスル詐欺ヲスル
ト云フヤウナ途方モナイ惡口ヲ言フ、
サウシテ商工大臣ガ政黨外カラ御出デ
ニナッテ吾々ヲ戒メテ呉レル、言ハハス
ウ云フヤウナ御立場、協力内閣ノ中ニ於
キマシテモ吾々ヲ戒メテ下サルト云フ
重要ナル職務ヲ御持チニナッテ此内閣
ニ乗込ンデ來ラレタ、サウシテ此處ニ
出シテ居ラレル此關稅案、銑鐵ノ關稅
引上ト云フモノハ——一噸五十圓ニ引
下ゲルト云フト民間ノ資本ハ僅カ二三
千萬圓ニナッテシマフ、ソイツガ現在デ
ハ一億三千萬圓ニモ四千萬圓ニモ見積
ラレテ、サウシテソレガ其儘打ッチャラ
カシテアル、マア兎ニ角之ヲ通過シテ
吳レ、後ハ俺ガ十分勉強スル、勉強シテ
大ニ馬力ヲ掛ケテヤルト、斯ウ仰シヤ
ルケレドモ、併シ私共常識デ判斷シテ
見テ、此内閣ガ吾々ガ信賴シテ居ッテ、
斯ウ云フコトヲ片付ケル迄一體アルカ
ナイカト云フコトモ實ハ甚ダ疑問トシ

テ居ル、ソレデ是ハ民政黨デモヤッテ見
タ、政友會デモヤッテ見タコトデ、此製
鐵ノ問題ハ其方針ハ何時モ一ツ、ソレ
ヲ政黨ハ資本家ノ走狗ダ、民政黨ガ三
菱ノ家來、政友會ガ三井ノ家來ダト言
フ、ソシナ馬鹿ナコトハナイガ兎ニ角
サウ言ハレテ居ル、兩方共今迄此設備
ノ改善ヲ圖ルト云フコトデ實績ヲ擧ゲ
テ來テ居ルノニ、今度ハソレガアベコ
ベニ、先ヅ以テ未ダ十分ナコトモ出來
テ居ラヌノニ、斯ウ云フヤウニシデ是
カラチット形ヲ變ヘテ行クノダト言フ、
果シテ政府委員ノ御説明ノヤウニ一噸
五十圓迄ニ切下ゲ得ルカドウカ知レマ
セヌガ、商工大臣ハ固イ決意デ五十圓
ニ切下ゲテ、サウシテ之ヲ整理サセル
ト云フ所ノ御決心ガアルノデスカナ
イ、サウシテ又ハ政友會ノ諸君ニ決
シテ當ル譯デアリマセヌカラ、決シテ
怒ラヌヤウニシテ下サイ、政友會モ之
ヲ鵜呑ニスル、民政黨モ之ヲ鵜呑ニシ
テ行ク、斯ウナルト今度ハ商工大臣ノ
御立場ハ大變良イ、アノ人ハ政黨外ノ
人デ實業界ニ於テ立派ナ人ダカラ宜イ
ノダガ、兩政黨ガ我儘ナノダ、商工大臣
ハ立派ダガ政黨ハ腐ッテ居ルト、アベコ
ベニ吾々ガ惡ク言ハレル、是ハアナタ
ガポイント判ヲ押シテ來タカラ吾々ハ審
議シナケレバナラナイ、反對モ出來ナ

イ、協力内閣デ打壞シテモ困ルカラ反
對モ出來ナイ、サウ云フ立場デアル、商
工大臣ハ大臣ヲ止メレバ涼シイ顔ヲシ
テ俺ハ政黨ナンド知ラスト、自分ハ立
派ナ御人格デアルカラ、中島男爵デ澄
シテ居ラレルト云フコトニナル、私共
ハ是非非常ニ困ル、兎モ角此内閣ガ協

力内閣デアルト云フノデ、民政黨モ政
友會モ這入ッテ居ルガ、其御仲間入ヲ暫
クデモナサル、餘リ長イコトモナサル
マイガ、暫クデモナサルナラバ、其緣故
ダケヲ以テ見テモモウ少シ御考ヲ願ハ
ナイト、政黨人ガ世間カラ頻リニ惡口
ヲ言ハレテ居ル、ソレヲ更ニ助長シテ
行ク、裏書ヲスルヤウナ形ニナル、而モ
ソレハアベコベニ擦リ付ケラレテ、政
黨ノ方ガ責任ヲ負ハサレテ、中島サン
ハ立派ナ人ダカラソシナコトハシナ
イ、民政黨政友會ノ人ガ抑ヘ付ケタノ
ダト言ハレル、是ハ洵ニ迷惑至極デア
ル、デアリマスルカラ是ハサウデナイ
ト云フコトヲ明ニスル一ツノ方法ハ、
先ヅ以テ八幡製鐵所ノ通り生産設備ヲ
噸當リ五十圓迄引下ゲテ、ソレデ以テ
附イテ來ルト云フ決心ガ一體三井三菱
ニアルカドウカト云フコトデス、ソレ
ガアルナラバ是ハ審議スル價值ガアル
ガ、マダツベコベ言フテ居ルナラバ、實
際ハ問題ニハナラナイ、結局只今申シ
タヤウニ、吾々が非難ヲ受ケル結果ニ

陷ル、故ニ此點ニ付テ商工大臣ガ固イ
決心ヲ持ッテ居ラレルカドウカト云フ
コト、洵ニ諄イヤウデスガ、是ハ洵ニ私
共ニ取ッテハ大事ナ立場デス、政友會民
政黨モ同ジ立場デ心配シテ居ル譯デア
リマスカラ、一ツ其點ヲ率直ニ御話ヲ
願ヒタイト存ジマス

來ルト市場ヲ抑ヘルヤウナ作用ヲ執ッ
テ居ル、先年多少綿絲關稅ナドヲ引上ゲ
テ、其爲ニ紡績會社ガ被害ヲ受ケテ居
ルカト言ヘバ、ソシナニ被害ヲ受ケテ
居ラス、僅ナモノデモ這入ッテ來レバ市
價ノ暴騰ヲ防イデ行カレル、是ガ今ノヤ
ウナ禁止的ノ關稅ニナッテシマフト、
先行爲替モ下ルノデハナイカト云フヤ
ウナ事態ニ於テハ、全ク此作用ヲ失ッテ
シマヒハセスカト思フ、爲替モコ、ラ
デ安定シテ居ルト言フナラバ先ヅ以テ
理由モアリマセウガ、ソレハ安定ヲ望
ンデモ居ラス、安定モシナイト大藏大
臣ガ眞面目ニ仰セラレタ、是ハ私共モ
サウ思フ、是ハ別ニ非難デモ攻撃デモ
ナイ、事實問題デアリマスカラ申上ゲ
ル次第デアリマス

○中島國務大臣 只今永田君カラ色
色ナ事態ヲ御想定ニナリマシテ御話ニ
ナリマシタノデアリマスガ、私ハ何モ
兩黨ニ惡イ方ヲ嫁シマシテ一人涼シイ
顔ヲシタイト云フ考ハ少シモゴザイマ
セヌ、唯五十圓トカ五十五圓トカ云フ
ヤウナハッキリシタ數字ヲ押ヘテ、斯ノ
如ク致シマスルト云フコトヲ申上ゲル
ノハ少シク早計カト存ジマス、併シ是
ハ此間カラ段々申上ゲマス通りニ、要
スルニ今度ノ銑鐵關稅ノ引上ハ、如何
ニモ銑鐵製造業者ニ對シテ國家ノ厚イ
恩典デアルト云フコトヲ固ク信ジテ居
リマス、其故ニ此恩典ヲ蒙リマスル者
共ハ此恩典ニ狎レズニ、自ラ整理ヲ致
シマシテ、出來得ル限り此恩典ヲ蒙ル
範圍ヲ自ラ薄カラシムルヤウニ努メナ
ケレバナラス、又監督官廳トシマシテ
ハソレニ向ッテ最善ノ努力ヲ拂フベキ
モノデアル、斯ウ云フ精神カラ繰返シ
申上ゲタ次第デアリマス、私ハ多年實
業界ニ身ヲ置イタモノデアリマスケレ
ドモ、決シテ三井、三菱ニ向ッテ偏頗ナ
使ヒマセヌガ、ソレデモソレガ這入ッテ

○永田委員 御鄭重ナ御答辯ヲ得タノ
デアリマスガ、極メテ御誠實ニ商工大
臣ハ只今ノ業者ガ横暴ニ流レナイヤウ
ニ取締ルト云フ御決心ヲ持ッテ居ルヤ
ウデアリマス、又恆久官ノ福田君モ再
三サウ云フコトヲ申シテ居ル、私共ハ
ソレニ御信用申サナイ譯デハナイ、眞
ニサウ思召シテ居ルコト、拜察致シマ
スガ、全然禁止的ノ關稅ヲ課ケテ置イ
テ、少シモ自働作用ガナイヤウニシテ
シマッテ置イテ、サウシテ抑ヘヨウトシ
テモ是ハ私ハ抑ヘラレヌト思ヒマス、
丁度紡績ノ例ナドガ明デアル、三品市場
ナドガ大阪デ無暗ト上リマシタ、サウ
スルト支那ノ絲ガ少シバカリ這入ル、
支那ノ絲ハ銑鐵ヲ使フヤウニハ勝手ニ
使ヒマセヌガ、ソレデモソレガ這入ッテ

來ルト市場ヲ抑ヘルヤウナ作用ヲ執ッ
テ居ル、先年多少綿絲關稅ナドヲ引上ゲ
テ、其爲ニ紡績會社ガ被害ヲ受ケテ居
ルカト言ヘバ、ソシナニ被害ヲ受ケテ
居ラス、僅ナモノデモ這入ッテ來レバ市
價ノ暴騰ヲ防イデ行カレル、是ガ今ノヤ
ウナ禁止的ノ關稅ニナッテシマフト、
先行爲替モ下ルノデハナイカト云フヤ
ウナ事態ニ於テハ、全ク此作用ヲ失ッテ
シマヒハセスカト思フ、爲替モコ、ラ
デ安定シテ居ルト言フナラバ先ヅ以テ
理由モアリマセウガ、ソレハ安定ヲ望
ンデモ居ラス、安定モシナイト大藏大
臣ガ眞面目ニ仰セラレタ、是ハ私共モ
サウ思フ、是ハ別ニ非難デモ攻撃デモ
ナイ、事實問題デアリマスカラ申上ゲ
ル次第デアリマス

サウ云フ事態ノ時ニ於テハ幾ラ當局
ガサウ云フ恆久官ノ官吏ノ諸君及大臣
ガ御考ニナッテ居テモ、其作用ト云フ
モノガ中々私ハ行ハレ難イト思フ、デ
アリマスルカラシテ是等ノ業者ヲ援ケ
テ行クト云フコトモ、公正ナル意味カ
ラ考ヘルナラバソレデモ宜イデセウ、
ソレト共ニ此人達ガ横暴ニ流レナイヤ
ウニスルト云フニハ、唯當局ガ取締ル
ト言ッテモ取締ノ方法ガナイ、昨年ノ秋
日本ノ資本ガ海外ニ逃ゲテ、弗買トカ
云フヤウナ惡口ヲ言ハレテ居ルガ、弗
買モ商賣デナイカト言ヘバ其通り商賣

デアル、隨テ此銑鐵ノ値上ヲ特ニ抑ヘ
ヨウト云フコトハ行政的方法デハ出來
ナイ、矢張經濟的ニ抑ヘナケレバナラ
ヌ、行政ノ力デ物ノ價格ヲ左右スルコ
トハ關稅ナドハ別問題デアリマスガ、
外ニハ方法ガナイノデアリマスカラ、
ドウモ私ハ不安心デナラナイ、御誠意
ガアツテモ、ソレガ届カヌ憂ガアル、ソ
レニハ餘リ禁止的ノ重稅ニセズニ、何
カモウ少シ方法ハナイモノカ、眞面目
ニサウ思ヒマスガ、斯ウ云フ御尋ニ對シ
テハ十分ナ御答辯ヲ得ラレルモノトハ
豫測シテ居リマセヌケレドモ、其點ニ
付テ私共ハ非常ニ御誠意ハ御誠意トシ
テ承ルノデスガ、將ニサウ思召シテ居ル
ト思ヒマスガ、不安心デナラヌト云フ
コトヲ一言附加ヘテ置キタイト思ヒマ
ス

ソレカラ先程小池君カラモ御話ガ
アツタガ、此問題ヲ爰デ急遽出サレタ、
非常ニ急イデ居ル、先日モ私一寸申シ
タノデスガ、全ク内地ノ三社ノミノ問
題ニ限ラレテ、滿洲等ニ於キマスル二
ツノ製鐵所ト云フモノハ此單一「プロッ
ク」ノ中カラ離レテ居ル、製鐵ダケハ少
クトモ今日統一シタ補助策ヲ執ツテ居
ル、是ガ兎ニ角來年豫算デドウカスル
ト云フコトデアルガ、是ハ内閣ガドウ
ナラウトモ、關稅ガ此儘通レバ之ニ當
嵌マルヤウナコトハ、ドノ當局者ガ立ッ

テモヤリハセヌカト思フ、併シ一年先マ
デ滿鐵、本溪湖ヲウツチャツテ置イテモ宜
イト云フコトハ私共ハ理解ガシ兼ル、
一ツハ本溪湖ハ大倉組ダカラウツチャツ
テ置イテモ宜イ、片方ハ滿鐵デ政府系
デアルカラウツチャツテ置イテモ宜イ、
眞逆サウ云フ簡單ナ理由デハナイト思
フ、豫算ガ出來ナイカラト云フガ、是モ
豫算ヲ組マウト思ヘバ組メナイ譯デハ
ナイ、今政府ガ別ニ緊縮節約ヲシヨウ
ト云フ譯デモナイ、赤字ヲ少クシヨウ
ト云フ譯デモナイ、公債ノ募集ヲ少ク
シヨウト云フ譯デモナイ、サウ云フモ
ノハ必要ナラバヤルコトノ方針デ進シ
デ居ル内閣デアアル、サウスレバ從來ノ
例ニ依ツテ滿洲ノ二ツノ製鐵所ヲ内地
ト同ジヤウナ立場ニ置ク案モ、一日デ
出來上ルベキ筈デアルト思フ、ソレ等
ヲウツチャツテ置イテ此方カラヤルト、
少シ話ガ諄クナツテ委員諸君ニハ御迷
惑デアリマスガ、又ゾロ前ニ戻ッテドウ
モ三菱ト三井ダケヲ先ニヤツテ、滿鐵ヤ
大倉組ノコトハ一向構ハナイ、斯ウ云
フ風デハ是ハ民心ガ迷フノデハナイカ、
私共ハドウシテモ是デハ不徹底デア
ルト思フ、是ハドウシテモ必要デアツ
テナケレバナラヌト思フナラバ、滿鐵
ノ銑ヤ本溪湖ノ銑ニ對スル方策ヲ直チ
ニ御決シニナラナケレバナラナイト思
フ、滿鐵ノ銑鐵モ相當内地ニ入ッテ居

ル、何噸入ッテ居ルカ私ハ深イ調査ハ致
シマセヌガ、販賣協定ナドモ出來テ居
ルヤウデス、ドウ云フ風ニシテ是ガ始
末ヲ付ケテ行クカ、三社ノ保護案ハ完
成シテ居ッテ、サウシテ他ノ方ハ出來テ
居ラス、一般的ノ製鐵保護ト云フ立場カ
ラハマルデ離レテシマツテ居ル、斯ウ云
フ風ニ私共ニハ取レテナラナイ、ドウ
モ世間ニ對シテ此點ノ説明ガ出來ナイ
カラ、篤ト一ツ是等ニ對スル御考ヲ願
ヒタイ、此處デ詳シイ説明ヲ承ッテモ事
實ナイノダカラ、無イモノヲ御説明ヲ
承ッテモ仕方ガナイ、ソレヨリカ寧ロ大
臣ガ誠意ガアルト仰シヤラレルガ、其
誠意ガアルナラバ今日デモ出來ル、直
チニ其案ヲ具シタナラバ多少ハ形ガ
整ッテ來ル、經濟的ニ三社ノ生産ヲ助長
スル、横暴ヲ働カセナイヤウニスルト
云フ施設ナドハ、ソレハ一寸出來マス
マイ、何トカモウ少シ緩和シタ方法ヲ
執ッテ歩ミ合ヒヲシテ見ル、十五萬噸入
ルモノヲ五萬噸位入ッテモ仕方ガナイ
ト云フ點ニ置イテ見ルトカ、或ハ爲替
ガ動イタナラバ、場合ニ依レバ少シハ
入ッテ來ル、サウスレバ日本内地ノ銑鐵
ガ三十五圓以上ニ騰ラナイト云フモノ
ガアルダラウト思ヒマス、ソレハ世界
各國ニ較ベレバ、日本ノ銑鐵ノ値段ハ
安イデセウ、又事實安イト私ハ思フ、併
シ安イガ爲ニ日本ノ製鐵品ガ近來非常

ナ長足ノ進歩ヲシテ居ル、急角度デ以
テ色々ナ鐵製品ガ輸出ガ出來テ居リマ
ス、非常ナ長足ノ進歩デアリマス、小池
君モ言ウテ居ル、是等ニ從事シテ居ル
職工ガ非常ニ多イ、是ハ其銑鐵ガ安イ
カラデ、之ヲ若シ高クシテ見レバ彼ノ
輸出ナドモ止ッテシマフ、内地ニ於ケル
消費者ガ困ルコトハ勿論デアアルガ、國
際貸借ノ上ニモ必ズ好イ結果ハ來ナ
イ、折角開イタ南洋乃至南支方面ニ於
ケル日本ノ鐵製品ノ販路ガナクナッテ
シマヒハシナイカ、考ヘテ見ルト中々
大キナ問題デ、三社ヲ唯行政的ニ之ヲ
處置シテ見テ、銑鐵ノ値段ヲ成タケ上
ゲナイヤウニシヨウト言ッテモ、一方之
ヲ抑ヘル經濟的作用ガナイ、斯ウ云フ
コトデアルト思ヒマス、殊ニ今十五萬噸
「ストック」ガアル、十萬噸「ストック」ガア
ルト仰シヤルダラウガ、ソレハアル
ソレハアルガ、使ッテシマヘバ小池君ガ
言ウタ通り、ドウシテモ此作用ガ出テ來
ナケレバナラヌ、決シテ貿易ハ一朝一
夕デハナイ、今「ストック」ガアルカラト
云ッテ、安心シテ居ル譯ニハ行カナイト
思ヒマス、ドウシテモ此點ニ對シテハ、
モウ少シ政府ガ考慮サレテ、一遍ニ抑
ヘテシマフヤウナコトヲシナイデ、此
方ノ製鐵會社ノ方モ進ンデ行カレルヤ
ウニシテ行ク、入ッテ來ル方モ少シ宛富
士ノ山カラ下ッテ行クヤウニスル、斯ウ

云フ風ニ片方ハ此方ノロカラ上ル、片方ハ此方ノロカラ下ルト斯ウ云フコトニスル、ソレヲ此方ガ下ツテ此方ガ止ツテシマツテ道ヲ一本ニシテシマフ、是デハ内地製鐵業者ノミガドウシテモ跋扈シテ行ツテ、今商工省ガ此處デ私共ニ御示ニナツタウナ三十五圓六十五錢ト云フヤウナ値段ヲ前後シテバカリ居ラナイト思フ、今ノ「ストック」ノアル間ハサウナルダラウガ、是ガ無クナルト必ズ變化ガアル、其時ニナルトイヤ前年ハサウヤツタガ、其後經濟界ノ事情ガ好景氣ニナツテ來テ、外ノ物價モ騰ツテ來タ、ソレダカラ鐵ノ値段モ違ツテ來タ、斯ウ云フコトハソレハ幾ラデモ、説明ガ付キマスケレドモ、今考ヘテ見テ、吾々ハ經濟的ノ需給作用ノ輸入ハ全然出來ナイコトニ、此現在ノ盛り方デハ幾ラ商工大臣ガ御誠意ガアツテモ、福田君ガ監督者トシテ取締ツテ見テモ、行政的手段デ價格ヲ抑ヘルコトハ出來ナイト、斯ウ思ヒマシテ申上ゲル譯デス、何カ御意見ガアレバ承リマス、御意見ガアリマセヌデシタラ私ハ此程度デ止メタイト思ヒマスガ、唯一ツ印度銑鐵ナドモ先日中島君ノ仰シヤッタ通り、日本人ノ資本ダト云フ、或程度マデハ日本人ノ資本ガ半分入ッテ居ル、大阪ノ岸本トカト云フ人ノ資本ガ入ッテ居ルト云フコトデアル、丁度此頃此委員會デモ問題

ニナツテ居ル、南洋ノ「ラワン」材ニ中村清七郎君外二三ノ資本ガ入ッテ居ル、内地資本ノ延長デアル、之ヲ保護スル爲ニハ關稅ノ賦課ヲシテハ困ルト云ツテ頑張ツテ居ルト云フノデ、木材關係デ熱心ナ東委員長ナドモ甚ダ不服ドラウト思ヒマス、南洋ノ「ラワン」ニハ中村清七郎君外二三ノ人ノ資本ガ入ッテ居ルカラ、内地資本ノ延長デアルカラ、是ハ上ゲナイノダト云フテ保護シテ居ル、サウシテ一方唯「ラワン」銑、印度銑、此處ニハ岸本君其他ノ資本ガ入ッテ居ルケレドモ、此方ハ三菱、三井ノ資本ヲ擁護スル爲ニハ他ノ岸本ナドハドウデモ宜イ、中村清七郎君ノ資本ヲ保護スル爲ニハ北海道ノ瀾葉樹ノ木材生産業者ガ弱ツテモ、ソナコトハ知ラス、斯ウ云フコトデ、マルデ矛盾ニナツテシマツテ居ル、是ハ敢テ商工大臣ノミニ私ハ申上ゲル譯デハアリマセヌガ、斯ウ云フ不

完全ナ點ガ唯、一、二ニ付テモアルノデアリマスカラシテ、マア當面ノ問題トシテソレハ一例トシテ私ハ引イタノデスガ、何カモウ少シ此案ヲ御考ヲ願ヒタイト私ハ希望スル譯デアリマス、御答ガナケレバアリマセヌデモ別ニ彼此レ申ス次第デハアリマセヌ

○福田政府委員 只今ノ御意見ニ對シマシテ、モウ一應私共ノ考ヲ述ベテ置キタイト思ヒマス、禁止的ノ保護關稅

ニナルカラ不當ノ値上ヲ生ズルノデハナイカト、斯ウ云フ點デゴザイマスガ、是ハ只今申上ゲタ通り、假ニ關稅引上額ダケ此市價ガ騰貴スルト致シマスレバ、印度銑ノ輸入採算ハ現在ト同ジヤウニナリマス、斯ウ云フコトニナリ得ルト思ヒマス、サウ致シマスルト、現在二十五六圓ノ銑鐵ガ最大限度ニ於テ二十八九圓ニナル、斯ウ云フ狀態デアリマシテ、斯ノ如クナルコトモ、先程申上ゲマシタヤウニ、差當リ此不況時代ニ於テハ殊ニ莫大ノ滯貨ヲ擁シテ居ル現狀ニ於キマシテハ特ニ困難デハナイカ、隨テ消費者ニ及ボス影響ハ甚ダ輕微デハナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

ソレカラ「ラワン」銑鐵ノ問題デアリマス、「ラワン」ニ對スル日本ノ投資ハ私共ノ調査致シマシタ所ニ依リマス、日印通商會社デアリマスガ、彼ノ會社ノ投資額ハ彼ノ考課狀ニ依リマスト約百四十萬圓位ニナツテ居ルト思ヒマス、其外ニ岸本關係ノ投資ガ三十萬圓位ダト聞イテ居リマス、尙ホ其外ニ多少外人名義デ事實ハ日本人ノ株ガアルト云フコトモ聞イテ居リマスガ、大體ニ於テ二百萬圓内外デハナイカト斯ウ考ヘテ居リマス、彼ノ會社ノ「ラワン」ノ投資額ガ千五百萬「ルービー」デアリマスカラ、其五分ノ一程度ノモノ

デハナイカト思ヒマス……(永田委員「ソレハ間違ヒダ」ト呼フ)ソレハ時ニ依ツテ多少違ヒマセウガ、私ノ方ハ……(永田委員「マア」ドウゾ、二百萬圓位トシテ「ト呼フ」)サウシテ或ル時代ニ於キマシテ、此印度銑鐵ノ輸入ト云フモノハ日本ノ製鋼業ニモ相當貢獻シタノ生産力ヲ内地ニ生ジマシテ、サウシテ相當經濟的ニ國際的「レベル」ニ於テ敢テ敗ヲ取ラナイ程度ニ於テ内地デ生産出來ルト云フ、斯ウ云フ狀態ニナリマシタナラバ、是ハ國際貸借ノ改善ノ上カラ言ヒマシテモ、或ハ失業防止ノ上カラ申シマシテモ、内地ニ於テ其事業ヲヤツテ、外國ノ勞働ニ依ツテ出來タ商品ヲ内地デ需用スルト云フコトヨリモ、内地ノ勞力ニ依ツテ出來タ銑鐵ヲ利用スルト云フコトガ當然デハナイカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウシテ「ラワン」ニ對スル投資ハ單ナル投資デアリマシテ、別ニ日本人ガ向フヘ行ツテ仕事ヲシテ居ル譯デモアリマセヌ、「ラワン」材ノコトハ能ク存ジマセスガ、多少趣ガ異ナルノデハナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ又「ラワン」材ハ大體日本ヲ市場トシテ居ルサウデゴザイマスケレドモ、印度ノ銑鐵ハ、御承知ノ通り只今ノ所ハ約半分ハ日本ニ對スル輸出、印度ノ輸出額ノ半分ハ日

本ニ來テ居リマス、其外ニモ英吉利ニモ、亞米利加ニモ、獨逸ニモ南米ニモ、方ニ販路ヲ有ッテ居ルノデアリマシテ、假ニ日本ニ對スル輸出ガ杜絶致シマシテモ、矢張相當ノ販路ヲ世界的ニ擴張シテ行キ得ル力ヲ有ッテ居ルト思フノデゴザイマス、其投資ガ全部無駄ニナルトハ考ヘラレナイノデゴザイマス
ソレカラ滿洲產ノ銑鐵ニ對スル補助ガ一年遅レニナルデヤナイカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマスガ、是ハ一年遅レニナラナイヤウニ考ヘ得ル途ガアルト思ヒマス、若シ詳細ニ御聽キニナリタケレバ、拓務當局ノ方カラ御答致シマス

○北島政府委員 先程永田サンカラ、内地ノ銑鐵ニ對シマシテハ、今度ノ關稅引上ニ依ッテ、或ル程度ノ保護ヲ受ケルケレドモ、滿鐵及本溪湖ノ銑鐵ハ、今度ノ増稅ノ結果、ソレダケ負擔ハ増加シ、サウシテソレヲ保護スル爲ノ何等ノ豫算ガ計上サレテ居ナイカラ、非常ニ不都合デヤナイカ、今度ノ臨時議會ニ出セバ宜イケレドモ、次ノ通常議會ニ出スト云フコトニナレバ、一年遅レニナルト云フヤウナ御話デアリマス、之ニ付キマシテハ、マダ政府トシテ確定シタコトハ申シ兼ねマスケレドモ、大體吾々ノ方ノ考ト致シマシテハ、次ノ通常議會ニ、今年度ノ追加豫算トシ

テ必要ノ金額ヲ要求スルコトニ、目下大藏省ト折衝中デアリマス、一寸確定的ノコトハ申上ダ兼ネルノデアリマシテ、大體サウ云フコトニナッテ居リマス
○中島(彌)委員 一寸議事進行ニ付テ申上デマスガ、昨日商工省ノ技師ノ御方カラ伺フコトニナッテ居リマシテ、此間九臺デアリマシタカ、國產自動車試運轉ニ付テヤッタコトニ付キマシテ、吾々ノ得タ報告ニ依リマス、ト、「ギヤ」ノ重要ナル部分ニ付テ故障ガアッタト云フコトヲ聽イテ居リマスガ、昨日ノ政府委員ノ御説ニ依リマス、ト、サウデナクテ「マチリヤル」ノ供給ガ不足デアッタト云フ點ノ相違ガアリマシテ、商工當局ハ御説明ガ出來ナカッタノデアッテ、技術者ヲ呼ンデ、今日ノ會議ニ於テ御説明下サルト云フコトニナッテ居リマスガ、其點ハドウナッテ居リマス、ト、朝カラ一向何ノ御沙汰モアリマセスガ……

○東委員長 昨日私ハ五時カラ臨時ノ用ガアッテ、委員長ヲ理事ニ勤メテ貰ッテ、其後ノ經過ハ實ハ能ク存ジテ居ラスノデスガ、其時ニ若シ説明ガナカッタトスルナラバ、技術者ノ御出席ヲ願ッテ居ッテ、機會ガアッタラ御許シテ説明ヲ願フ積リデアッタガ、其機會ガアツタカナカッタカ、私ノ居ル間ハナカッタノデスガ——技術者ガオイデニナッテ居ルヤウデ

アリマスカラ、ソレデハ是カラ説明ヲ願ヒマス、ドウカ吉田サン……
○中島(彌)委員 國產自動車ノ部分品ニ付キマシテハ、政友會ノ御方ノ間ニモ議論ガアリマスシ、民政黨ノ間ニモ議論ガアリマシテ、是ハ餘程重要ナル點ガアリマスカラ、能ク詳シイ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、大阪カラ東京マデノ間ニ於ケル試運轉ノ狀況ヲ十分承リタイ
○吉田商工省囑託 國產自動車ニ付キマシテハ、自動車工業確立調査委員會デ、我國ニ適スル、生産費モ割合ニ安イ自動車ヲ作ラウト云フ考デ、色々苦心シテ設計致シマシテ、其設計圖面ニ付テ試作ヲ致シマシテ、陸軍自動車學校其他デ準備試驗ヲ致シ、又運行試驗ノ爲メ東京カラ名古屋マデ參リマシテ、ソレカラ山ノ方ヲ通ッテ東京ヘ歸ッテ、一千「キロ」ノ運行ヲ致シマシタ、ソレニ依ッテ色々性能ヲ見マシタノデスガ、此自動車ニ付キマシテハ、昨日モ中島サンガ仰シヤッタヤウニ、チヨイ／＼シタ故障ノアリマシタコトハ事實デゴザイマスガ、ソレハ何レモ極ク部分的ノ輕微ナ點デゴザイマシタ、何シロ新シク設計致シマシテ、其設計ニ依ッテ初メテ作りマシタノデ、ソレモ非常ニ急イデヤッタ爲ニ、サウ云フ故障ガ起ッタノデアリマシテ、技術ノ未熟トハ考ヘ

テ居リマセヌ、五臺參リマシタケレドモ、ドレモ是モ同ジヤウナ故障ノアッタト云フコトハ一ツモアリマセヌ、或モノハ和田峠ノ非常ナ急坂ノ所ヲ登リマス時ニ「ラジエーター」ガ過熱シタト云フコトモアリマスケレドモ、ソレハ一番重イ五號車ト云フノダケデアリマシテ、他ノモノハサウ云フ事ハアリマセヌ、又「デイファレンシャル・ギヤ」ノ小サイ方ガ、分解檢査ヲ致シマシタ時ニ、減リガ大分多ク、當リガ惡カッタト云フコトハゴザイマスケレドモ、是ハ一臺ダケガ焼入ノ時ニ、少シ歪ミガアッタ爲ニ起ッタモノデアリマス、詰リ急イデ工作シタ工作上ノ手落デアルト云フコトデ、ソレ等ニ付テ色々調ベテ、今後ハサウ云フコトノ無イヤウニ研究致シテ居リマス、ソレカラ設計ニ付テモ、多少部分的ニハ缺點ガアリマスカラ、ソレハ其後改造ノ方法ヲ研究致シマシテ、近々ノ内ニモウ一度其スツカリ改良シタモノニ付テ試驗ヲ致シマシテ、賣出スマデニハ十分良イモノニナシ得ル確信ヲ有ッテ居ルノデアリマス、決シテソレガ根本的ノ不良トカ、或ハ技術ガ未熟ナ爲デアルトハ存ジテ居リマセ

○中島(彌)委員 サウスルト「ギヤ」ノ故障ガアッタト云フコトハ認メラレ

○吉田商工省囑託 左様デス

○中島(彌)委員 サウスルト私共ノ調査シテ居ル所ニ依ルト、自動車ノ部分品ノ中デモ、「ギヤー」ナンカ随分重要ナ部分ダト私ハ考ヘルガ、アナタモサウ御考ニナリマセウネ

○吉田商工省囑託 「ギヤー」ハ重要ナ部分デアリマスケレドモ、其故障ノ工合ニ依ッテ、ソレガ非常ニ重大ナ場合ト云フコトハ、減リガ少シ早イト云フコトデアリマシテ、大シタ問題トハ考ヘマセス、焼入ノ際ニ曲ッタ爲ニ、其處ガ摺レテ減ッタノデアリマスカラ、ソレサヘ改良致シマスレバ宜イノデ、材質ナドハサウ惡クナイト云フコトデアリマス、又其曲リモ十分注意ラシ、適當ナ方法デアレバサウ云フコトハアリマセヌカラ、其「ギヤー」ハ重要ナモノデアリマスガ、其故障ハ大シタ根本的ノコトデハナイト考ヘテ居リマス

○中島(彌)委員 サウシマスト云フト、五臺デ一千「キロ」ノ間試運轉ヲヤッタ點ニ付キマシテ、僅カ一千キロ位ノ所デ故障ガ起ッタノデスカ、五臺全部ヲヤラレタノデスカ、私ハ九臺ダト聽イテ居リマス

○吉田商工省囑託 九臺試作シタ中、運行試験ヲシタノハ五臺デス、五種類ニ付テ一臺宛五臺運行シタノデス

○中島(彌)委員 其故障ノアツタ點ハ「ギヤー」ダケデスカ

○吉田商工省囑託 其以外ニモ、例ヘバ或物ハ辨ヲ開閉スル裝置ノ所ガ緩ンデ、少シ其處ヲ直シタノデ、其場所ハ丁度濱松ノ少シ先ノ宇里峠デ故障ガアリマシタ、ソレモ一臺ダケデアリマス、ソレハ振動ノ爲ニ「ナット」ノ緩ンダ爲デアリマス

○中島(彌)委員 ソレハ「ナット」ノ緩ンデスカ

○吉田商工省囑託 ソレハ試作ノ爲ニサウ云フ手落ガアリマシタノデ、非常ニ忙シイ時ニ急ニ作ッテ、ヤット間ニ合ッタト云フ風デ、多少手落ガアリマシタ、ソレカラ準備ノ運轉モ不十分デアッタ點モアリマス、何シロ出發スルノニ、前ノ日ニ出來上ッタバカリノモノモ其中ニアリマシタ、一番初メニ作ッテ、大阪カラ東京迄來マシタ一號車ト云フ、三米半ノ貨物自動車ハ、大阪カラ東京迄來テ、確立委員會ノ日ニ東京ニ到著シタノデアリマスガ、三十何時間走ッテ其間少シモ故障ガナカッタ、サウ云フ車モアリマシタ、全部ガサウ云フ風ニ惡カタ譯デハナイノデアリマス

○中島(彌)委員 サウシマスト「ギヤー」ノ燒キガ足ラヌノハ、工作上ノ手落ト云フコトデアルカ、私ハ國產自動車ニ付キマシテハ、洵ニ重大ナル是

ハ缺陷デアラウト考ヘマス、ノミナラズ今ノ御説明ニ依リマスト、非常ニ急イデ試作ヲヤラシタ、ソレデ斯ウ云フ缺陷ガ出來テ來タト云フ風ニ承リマシタガ、私共ノ調査シタ所ニ依リマスルト云フト、三千種ノ輸入部分品ノ中デ、一千種ト云フモノハ、非常ニ破損シ易イノデアリマスガ、其中デモ「ギヤー」ノ如キハ、私承ル所ニ依リマスレバ、日本デハ、外國品ニ比シテマダ十分ナモノハ出來ナイ、外國品程經濟的及技術的ニ考ヘテ立派ナモノガ出來ナイト云フコトヲ、私ハ調査致ス所ニ依ッテ發見シタノデアリマス、其外「スパーク・プラグ」ニ用ヒラル、硬質陶器ノ如キモノ、日本デハマダ外國品ノ如キ完全ナルモノハ出來ナイ、ソレカラソレバカリデハナイ「トランスミッター」ノ「ケース」ノ「シリンドラー」ノ如キモ澤山アリマスガ、「デフレンシャル」ノ「ケース」ノ如キモ、日本デハ外國品ニ比シテ完全ナモノハ出來ナイ、一々品物ヲ舉ゲレバ、三千種皆舉ゲテモ宜シイガ、兎ニ角餘程日本ノ技術ト云フモノハ、マダ幼稚デアッテ、之ニ對シテ經濟的ニモ出來ナイ、僅ニ試作ニ於テ、一千「キロ」ノ試運轉ノ使用ニ於テサヘモ、是ダケ重大ナル部分ニ缺陷ヲ生ジタト云フコトデアル、是ガ市場ニ販賣サレルト云フコトニナッテ來マスレバ、今申上

ゲマシタ自動車ノ故障ガ多クテ、生命ヲ傷付ケルコトガ非常ニ多クナルノデハナイカト考ヘマスガ、自動車ノ部分品ニ對スル關稅ヲ引上ゲルト云フコトハ、私ハマダ早イ、此保護ヲスルト云フコトニ付テハマダ早イ、今ハ普及時代デハナイカト云フコトヲ痛切ニ感ズルノデアリマシテ、今作ッテ居ルモノガ、皆賣レルモノダケヲ作ッテ、賣レナイモノハ殆ド作ラナイ、之ヲ揃ヘルニモ中々揃ハナイ、日本品ダケデハ揃ハナイ、外國品ヲ入レテ、外國品ダケデハ値段ガ高クナルカラ、日本品ヲ入レルニ違ヒナイ、チャンポンニ使フニ違ヒナイ、サウナリマスト故障ヲ起ス部分ガ多クナッテ來ハセスカト云フ心配ガアリマス、技術官ノ御考ハドウ云フ御考デアリマスカ

○吉田商工省囑託 今度ノ試作車ハ、今申スヤウニ初メテ作ッタノデアリマスケレドモ、軍用自動車トシテハ十年間ニ數千臺使ッテ居リマシテ、東京ニモ澤山走ッテ居リマス「スミダ」「チヨダ」ナド、云フモノガソレデアリマス、ソレハ殆ド使用部分品モ殆ド國產品デアリマス

○中島(彌)委員 ソレハ乗合自動車デスカ

○吉田商工省囑託 「トラクタ」ト「バス」ダケデス、乗用車ハマダヤッテ居リ

マシタ自動車ノ故障ガ多クテ、生命ヲ傷付ケルコトガ非常ニ多クナルノデハナイカト考ヘマスガ、自動車ノ部分品ニ對スル關稅ヲ引上ゲルト云フコトハ、私ハマダ早イ、此保護ヲスルト云フコトニ付テハマダ早イ、今ハ普及時代デハナイカト云フコトヲ痛切ニ感ズルノデアリマシテ、今作ッテ居ルモノガ、皆賣レルモノダケヲ作ッテ、賣レナイモノハ殆ド作ラナイ、之ヲ揃ヘルニモ中々揃ハナイ、日本品ダケデハ揃ハナイ、外國品ヲ入レテ、外國品ダケデハ値段ガ高クナルカラ、日本品ヲ入レルニ違ヒナイ、チャンポンニ使フニ違ヒナイ、サウナリマスト故障ヲ起ス部分ガ多クナッテ來ハセスカト云フ心配ガアリマス、技術官ノ御考ハドウ云フ御考デアリマスカ

○吉田商工省囑託 今度ノ試作車ハ、今申スヤウニ初メテ作ッタノデアリマスケレドモ、軍用自動車トシテハ十年間ニ數千臺使ッテ居リマシテ、東京ニモ澤山走ッテ居リマス「スミダ」「チヨダ」ナド、云フモノガソレデアリマス、ソレハ殆ド使用部分品モ殆ド國產品デアリマス

○中島(彌)委員 ソレハ乗合自動車デスカ

○吉田商工省囑託 「トラクタ」ト「バス」ダケデス、乗用車ハマダヤッテ居リ

マシタ自動車ノ故障ガ多クテ、生命ヲ傷付ケルコトガ非常ニ多クナルノデハナイカト考ヘマスガ、自動車ノ部分品ニ對スル關稅ヲ引上ゲルト云フコトハ、私ハマダ早イ、此保護ヲスルト云フコトニ付テハマダ早イ、今ハ普及時代デハナイカト云フコトヲ痛切ニ感ズルノデアリマシテ、今作ッテ居ルモノガ、皆賣レルモノダケヲ作ッテ、賣レナイモノハ殆ド作ラナイ、之ヲ揃ヘルニモ中々揃ハナイ、日本品ダケデハ揃ハナイ、外國品ヲ入レテ、外國品ダケデハ値段ガ高クナルカラ、日本品ヲ入レルニ違ヒナイ、チャンポンニ使フニ違ヒナイ、サウナリマスト故障ヲ起ス部分ガ多クナッテ來ハセスカト云フ心配ガアリマス、技術官ノ御考ハドウ云フ御考デアリマスカ

○吉田商工省囑託 今度ノ試作車ハ、今申スヤウニ初メテ作ッタノデアリマスケレドモ、軍用自動車トシテハ十年間ニ數千臺使ッテ居リマシテ、東京ニモ澤山走ッテ居リマス「スミダ」「チヨダ」ナド、云フモノガソレデアリマス、ソレハ殆ド使用部分品モ殆ド國產品デアリマス

○中島(彌)委員 ソレハ乗合自動車デスカ

○吉田商工省囑託 「トラクタ」ト「バス」ダケデス、乗用車ハマダヤッテ居リ

マシタ自動車ノ故障ガ多クテ、生命ヲ傷付ケルコトガ非常ニ多クナルノデハナイカト考ヘマスガ、自動車ノ部分品ニ對スル關稅ヲ引上ゲルト云フコトハ、私ハマダ早イ、此保護ヲスルト云フコトニ付テハマダ早イ、今ハ普及時代デハナイカト云フコトヲ痛切ニ感ズルノデアリマシテ、今作ッテ居ルモノガ、皆賣レルモノダケヲ作ッテ、賣レナイモノハ殆ド作ラナイ、之ヲ揃ヘルニモ中々揃ハナイ、日本品ダケデハ揃ハナイ、外國品ヲ入レテ、外國品ダケデハ値段ガ高クナルカラ、日本品ヲ入レルニ違ヒナイ、チャンポンニ使フニ違ヒナイ、サウナリマスト故障ヲ起ス部分ガ多クナッテ來ハセスカト云フ心配ガアリマス、技術官ノ御考ハドウ云フ御考デアリマスカ

○吉田商工省囑託 今度ノ試作車ハ、今申スヤウニ初メテ作ッタノデアリマスケレドモ、軍用自動車トシテハ十年間ニ數千臺使ッテ居リマシテ、東京ニモ澤山走ッテ居リマス「スミダ」「チヨダ」ナド、云フモノガソレデアリマス、ソレハ殆ド使用部分品モ殆ド國產品デアリマス

○中島(彌)委員 ソレハ乗合自動車デスカ

○吉田商工省囑託 「トラクタ」ト「バス」ダケデス、乗用車ハマダヤッテ居リ

マシタ自動車ノ故障ガ多クテ、生命ヲ傷付ケルコトガ非常ニ多クナルノデハナイカト考ヘマスガ、自動車ノ部分品ニ對スル關稅ヲ引上ゲルト云フコトハ、私ハマダ早イ、此保護ヲスルト云フコトニ付テハマダ早イ、今ハ普及時代デハナイカト云フコトヲ痛切ニ感ズルノデアリマシテ、今作ッテ居ルモノガ、皆賣レルモノダケヲ作ッテ、賣レナイモノハ殆ド作ラナイ、之ヲ揃ヘルニモ中々揃ハナイ、日本品ダケデハ揃ハナイ、外國品ヲ入レテ、外國品ダケデハ値段ガ高クナルカラ、日本品ヲ入レルニ違ヒナイ、チャンポンニ使フニ違ヒナイ、サウナリマスト故障ヲ起ス部分ガ多クナッテ來ハセスカト云フ心配ガアリマス、技術官ノ御考ハドウ云フ御考デアリマスカ

○吉田商工省囑託 今度ノ試作車ハ、今申スヤウニ初メテ作ッタノデアリマスケレドモ、軍用自動車トシテハ十年間ニ數千臺使ッテ居リマシテ、東京ニモ澤山走ッテ居リマス「スミダ」「チヨダ」ナド、云フモノガソレデアリマス、ソレハ殆ド使用部分品モ殆ド國產品デアリマス

マセヌ、ソレモ前ニハヤッタコトガアリ、アレモマダ非常ニ不完全ナモノデ、アル、ドウシテモ八箇月位保タナケレバ、營業者トシテハ算盤ガ採レナイ、一箇月位デ直グ故障ガ起ツテ來ル、陸軍省ノ方デモ聽イテ見マシタノニ、陸軍省ノ方デハ完全ナモノヲ納メサセテ居リマス、之ヲ納メル時ニ陸軍ノ力デ、刻申上ゲマシタ氣化器ト云フ、瓦斯ヲ蒸發サセル器具ハ、外國品ヲ使ツテ居ル、ソレモ幾分内地品ヲ使ツテ居ルモノモアリマス、ソレカラ今ノ「スバークプラグ」ハ、日本デハ相當良イモノガ出來マシテ、飛行機ニハ「テルコ」ト云フモノヲ使ツテ居リマスケレドモ、値段ガ安く出來ナイ爲ニ、ドウシテモ自動車ニハ向カナイ、品質ハ其處マデ良クナクテモ、生産費ノ關係デ、名古屋ノ日本碍子會社デ作ツテ居ル「エスジ」ト云フノハ、盛ニ此頃賣出シテ居リマシテ、相當使ハレテ居リマスガ、マダ亞米利加ノ「エーシー」トカ「ボッシュ」ナドノ方ガ、信用ノ深イモノデスカラ、多く用ヒラレルノデアリマス、是等ハ今後國產自動車ガ多數ニ出來、サウシテ日本品ヲ成ベク使ウヤウニ進メテ行キマスレバ、益、發達スルコト、考ヘテ居リマス

○中島(彌)委員 丸「ティー」ノ「タイヤ」ノ如キハ、丸「ティー」ノ印ガアルテ居リマスモ、ハ、外國資本ノ「ダン

「グード、リッチ」ト、最近日本足袋ノ「ブリヂストン」ガ評判ガ良クテ、規模モ大キク生産費モ少イノデアリマシテ、追々品質ガ良クナツテ居ルノデアリマシテ「ダンロップ」ヲ含ンダ國產品ガ需要ノ大部分ヲ充シテ居ル程度デ、輸入ニ依ル必要ハナイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ、是迄「バス」ヤ「トラック」ノ故障ガアルト云フコトハナイト私ハ思ヒマス、東京市デモ昨年ハ四十臺モ國產品ヲ購入シタノデアリマス、大阪其他デモ軍用保護自動車ノ乗合ガ澤山使ハレテ居リマス、是等ハ外國品ノ或物ニ此較スルト、却テ優良ト認メラレテ居リマス、尤モ自動車ト云フモノハ非常ニ高級ナモノモアリ、割安ノモノモアリマスカラ、色々比較スルモノニ依ツテ、良イモノモアリ、惡イモノモアルト云フコトハ申スマデモナイ、大體「スミダ」ヤ「チヨダ」ノ如キハ、長年使ツテ成績ガ惡クハナイト思ヒマス、何シロ價格ノ點ニ於テ、ドウシテモアノ儘デハ外國品ト競争出來ナイ、今度ハ其點ヲ餘程考慮シテ、モウ少シ完全ナモノニシタイト云フ考デアリマス

○中島(彌)委員 ソレカラ規格ノ點ガ統一シテ居ナイノデ、外國品ヲ入レテ來テ、之ヲ使ツテ、又日本品モ使用スルト云フ點ニ付キマシテ、石川島其他色

色アリマスルガ、會社ニ依ツテ殆ド製造ガ不統一デアツテ、非常ニ此點ニ付テ部分品ガ、日本デハ完全ニ揃ハナイ、此點ニ付テ商工當局ハ之ヲ統一サスト云フコトニ付テ、ドウ云ウヤフナ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、非常ニ規格ガ不統一デアツテ、一方ノモノハ一年モ持タヌト云フヤウナ點デ困ツテ居ルヤウデア

ル、工場ノ各部分品ノ生産ニ付テノ、規格ノ不統一ト云フコトカラシテ、非常ニ營業者ガ困ルト思ヒマスガ、其點ドウ御考デアリマスカ

○吉田商工省囑託 今御話ノ規格ノコトハ、非常ニ御尤ナコト、思ヒマスノデ、吾々トシテモ自動車ニ關係シマストキニ、第一ニ規格ヲ統一シテ大量生産ニヤル、サウシテ「サーヴィス」ヲ圓滑ニシテ、何處デモ其部分品ガ得ラレルヤウニスルト云フコトハ、非常ニ重要ナコト、考ヘテ居ル譯デアリマスガ、是マデノ軍用自動車ハ、色々ノ發達ノ徑路ノ爲ニ、多少規格ガ統一シテ居ラナイ、其爲ニ「サーヴィス」ガ十分ニ行カナイト云フコトハゴザイマスノデ、今度ノ標準設計ヲ致シマストキニハ、其點ハ最重要ナルコト、考ヘマシテ、スッカリ委員會ニ於テ規格ヲ統一一致シマシテ、其統一シタ規格ニ依ツテ試作ヲヤリマシタ、陸軍ノ方デモ、或所ダケハ一緒ニスルト云フ風ニ、色々

研究致シマシタ、今仰シヤッタ規格ノ不統一ハ、出來ルダケ早く避ケテ、隨テ部分品ノ供給モ、規格ガ統一スレバ大變良クナリハシナイカト云フノデ努力致シテ居リマス

○中島(彌)委員 其規格ノ不統一ハ認メラレテ、是カラ先キ規格ヲ統一サスト云フノデスカ、何等カノ方針ヲ以テ指導ナサレツ、アルノデスカ

○吉田商工省囑託 今度商工省デハ、大體標準規格ニシヨウト云フ豫定ノ下ニヤリマシタ、ソレ等ニ付テモ、ソレヲ全部一ツニシテシマフカ、多少其中ノ重要ナルモノダケヲ統一シテ、他ハ自由ニ委スト云フヤウナコトハ、是カラノ問題ダト思ヒマス、兎ニ角先ヅ標準規格ニ付テノ大抵ノ見込ガ出來マシテ、ソレヲ今試験シテ居ル譯デアリマス、併シ是ハ唯一噸半カラ二噸ノ貨物自動車、及ソレニ相當スル乗合自動車ダケデアリマシテ、後トノ乗用車トカ、小型トカ、大型ノモノガドハ、今後ソレノ規格ヲ決メナケレバナリマセス

作ッテ、賣レナイモノハ殆ド作ラナイ狀態ニアッテ、日本ノ部分品ヲ揃ヘルコトハ勿論出來ナイガ、經濟的ニ考ヘテモ、亦技術的ニ考ヘテモ、此關稅ヲ高クシテ、外國品ガ入ッテ來ナイヤウニナルト云フコトハナイデセウガ、少クナルトカ、或ハ高クナルトカ云フト、勢ヒ其日本品ハ使ハレルト云フコトニナッテ來テ、其處等ノ故障ノ點ニ付テハドウ考ヘマスカ

○吉田商工省囑託 ソレ等ニ付テハ、自動車工業ノ施設ヲシマスニ當ッテハ、大ニヤラナケレバナラナイコトダラウト思ヒマス、ソレハ現在「フォード」「シボレー」ナド、澤山外國ノ物ガ使ハレテ居マスケレドモ、同時ニ其「スベア」ノ部分品トシテハ、内地デ可ナリ色々ナ物ニ付テ作ッテ居リマス、ソレカラ未ダ作ッテ居ナイ部分モ無論アリマス、サウ云フ譯デアリマスガ、其中ニハ、今仰シヤッタヤウニ、可ナリ小サイ工場デアアル爲ニ、値段ヲ安クスル結果、品質ガ良クナイモノガ随分アリマスノデスカラ、ソレ等ニ付テモ、是カラ當業者ヲ鞭撻シ、標準ノ試驗方法ヲ定メマシテ品質ノ惡イモノガ成ベクナイヤウニ努メルコトガ必要デアラウト思ヒマス

○中島(彌)委員 ソレカラ國產自動車ノ中ニ付キマシテモ、重要ナル部分ニ

付テハ、外國品ヲ使ッテ居ルト云フコトデアリマシタガ、ソレハ事實デスカ

○吉田商工省囑託 重要品デ國產品ノマダ出來ナイノハ、先程申上ゲマシタ氣化器デゴサイマス、アレハ非常ニ重要ナモノデアリマス爲ニ……

○中島(彌)委員 イヤ國產自動車ノ組立ニ付テモ、其機械ノ重要ナル部分ニ付テハ、日本デ出來ナイデ、國產自動車ト稱シテ外國品ヲ使ッテ居ルト云フコトデスカ、事實デスカ、國產自動車ハ全部國產品ヲ以テヤッテ居リマスカ、自動車ニ依ルト、國產自動車ト云ッテモ、外國品ヲ使ッテ國產自動車ト形ダケヲ稱シテ居ル、粗末ナ點ダケガ國產品デアッテセラレテ、自動車ノ重要ナ點ダケガ、外國品ヲ使ッテ居ルト云フ關係ニナッテ、外國品ノ中ニ混ツタ、所謂模擬的ノ國產品ニナッテ居ルト云フコトハ、吾々調査シテ居リマスガ、部分品ノ何處々々ヲ使ッテ居ルト云フ點ニ付テモ申上ゲテモ宜イガ、ソレハ事實デスカ

○吉田商工省囑託 私ノ見ル所ニ依ッテ申シマス、陸軍デモ非常ニサウ云フ風ニヤカマシク言ヒマシテ、出來ルダケ國產品ヲ使ヘト云フコトニナッテ居リマスノデ、殆ド全部日本ノ物デゴザイマスガ、唯重要ナ物デ出來ナイノハ、先程申シマシタ氣化器トカ電氣部分品トカ、特殊ナモノダケデアッテ、他

ノ主ナ部分「エンジン」ノ「バート」或ハ「ギヤー」「シヤフト」サウ云フモノハ全部日本品デアリマス

○中島(彌)委員 外國品モ使ッテ居ルノデスカ

○吉田商工省囑託 外國品ハ使ッテ居リマセス

○中島(彌)委員 國產自動車ト申スモノハ、全部國產品デスカ

○吉田商工省囑託 唯先刻申シタ二三ノ物ダケデアリマス、併シソレハ今後漸次日本品ヲ使用スルコトヲ努メテ居リマス

○中島(彌)委員 サウスルト合ノ子デアッテ、日米合ノ子見タヤウナモノデ、國產品ト認メラレナイト云フ點ガ餘程アル、此委員會デ國產自動車ノ何處ノ部分ハ何ヲ使ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲテモ宜イガ、餘リ長クナルカラ是デ打切りマス、大體説明ハ分リマシタガ、吾々ノ質問ニ對スル答辯トシテハ、頗ル不満足デアルト云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス

○倉元委員 午後商工大臣ノ御出席ヲ求メラレマスカ

○東委員長 求メラレマス——ソレデハ大變長クナリマシタガ、午後ハ正二時カラ必ズ開會スルコトニ致シマス

午後零時五十分休憩

○吉田商工省囑託 商工省ノ規格統一調査會ニ於テハ、捻子ナドニ付テ、今頻ニ全部ノ規格統一ヲヤッテ居ル、其外色々ナ物ニモ著手スル豫定デアリマス

○中島(彌)委員 賣レルモノダケヲ

○中島(彌)委員 賣レルモノダケヲ

午後二時十三分開會

○東委員長 ソレデハ是ヨリ開會ヲ致シマス

○手代木委員 私ハ昨日カラ大分質問應答ヲ重ネマシタ木材關稅ノ關係デ取殘サレテ居ルコトニ付テ、餘リ長イ時間ニ涉ラナイヤウニシマシテ、要領ダケヲ御質問致シタイト考ヘマス

第五十九議會ニ於キマシテハ澱粉、乳製品、木材ト云フヤウナモノガ大分論議ヲセラレタノデアリマス、農林大臣ハ是等ニ付テモ十分ニ考慮ラシテ、適當ナル解決ヲ圖ルト云フヤウナコトモ言ハレ、尙ホ又南洋材ノ問題ニ對シテハ、將來輸入ガ益、増加スルヤウナコトガアルナラバ、之ニ對スル對策ヲ樹テルト云フコトヲ言明セラレタノデアリマス、其當時此木材、殊ニ南洋材ニ對シテハ、委員長ノ東サン外十何名カノ建議案モアリ、又民政黨ノ方カラモ同様南洋材ヲ含シタ木材關稅ノ引上ニ付テノ建議案ガアリマシタ、ソレカラ其後乳製品、澱粉ノ方ハ、幸ニシテ政府案トシテ今度ノ此多數品目ノ中ニ加ヘラレタノデアリマシテ、是ハ當時吾々ガ熱心ニ主張致シマシタ目的ハ貫徹セラレタノデ、疲弊セル農村救済ノ上ニ洵ニ結構ナコトデアルト満足ヲ致シテ居ルノデアリマス、今同木材ノ關稅引上ガ一部行ハレルノ際シマシ

テ、其當時カラ非常ニ問題ニナリ、重要視サレテ居タ所ノ南洋材ダケハ取殘サレタト云フコトハ、洵ニ私共トシテハ不思議ナコトデアリ、又洵ニ遺憾ニ考ヘルコトデアリマス、昨日來ノ委員ノ質問ノ中ニモ明カデアアルヤウニ、今日ノ木材ノ市價ガ非常ニ暴落シテ居テ、是ガ林業上、或ハ森林ノ保護ノ上、或ハ森林ノ利用ノ上、或ハ産業ノ保護ノ上カラ見テ、之ニ對スル十分ナル對策ヲ立テナケレバナラス、其意味カラ或ハ樺太林ガ非常ニ濫伐セラレルコトニ付テ、之ヲ防止シナケレバナラスト云フヤウナコトデ、態々樺太長官ニ樺太林政上ニ對スル意見ヲ質シ、尙ホ是デモ前途ヲ懸念セラレルノデ、何等カノ固イ希望デモ述べヤウカト云フヤウナ話モアル場合デアリ、又永田君ナドカラ我國ノ森林政策、林業政策ニ對スル根本的ノ意見的ノ質問モアッタ譯デアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマスレバ、當然此南洋材ノ關稅ヲ引上ゲル、新ニ課稅スルコト、是ハ當然早急ニ解決セラレナケレバナラス所ノモノデアルト考ヘルノデアリマス、第五十九議會ニ於ケル町田農林大臣ノ言明ニ基キマシテモ、即チ將來輸入ガ大ニ増加スルヤウナコトガアルナラバ、必ズ關稅政策ヲ實行スルト云フコトヲ言明シテ居ルノデアリマス、サウ云フ言明ニ照合シテ、

其後ノ狀況ヲ見マスト云フト、本日御配付ニナリマシタ資料ノ中ニモ南洋材輸入ノ狀勢ト云フ中ニ、此統計ニ明カデアアル通り、南洋材ニ於テハ昭和二年ヲ百ト見マスルナラバ、昭和三年ハ百四十七、四年ニハ二百十八、五年ハ百九十七、六年ガ二百四十三、斯ウ云フ趨勢ニ増加ヲ致シテ居ルノデアリマス、而シテ此南洋材ト最モ利害關係ヲ有ッテ居ル北海道ノ闊葉樹材ヲ序ナガラ比較對照シテ見マスナラバ、ヤハリ此表ニアリマス通り、昭和二年ヲ百トシマスレバ、昭和五年ニハ八二ニナリ、六年ニハ七三ニ減ジテ居ルノデアリマス、又同ジク農林省デゴザイマセウ、此御提出ニナッタ資料ノ末尾ノ方ニ、即チ昭和七年ニ於テモ一月ヨリ——最近ノデゴザイマスルガ——三月マデノ情勢ヲ見ルニ此表ニ明カデアアル如ク、前年ヨリモ五割強ノ輸入増加ヲ示セリ、斯ウアルノデアリマス、私共ノ調査スル所ニ依リマシテモ、過去四年間南洋材ガ入荷ヲシテ居ル數量ヲ見マスルト云フト、是ハ大藏省主稅局ノ調デアリマスルガ、之ヲ見マスルト、昭和四年、五年、六年、此三箇年ノ比率ヲ見マスレバ、丁度三年度ニ較ベマス、四年度ニ於ケル所ノ増加率ハ四八「パーセント」、五年度ニ於テハ三四「パーセント」、六年度ニ於テハ六五「パーセント」、斯ウ云フ

増加ヲ來シテ居ルノデアリマス、而シテ之ニ——先程申上ゲル通り——相對抗致シテ居ル所ノ北海道材ノ所謂闊葉樹材、是ダケヲ見マスと云フト、昭和三年ニ對スル比率ト致シマシテ、昭和五年度ハ一五「パーセント」ヲ減ジ、六年度ニ於テハ三三「パーセント」ヲ減ジテ居リマス、之ヲ今度ハ南洋材及北海道ノ闊葉樹材ノ市場ニ於ケル入荷數量ヲ見マスと云フト、南洋材ハ三年度ニ於テ一九「パーセント」、二、ソレカラ四年度ニ於テハ二六「パーセント」、一、五年度ニ於テハ二七「パーセント」、四、六年度ニ於テハ三七「パーセント」、一、コンナ割合ニ市場ニ入荷ヲ致シテ居ル、其反對ニ北海道材ハ段々減少致シテ來テ居リマス、三年度ニ於テハ八〇「パーセント」、八、四年度ハ七三「パーセント」、八、五年度ハ七二「パーセント」、六、六年度ハ六二「パーセント」、一、是ハ所謂市場ニ入ッタ其儘デアリマス、丸太モアガ、サウ云フモノ、合計ガ斯様ナ割合ニナッテ居ル、而シテ之ヲ本當ニ利用シ得ル所ノ製材トシテノ實際數量ヲ比較シテ見マスレバ、此割合ガ三年度ニ於テハ南洋材ハ二九・三「パーセント」、北海道ハ七〇・二「パーセント」、四年度ニ於テハ南洋材ガ三七・六「パーセント」、北海道ガ六二・四「パーセント」、五年度

ニ於テハ南洋材ガ三六・七「パーセント」、北海道ガ六一・三「パーセント」、六年度ニ於テハ南洋材ガ四八・八「パーセント」、北海道ガ五一・二「パーセント」、斯ウ云フコトニナリマシテ、全ク現在ニ於テハ、大體此製材ガ利用セラレル點カラ申シマス、南洋材ト北海道材ガ斯様ナ割合ニ、殆ド半分々々ノ割合ニナッテ居ルノデアリマス、サウ云フ點カラ見マス、所謂町田農林大臣ノ其當時言ハレタ、輸入ノ傾向ガ著シク増加シタナラバ、勿論關稅政策ヲ實行スルト言明セラレタコトニ、十分ニハ該當スル、ドウシテモ茲ニ關稅ニ付テ考慮スル、而モ之ヲ出來得ル限リ迅速ニ實施スルト云フヤウナコトニ該當シテ居ルモノデアルト考ヘルノデアリマス、此様ナ事態デ、非常ニ北海道ノ闊葉樹材——内地カラモ出ルノデアリマス、是等ガ著シク南洋材ニ侵食セラレテ居ル、斯ウ云フ次第デアリマス、之ニ付テハ今同當然關稅ノ改正ヲ目論マレナケレバナラナカッタモノデアルト信ジマス、ガ、農林當局ニ於テハ之ニ付テ如何ナル見解ヲ持ッテ居ラレカ、承リタイ

テ居ル狀況ハ、私共認メテ居ル次第デアリマス、ソレデ此點ニ關シマシテハ前々ノ關係モアリマス、相當ノ點マデ私共考慮シタイト思フノデアリマス、唯ダ一面何レノ關稅關係ニ於キマシテモ付イテ參リマスコトデアリマス、生産者消費者及海外伸展ノ關係ガアリマス、此問題ニ付キマシテハ特色々濃厚デゴザイマス、實ハ差急イデ今回ノ機會ニ提案スル、一般ニ提案サレマシタ關稅率ノ引上ニ提案スルノニハ實ハ問ニ合ヒ兼ネ次第デアリマス、尙ホ此問題ニ關シマシテハ、只今ソレハ關稅當局ノ間ニ於キマシテ研究ヲ重ネテ居ル次第デアリマス

○手代木委員 是ガ急速ニ解決出來ナイ狀態ニアルコトニ付テハ色々反對ノ意見モアリ、殊ニ又邦人ノ海外進出ノ點ヲ拓務省アタリデ大ニ考慮セラレ、結果デアルトハ思フノデアリマス、是モ相當理由ノナイ譯デハアリマセヌケレドモ、吾々ノ承ッテ居リマス所ノ、色々此問題解決ノ支障ニナルヤウナモノニ付テ大分論點ガアルヤウデアリマス、之ニ對シマシテ第一ニ伺ヒタイコトハ、此南洋材ニ課稅スル、或ハ關稅ヲ引上ゲレバ、今モ申上ゲマシタ通り南洋ニ於ケル直接木材企業ノ點ヲ阻害スル、斯ウ云フコトヲ言ハレルヤウデアリマス、併シ邦人ノ木材企業狀

態ハ農林拓務當局ニ於テモ十分御調ノコト、思ヒマス、吾々ノ見ル所ニ依リマス、三四年前ニハ幾ラカ見ルベキモノガアツタケレドモ、其後ノ狀況ハ著シク惡化ヲ致シテ居ル、殆ド企業ト云フ點カラ申セバ問題ニナラナイ、投資額ナドヲ見マシテモ、概算七十萬圓程度ノモノ、ヤウデアリマス、又其處ニ住居シテ居ル我國ノ勞働者、左様ナ者ニシテモ、至ッテ少ナイヤウデアリマス、又企業シテ現在マデ繼續シテ居ルモノハ二ツ位ニ過ギナイ、アトハ休止、或ハ森林權ヲ得テモ伐採權ヲ喪失シタリ、或ハ事業ヲ全ク休止セシメテ居ルト云フヤウナ狀況ニ在ルヤウニ思ハレルノデアリマス、此點ニ付テハ農林當局ニ於テ如何ナル見解ヲ持ッテ居ラレカ、ソレヲ伺ヒタイ

○長瀬政府委員 只今ノ邦人ノ海外ニ於ケル木材企業ノ狀態ニ付キマシテハ、實ハ私共直接與ッテ居リマセヌケレドモ、關係廳其他ニ付キマシテ、色々取調ベマシタ所ニ依リマス、大體ハ只今御話ノアツタ通りト思ヒマス、只之ニ對スル投資ト云フコトニナリマス、中々色々ナ關係ガゴザイマス、一概ニ私共カラハッキリ之ヲ幾ラノデアルト言フコトハ憚ル次第デアリマス、現在比律賓、英領「ボルネオ」、蘭領「ボルネオ」馬來半島、「スマトラ」ト云

フ各地ニ於テ、邦人ガ木材企業ニ從事シテ居リマス色々ノ會社、商會ナドニ就テ見マス、主トシテ事業ヲ行ッテ居リマスノハ比律賓ノ「タダン」商會社、同ジク「ティブンゴ」木材會社、此二ツガ主トシテ營業ヲ繼續シテ居ル次第デアリマシテ、今二ツト御話ノアリマシタノハ、多分此二ツヲ御指シニナッタ材輸出會社ト云フノガアリマス、是ハ向フデ利權ヲ得テ居ルノデアリマス、現在デハ成績ガ少シ思ハシクナイ關係カラ、大體ハ比律賓人支那人等ノ伐

出スモノヲ買入レマシテ、之ヲ我國ニ輸入シテ居ルヤウナ狀態デアルト見テ居リマス、尤モ此會社ハ一方ニ於テハ多少自分デ伐採シテ居ル部分モアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、詳細ナコトハ拓務省デナイト私共ニハ分リ兼ネマス、以上大體只今御述ベニナリマシタ點ト大シタ相違ハ無イヤウニ考ヘテ居リマス

○手代木委員 詳細ナコトハ拓務當局デナイト分ラヌト云フ御話デアリマス、若シ今農林當局ノ御答辯以外ニ伺ヘルコトガアレバ拓務當局ニ此際伺ヒタイト思ヒマス——御出デガナケレバ次ニ移リマス、此南洋材ニ課稅スルトカ、或ハ引上ラスルコトニ付テハ、貿易關係カラ申シテ報復關稅ヲ受ケル虞

ニ對スル闊葉樹材ノ伸展ガ、相當阻マレ

ガアルト云フヤウナコトガ言ハレルノ
デアリマス、比律賓其他ノ地方ニ對シ
テ、農産物ナドガ行ッテ居ルガ、特ニ農
産物ノ點ニ付テ報復サレルヤウナコト
ガナイカ、北海道其他カラ馬鈴薯玉葱、
或ハ豆類ナドガ這入ッテ居ルト思ヒマ
スガ、馬鈴薯玉葱ナドノ點ニ付テハ是
ハ殊ニ比律賓ノ方ナドニ於テハ必需品
デアアル、而モアノ附近カラ代ハルベキ
所ノ優良ナル品物が這入ル憂ガナイヤ
ウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、支那

本カラ出テ居ル馬鈴薯、玉葱等ノ農産
物ハ彼地ニ於キマシテハ生産シ得ナイ
品物デアリマス、向フニ駐在スル軍人
等ノ必需品デアリマスカラ、恐ラクサ
ウ云フコトハアルマイト考ヘテ居リマ
スガ、假リニアルトシテモ是ハドウシ
テモ比律賓其他ニ於テ入レナケレバナ
ラス重要ナル必需品デアリマスカラ、
日本カラ出ル物ヲ阻止スルヤウナ方法
ニハ出デマイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ
居リマス

○手代木委員 次ニ伺ヒタイノハ南洋
材ニ課稅ヲ致スト云フト、海運業ノ上
ニ重大ナル影響ガアル、是ハ中々重シ
ゼラレテ居ルヤウニ考ヘテ居ルノデア
リマスガ、聞ク所ニ依リマスト、此航路
ノ經營者、三井三菱ト云フヤウナモノ
ハ自分ノ事業關係カラ船ヲ廻スモノモ
アリマセウガ、主トシテ海運業ヲ營シ
テ居ルノハ中村組デアリマスガ、此航
路ニ對シテ北海道廳ナドモ幾ラカ補助
デモ與ヘテ居ルカノヤウニ聞イテ居リ
マスガ、之ニ打撃ヲ與ヘルト云フヤウ
ナコトデアアルガ、歸リノ荷物ヲ此木材
ニ依ッテ滿船セシムルヤウナ、サウ云フ
ヤウナコトニナッテ居ルト云フノデア
リマスケレドモ、是モ一向吾々ノ見ル
所、聽ク所ニ依リマスケレバ、殆ド荷物ノ
數量ノ比較カラ申セバ一割ニモ充タナ
イヤウナモノデアッテ、ソレヲ顧慮シテ

内地ノ闊葉樹材ノ業者ニ至大ナル影響
ヲ與ヘルヤウナ、左様ナ犧牲ト是トヲ
交換スベキ程ノモノデナイト考ヘルノ
デアリマス、絶對ニ左様ナ關係ニ立ツベ
キモノデナイト、斯様ナモノハ無視シテ
モ何等差支ナイ所ノモノデアルト考ヘ
ラレルノデアリマスガ、之ニ對シテ御
所見ヲ伺ヒマス

○長瀬政府委員 此問題ニ付キマシテ
ハ、南洋貿易ノ上カラ見マスト、南洋
材ノ位置ハ、南洋方面カラ輸入致シマ
ス貨物總量ノ僅ニ一割五分乃至二割ヲ
占メテ居ルニ過ギナイノデアリマス、
且ツ南洋材ト申シマシテモ、其中ノ約
八割ハ比律賓材デアリマスカラ、特ニ
比律賓ノミニ就テ見マスト、比律賓
カラノ我國ノ輸入貨物ノ總量ノ中デ、
南洋材ノ輸入額ハ漸ク一割強位ニ過ギ
ナイヤウナ有様デアリマス、南洋材ニ
關稅ヲ賦課致シマシタ結果、其輸入量
ニ或ル程度ノ減少ヲ來シマシテモ、海
運關係ニ及ボス影響ト云フモノハ、非
常ニ些細ナ程度ナモノデハナカラウカ
ト思ヒマス、手持船デ、例ヘバ三井ノヤ
ウニ行ッテ居ルノモゴザイマスガ、昨年
ノ十一月頃カラ航路ヲ開始シテ居リマ
スガ、復航ニ木材ヲ積ンデ居リマス、其
他色々ナ雜貨ニ割積ヲシテ居ルヤウナ
有様デアリマス、其他色々買入輸入モ
ヤッテ居ルヤウナ向ガアリマスガ、是モ

邊リカラモ幾分カ這入ルラシイガ、是
ハ所謂其時限リ使用サレルモノデ、貯
藏ニ堪ヘナイヤウナ品質ノ粗惡ナモノ
デアリマス、又ドウモ内地ニ於テモ北
海道以外カラ行ク物ハ稍、支那邊リカ
ラ輸入サレルモノト近イヤウナ地位ヲ
有ッテ居ルノデアリマス、主トシテ打撃
ヲ蒙ルノハ北海道デアアルガ、今申上ゲ
ル通り、ソレ等ニ彼等ガ報復關稅デモ
課ケルナラバ、其國民ガ困ルヤウナ關
係ニアアル、是ハ殆ド問題ニナラナイト
考ヘルノデアリマスガ、是ハ貿易關
係カラ、國際關係ノ點カラ此點ニ對シ
テノ反對意見モアルヤウデアリマスル
ガ、之ニ對シテノ御意見ヲ伺ヒタイ

○小平政府委員 御答致シマスガ、木
材ノ關稅ニ關聯シテ、比律賓當局デ報
復關稅ヲ課スルヤ否ヤト云フ御質問デ
アリマス、御承知ノ通り比律賓等ニ日

大阪商船等ノ船ノ割積ノ關係ニナッテ
居リマス、何レニシテモ非常ニ大キイ
コトハナイト思ヒマス

○手代木委員 其次ニハ此用途ノ問題
デアリマスガ、内地ノ闊葉樹材ト南洋
材トハ用途ノ上ニ於テ衝突シナイカ、
斯ウ云フコトヲ能ク唱ヘテ、左様ナ點
カラシテ關稅引上ニ反對スル者モアル
ヤウデアリマスガ、吾々ハ實際北海道
ノ樹木ノ種類ヤ、又内地方面ニ産スル
闊葉樹ノ種類ト、ソレノ用途ト、又南洋
材ノ用途トヲ比較對照シテ見マスト
云フト、殆ド同ジ用途ニ使用セラレテ
居ルヤウニ見エルノデアリマスガ、サ
ウ云フ點カラ見マスケレバ、是等ノ反對
論モ成立タスト考ヘルノデアリマス、
之ニ付テハ如何ナル御所見ガアリマス
カ

○長瀬政府委員 南洋材ハ大體ニ於テ
大材ガ這入ッテ參リマス、用途ガ衝突シ
ナイ、寧ロ木材ニ對スル競爭ガ主ダト
思フト云フヤウナ説モ承ッタコトモゴ
ザイマス、木材ハ御承知ノ通り建築用
材ニ用ヒマシテモ、大キイ梁トカ、桁ト
カ云フ構造材ニ用ヒラレテ居ルヤウデ
アリマス、南洋材ハ相當大材デアリマ
シテ、相當ニ重イモノデアリマシテ、直
ニ之ヲ構造材ニ用ヒルト云フコトハ大
變危險モアリマスケレバ、構造材ニハ一
寸用ヒラレナイカト思ヒマス、唯南洋

材ノ方ハ主トシテ屋内ノ羽目板デアリマス。トカ、床乃至ハ階段、手摺ト云フヤ

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

ガ百石ニ付テ百圓、斯ウ云フコトニナ

スカラ歩留ガ八割ト云フコトニ計算ヲ

ウナ所謂造作材ニ用ヒラレルコトガ多

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

ニ製材費ノ百圓ヲ加ヘテ、是ハ四割五

探リマシタ、ソレデ割返シテ見マス

イノデアリマス、内地ノ闊葉樹材ノ如

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

分留リ、斯ウ見タ場合ニハ百石千二百

北海道ノ粗板一石ガ十一圓三十六錢、

キハサウ云フモノデハナク、寧ロ家具

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

十圓ニナルノデアリマス、粗板ノ値段

ノ筋ト私ノ方ノ調ト結論ハ同ジニナ

用材ニ用ヒラレルト云フヤウナ點デ、

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

圓ノ製材費ヲ掛ケテ假ニ七割歩留ト見

テ居ルヤウデアリマス

用途ニ喰違ガアルカラ、用途ガ自ラ違

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

生ズル、之ヲ假ニ五分北海道ノ方ヲ上

ニ依ッテ保護スルダケノ目的ハ達セラ

フノデアルト云フコトデアリマス、大

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

八掛ニナッタ場合ニ至ッテモ、此開キハ

併シ最近ノ調査シタ市價ヲ見マシテモ、

體ニ於テ現在ハサウナッテ居リマスガ、

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

ウナ關係デアアルカラシテ、南洋材ノ方

影響ヲ受ケテ居ラナイヤウニ見エマス

實ハ内地ノ闊葉樹材モ從來羽目板、其

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

ガ高イカラ、北海道ノ闊葉樹材及内地

ガ、最近ノ調ニ付テ農林當局ニ其御調

他建築用、造作材ニ用ヒラレテ參ッタノ

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

ヤウナコトハナイト考ヘルノデアリマ

ス、之ニ對スル當局ノ所見ヲ伺ヒマス

デアリマス、是ガ段々南洋方面ノ「ラワ

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

タ所ハ私ノ方デ調べマシタ所ト大體筋

年ニ入リマシテカラノ輸入ノ關係デア

ン材等ニ驅逐セラレマシテ、驅逐ト言

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

ノ建相場、深川ノ建相場ヲ見タノデア

リマスガ、丸太一石當リ南洋材ガ

ヒマスヨリハ寧ロ押退ケラル、部分ガ

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

六圓五十錢、ソレカラ北海道ノ闊葉樹

ト云フコトニ相成ッテ居リマス、ソレヲ

段々ト出來テ參リマシテ、先日大藏省

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

材——其中デ南洋材カラ最モ影響ヲ受

前年ノ十一月ノ四圓七十六錢ニ比ベマ

ノ營繕管財局ノ技術ノ方ニ承ッテ見マ

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

居ッタノデアリマス、所デ私共ノ方デ見

僅少ト云フコトニ相成ッテ居リマス、一

シタノデアリマスガ、大體只今ノ所デ

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

マシタ粗板ニ製材シマス場合ノ歩留ヲ

月ガ一石當リ四圓七十九錢、所ガ昭和

ノ割合ハ「ラワン」材ト内地ノ闊葉樹材

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

大體北海道産ノ闊葉樹五割、ソレカラ

九十四錢、ソレカラ二月ガ、是ハ却テ

ト比較致シマスルト、家具用材トシテ

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

南洋材ハア、云フヤウナ大材デアリマ

九十四錢、ソレカラ二月ガ、是ハ却テ

ノ分量ハ「ラワン」材ガ四割、ソレカラ

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

居ッタノデアリマス、所デ私共ノ方デ見

僅少ト云フコトニ相成ッテ居リマス、一

内地ノ闊葉樹材ガ六割、雜作材トシテ

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

居ッタノデアリマス、所デ私共ノ方デ見

僅少ト云フコトニ相成ッテ居リマス、一

ハ「ラワン」ガ六割内地闊葉樹材ガ四割

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

居ッタノデアリマス、所デ私共ノ方デ見

僅少ト云フコトニ相成ッテ居リマス、一

斯ウ云フ程度ニナッテ居ル「サウデアリ

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

居ッタノデアリマス、所デ私共ノ方デ見

僅少ト云フコトニ相成ッテ居リマス、一

マス、隨ヒマシテ内地材ノ方ハ六割ガ

○手代木委員 其次ニ問題ニナルト思

居ッタノデアリマス、所デ私共ノ方デ見

僅少ト云フコトニ相成ッテ居リマス、一

下ッテ居リマシテ三圓九十錢、何レモ一石當リデアリマス、ソレカラ六年ノ十一月ガ四圓七十六錢、十二月ガ石當リ四圓八十九錢デ、三月ガ四圓九十二錢、少シ三月ハ上ッテ居リマスヤウデアリマスガ、上リ方ノ程度ハサウ大キクナイヤウニナッテ居リマス

○手代木委員

モウ二三點デゴザイマスガ、是ハ北海道ノ木材、ソレカラ内地ノ闊葉樹材、皆値下リヲシテ林業者ガ苦シンデ居ル、木材業者ガ大變之ニ打撃ヲ受ケテ居ル、斯様ナ點ニ付テハ北海道ノ方ナドニ於テハ、無暗ニ北海道廳ナドガヤハリ之ヲ拓殖費ノ財源トシテ收入ヲ圖ル關係モアル、サウ云フ點カラ豫定ノ材積ヲ賣ラナケレバナラヌト云フヤウナコトデ、數量ヲ多クシタリ、或ハ又殊更ニ多ク處分シナケレバナラヌ爲ニ、單價ヲ引下ゲルトカ、何カサウ云フヤウナコトニ依ッテ此影響ヲ受ケテ居ルノデアッテ、專ラ是ハ南洋材ノ壓迫ニ其原因ヲ歸スル譯ニハ行カスト云フヤウナコトヲ言フ者モアルノデア

リマス、且又北海道及内地ニ於ケル闊葉樹ノ蓄積量ナドニ付テモ大シタコトデモナイノデアルカラシテ、無盡藏ニア

ルヤウナ此南洋材ヲ輸入シテ、成ベク國內ニアル所ノ左様ナモノハ長ク保存ノ出來ルヤウニシタ方宜シイト云フヤウナ話モ聞クノデアリマス、併シ此

蓄積量ノコトナドニ付テハ農林當局デハ専門的ニ之ヲ御調ニナッテ居ルコトデゴザイマセウガ、中々利用サレナイ所ノモノガ非常ニ國內ニ殘ッテ居ル、斯ウ云フコトデアリ、昨日モ永田君ノ話ノ中ニアッタヤウニ、色々國有林或ハ御料林、ソレ等ノ中ノ利用サレナイヤウナモノニ付テノ方法モ講ジナケレバナラヌト言ハレル程デアリマスルカラ、此内地ノモノハ保存シテ置イテ、サウシテ南洋カラ安イモノヲ入レテ使用スルトカ何トカ云フヤウナコトハソレハ當ラヌコトデアルト思ヒマス、尙ホ全ク山林ノ無價値同様ナモノニシテシマフ

ト云フコトニナレバ、是ハ固ヨリ森林政策ノ上カラ言ッテモ考ヘナケレバナラヌコトデアリマスシ、又一方林業政策ノ上カラ言ッテ、或ハ殖林トカ色々ナコトニ全部ハ影響シテ來ルコトデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘテ斯様ナコトハ當ラヌ所ノ意見デアルト考ヘルノデアリマスルガ、之ニ對スル御所見ヲ伺ヒマス

○長瀬政府委員

此北海道ノ森林ハ、實ハ内務省ノ所管ニナッテ居リマスルノデ、私共ノ方トシテハ、實ハ統計書等ニ就テ見ル外ハナイノデアリマスガ、所

有別ニ見マスルト云フト、全體ノ森林面積ノ五百五十萬町歩バカリノ中シタケレドモ、國有林ガ四五・八「パーセント」、ソ

レカラ私有林ガ二一・一「パーセント」、御料林ガ一五・五「パーセント」、ソレカラ公有林ガ一四・五「パーセント」其他大學ノ演習林トカ、其他ノ官有林デアリマス、ソレガ極ク僅カデ、三・六「パーセント」バカリデアリマス、隨ヒマシテ、北海道ノ國有林ノ收入ノミヲ増加シテ居ル爲メデアルト云フ譯デハナイノデアリマス、私有林、公有林ヲ混ゼマシテ、其面積歩合ガ約三五「パーセント」ニナッテ居ル譯デアリマスカラ、必ズシモ國有林ノ爲ノミデハナイノデアリマ

ス 次ニ蓄積ノ御話ガゴザイマシタガ、是モ用材ニナリマスモノ、蓄積ガ約十二億五千萬石ト云フコトニナッテ居リマス、是ハ北海道ノ闊葉樹ノ中デ、用材タルベキモノ、蓄積デアリマス、其中栓、櫟、桂、檜、樺等ノ重要樹種ノミニ付キマシテモ、約六億五千萬石ト云フコトニナッテ居リマスノデ、之ヲ只今一箇年ノ伐採額デ輸伐致シマスレバ、長イ年月ヲ保チ得ル譯デアラウト思ヒマス、實ハ私共ノ方ト致シマシテ、特ニ北海道ノ闊葉樹ノ開發ヲ目論ンデ居リマスノハ、從來長ラク内地ノ闊葉樹ノ需要ト云フコトヲ考ヘマシテ、或ハ木工場ヲ作ル、或ハ施業方法ニ付テモ、色々施設スルト云フ風ナコトヲヤッテ見マシタケレドモ、中々是ノ開拓ガ十分ニ

行カナインデアリマス、北海道ニ於キマシテハ、割合ニ集團的ニ存在シテ、出シガ良クアリマスノデ、漸ク北海道ノ闊葉樹ガ、先ヅ用材トシテ薪ニナラズニ、相當程度マデ用キラレテ參リマシタノデスガ、是ガ旨ク參リマス、次イデ内地ノ闊葉樹モ亦相當ニ用材トシテ用途ガ開ケテ來ルヤウニ思フノデアリマス、ソレデ先ヅ其尖端ヲ切ッテ居リマスル北海道ノ闊葉樹ニ付テ需要ガ開ケレバ、内地ノ物モ亦開ケテ來ルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナコトデ、用途ガ開ケナイデ其儘殘シテ置キマシテモ、何レ又薪、炭ト云フコトニナリマス

ノデスガ、其方面カラ言ッテ所謂開發ガ欲シイト云フコトデ、只今其口火ノ濕リ掛ケテ居ルノヲ何トカシタイ、斯ウ云フコトデ色々協議ヲシテ居ルヤウナ次第デアリマス

○手代木委員

モウ一點伺ヒマスガ、ソレハ關稅ヲ課シタ場合ニ、實際ニ於テ目的ヲ達スルカドウカト云フ問題デアリマス、之ニ依ッテ市價ガ高マラナケレバ保護ノ目的ヲ達スル譯ニ行カナ

ル町田農林大臣ノ木材ニ關スル當時ノ說明ノ中ニモ、必ズソレダケノ效果ガ有ルモノト思フト云フコトヲ言明セラ

レタコトモアリマス、左様ナ言明ガ有ル無シニ拘ラズ、是ハ今日關稅政策ヲ行ッテ、産業ノ保護ヲシヨウ、其目的ヲ達シヨウト云フノデアリマスルカラ、其

點カラ申セバ、必ズ相當ナ茲ニ市價ヲ高メルコトガ出來ルモノデアルト思フ

ノデアリマス、ソレデ吾々ハ左様ニ確信スルノデアリマスルガ、當局ニ於テハソレニ對シテ如何ナル一體御見込ヲ有ッテ居ラレルカ、此點ニ付テ御伺ヒシ

タイ、此前ノ例ノ沿海州材ナドニ課稅シタ場合ノ例モアリマセウシ、又アノ當時、其後色々財界ノ變動ノ爲ニ、十

分ニソレ等ノ效果ヲ發揮シナカッタヤウナ點モアッタカモ知レマセヌガ、兎モ

角モ吾々トシテハ茲ニ關稅ヲ課スルナラバ、相當市價ヲ高メルモノト思フノ

デアリマスガ、ソレニ對スル御所見ヲ伺ッテ置キタイノデアリマス

○長瀬政府委員 只今ノ輸入單價ト市價ノ價格トノ間ニハ相當ノ「マーデン」

ガゴザイマスケレドモ、之ニ對シテ或程度ノ課稅ト云フコトヲ假定致シマス

レバ、矢張其ノ「マーデン」ガ著シク狭マルト云フ爲ニ、或程度ニ於テ私共ハ

南洋材ノ値上リガアルモノト思ッテ居リマス、隨テ是ノ競爭材タル北海道産

ノ今ノ關稅樹ト云フモノ、價格ガ引上

ゲラレルモノト思ッテ居リマス

○手代木委員 モウ質問ハ只今ノ程度ニ止メマシテ、茲ニ最後ニ一言申述ベ

タイト思ヒマスコトハ、前カラ段々當局ニ意嚮ヲ質シマスノニ、ドウシテモ

此南洋材ニ課稅ヲスル、斯ウ云フコト

ニ付テ反對スル所ノ理由ト云フモノハ無クシテ、之ヲ引上ゲナケレバナラス、

保護シナケレバナラスト云フ理由ノミ發見スルノデアリマス、殊ニ昨日以來

ノ委員各位ノ質問ノ中ニモ現ハレテアリマス通り、ドウシテモ我國ノ森林政

策、或ハ林業政策、サウ云フモノニ付テハ考慮ヲシナケレバナラスコトハ言

フマデモナイノデアリマス、殊ニ山村トカ云フ問題バカリデヤアリマセヌ、

即チ一般農村ニ對シテモ、是ハ必ズ影響ヲ與ヘル所ノ問題デアリマス、斯ウ

云フ點カラ見マシテ、當然是ハ今回考慮ヲセラルベキモノデアアル、殊ニ今後

ハ一品ヤ二品デナク、二十九品カノ多數ニ對シテ斯様ナ引上ヲ新シク設ケル

コトヲセラレタノデアリマスカラ、當然今回はガ解決ヲセラルベキモノデア

ラウト思ヒマス、外ニ或ハ今日鐵デア

ルトカ、或ハ自動車ノ部分品ナドニ付テハ隨分議論ガアルノデアリマスケレ

ドモ、恐ラク此南洋材ノ引上ニ對シテ

ハ、質ニ於テ反對スルモノハ殆ド私ハ

ナイト思フノデアリマス、是ガ取殘サ

レタト云フコトハ返ス「モ遺憾ニ堪ヘナイト思フノデアリマスルガ、私共

北海道ノ地方ト致シマシテ、昨今ノ狀

況ヲ見マスルノニ、一般不況ノ影響モ十分ニ是ハ受ケテ居ル譯デハアリマス

ガ、確ニ此南洋材ノ影響ヲ少カラズ受ケテ居ルノデアリマシテ、北海道ハ尙

ホ廣大ナ面積ヲ有シ、利用サルベキ所ノ關稅樹ノ蓄積ガ相當ニアル譯デアリ

マス、サウシテ現ニ之ヲ目標トシテ投資ヲ致シテ居ル所ノ者ガ、投資額ニ於

テ約三千數百萬圓ニ達シテ居ルノデア

リマス、南洋材ニ投資シテ居ル者ハ吾

吾ノ見ル所デハ漸ク七十萬圓カ八十萬圓、多クモ百萬圓ヲ出ナイト思フノデア

リマス、サウ云フ點カラ申セバ、此資

本ノ點ニ於テ全ク比較ニナリマセヌ、尙ホ北海道ダケデハアリマセヌ、内地

ノ關稅樹關係ノ林業ノ投資額ナド、是ハ私ノ方デハ調査ガ出來テ居リマセヌ

ケレドモ、是等モ相當ノ額ニ達シテ居ルデアラウト思ヒマス、又勞働者ノ數

採或ハ運搬又製材、サウ云フコトニ關

係致シテ居ル者ガ約四萬人ニ上ッテ居

ルノデアリマス、而シテ所謂林業者、此木材業者ノ數ニシテモ九百ヲ超エ約

一千ニ近イ所ノ數ガアルノデアリマ

ス、南洋ノ方ハ先程カラ質問デ明カデ

アリマスル如ク、確實ニ今之ヲヤッテ居

ル者ハ二人ニ過ギナイ、殘リハ土人ガ伐採シタモノヲ買ッたり何カ、左様ナホ

ンノ商品ヲ輸入スルニ過ギナイヤウナヤリ方デアッテ、是ハ別ニ所謂林業者デ

ノモノガ事業休止ノ状態ニ固定シテ居ルヤウナ有様デアリマス、労働者ニシテモ少クモ延人員ニシテ何十萬ト云フモノヲ遊バシテアルト云フ、斯ウ云フノデアリマスルカラ、是ハ所謂社會問題ノ上カラ考ヘマシテモ、ドウシテモ斯様ナコトハ關稅ノ保護ナドニ依ッテ救ハナケレバナラス、斯ウ云フ問題ニ相成ルト思フデアリマス、何レ此問題ニ付テハ此會期ノ中ニ委員同僚諸君ト色々御相談ヲ致シ、御同意ヲ得、又委員長ハ頗ル此問題ニ對シテ御熱心デアリマス、先日來イロ／＼此事ニ付テモ御奔走デアリ、是ハ先年來ノ問題デアリマスカラ、ドウシテモ此機會ニ於テ之ヲ解決致シタイト考ヘルノデアリマシテ、何レ具體的ニ何カ茲ニ案ヲ提出スルナリ、或ハ之ニ修正ヲ加ヘルナリ、何等カノ手段ヲ執リタイト思フノデアリマシテ、其場合ニハ十分ニ當局ニ於テモ、其點ヲ認メラレテ、御同意下サルヤウ、サウシテ此趣旨ノ實現ガ出來ルヤウニ御配慮ヲ願ヒタイト、豫メ御願致シタイト思ヒマス、是デ私ノ質問ヲ打切りマス

○青山委員 私ハ遠洋漁業獎勵法ノ改正ニ付テ次ノ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、我國ノ遠洋漁業ノ獎勵法ハ明治三十一年ノ制定デゴザイマシテ、其後部分的ノ改正ガアッタノデゴザイマスケ

レドモ、殆ド其内容ニ至リマシテハ、微レタル改正デアッタノデアリマス、此度ノ改正ハ僅カナガラ獎勵ノ範圍ヲ擴張シタノデゴザイマシテ、私共ハ非常ニ悦ンデ此案ヲ歡迎シテ、是非此通過ヲ希望スル者デゴザイマス、併ナガラ此遠洋漁業ノ獎勵法ナルモノハ、非常ニ物足リヌノデゴザイマシテ、私共ハ更ニ進ンデ改正ヲシテ戴キタイト云フ希望ヲ持ッテ居ル者デゴザイマス、就キマシテ茲ニ一ツ御尋致シタイトハ、此遠洋漁業ノ獎勵ヲ今少シク範圍ヲ擴メマシテ、企業資金ノ供給ニ付テ何等カノ方法ヲ講ジテ戴キタイト云フ希望ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、之ニ對スル當局ノ御所見ヲ先ヅ御伺シタイト思ヒマス

○戸田政府委員 企業資金ノコトニ付テハ、一般ノ水産金融ノ問題ガ從來カラ相當論ゼラレテ居ルノデアリマシテ、此度提案致シマシタ此遠洋漁業獎勵法ノ中ニ、ソレヲ織込ムガ宜イカ惡イカト云フコトハ相當研究ヲ要スル問題ト思ヒマス、只今ノ所デハ遠洋漁業ノ獎勵法ノ中ニ織込ムガ宜イト云フ考ハ持ッテ居リマセヌガ、ソレトハ別問題トシテ、御話ノヤウナ事柄ガ必要デアルト云フコトハ感ジテ居ルノデアリマシテ、ソレハ他ノ資金融通ノ方法トシテ講究シナケレバナラスコト、思ッテ

居リマシテ、サウ云フ途ヲ開クコトガ出來ルヤウニ、他面ニハ努メタイト思ッテ居ルノデアリマス

○青山委員 水産金融ノ問題ハ仰セノ如ク有ユル機會ニ當業者ノ一、二ノ人ガ提唱シ論議セラレテ居ルノデアリマスケレドモ、併ナガラ水産金融ノ問題ハ何等具體的ニ今日其曙光ヲ認メルコトハ出來ナイノデゴザイマス、何時マデ經ッテモ研究デハ非常ニ心細イヤウナ感ジガ致スノデゴザイマスガ、殊ニ私ハ此遠洋漁業ニ付テ一例ヲ舉ゲテ申上ゲマスレバ、彼ノ南洋ノ漁業ノ如キハ、既ニ今日デハ調査研究モ實際ニ於テ十分ニ仕盡サレテ居ルノデアリマス、唯行キ當ッテ居ルノハ、此資金供給ノ途ガナイ爲ニ、アタラ漁場モ之ニ對シテ具體的ノ進出ヲスルコトガ出來ナイト云フ状態ニアルノデゴザイマス、故ニ私ハ水産金融全般ニ對スル御心配御努力ハ大ニ願ハナケレバナリマセヌガ、此遠洋漁業ニ於テモ私ハ企業資金ノ供給ノ途ガ出來ルナラバ、非常ニ結構ダト思フノデゴザイマス、ソレデ當局ニ於テハ水産金融ノ途ニ依ッテ之ヲ獎勵致シタイト云フ御話デゴザイマシタガ、今當局ハドウ云フ風ナ考ヲ以テ此水産金融ヲ講ゼラレル考デアルカ、其點ヲ具體的デナクッテモ御希望デモ宜シウゴザイマスガ、承リタイトデア

リマス

○戸田政府委員 私ノ申上ゲヤウガ多少意味ガ足りマセヌ所ガアッタヤウニ御質問ニ依ッテ受取レマスガ、御尋ノヤウナ點ハ、一般ノ水産金融ト云フコトモ從來問題ガアッテ考究サレテ居ルコトデアリマスガ、此貸付ト云フヤウナコトニ付テハ、取敢ヘズ遠洋漁業獎勵法ニハ入レテハ考ヘテナイノデアリマスガ、一方ニ於テ其必要ヲ感ジテ居ルコトデアリマスカラ、其途ノ付クヤウナコトニ付テ、努メルコトハ致シタイト云フ意味ヲ申上ゲタ積リデアリマシタ

○青山委員 大體御意思ハ分リマシタガ、私ハ更ニ遠洋漁業獎勵法ノ中ニ、或ル年限ヲ限ッテ之ニ對スル企業ノ供給ヲスルト云フ途ヲ開キタイト云フコトヲ希望トシテ申添ヘテ、此點ニ付テハ是デ止メマス、更ニ私ハ當局ハ遠洋漁業ト最モ密接ノ關係ニアル機船底曳網ノ現狀ニ付テ如何ナル對策ヲ持タルカ、此場合承リタイト思ヒマス

○戸田政府委員 機船底曳網ノ漁業ト沿海ノ漁業トノ關係ハ、非常ニ行政上相當重要ナル問題ニ最近ナッテ來テ居ルヤウニ思ヒマス、現行ノ制度ノ儘デハイケナイト云フコトヲ感ジテ居リマスカラ、何等カ改正ヲシタイト云フ意思ヲ持ッテ居リマスガ、未ダ具體的ニ申上ゲル所マデハ行ッテ居リマセヌ、私個

人トシテハ底曳網漁業ト沿岸漁業トノ關係ノ調和ヲ圖ル爲ニ、相當ノ制度ニ改メルベク調査ヲ實ハ進メツ、アルノデアリマス、成ベク近イ中ニ何等カノ解決方法ヲ見出シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○青山委員 無論此機船底曳網ノ漁業ト沿海漁業トノ衝突ノ現状ハ、非常ニ憂フベキ狀態ニナツテ居ルノデゴザイマスカラ、ソレハ是非共御考ヘテ願ハナケレバナラスノデスガ、私ハ此遠洋漁業獎勵法ガ提出サレマシタ際ニ、特ニ之ヲ申上ゲマスノハ、成程沿岸漁業トノ關係ハ、一面ニ於テハ網目ノ制限デアルトカ、稚魚ノ濫獲防止デアルトカ、或ハ區域ノ制限デアルトカ色々ゴザイマスガ、是等モ是非研究ヲ要スベキ問題デゴザイマスガ、私ハ一面ニ於テ現代ノ機船底曳網ノ漁業ガ、斯ノ如ク沿岸漁業ト衝突スル所ハ、其漁業ガ轉ジテ遠洋漁業ノ方面ヘ指導セラル、ナラバ、非常ニ此點ノ緩和ガ出來ルダラウト考ヘルノデゴザイマス、仍テ當局ニ於テハ此機船底曳網漁業ヲ更ニ指導致シマシテ、サウシテ遠洋漁業ノ途ヲ辿ラシメテ、本問題ノ緩和ヲスルヤウナコトニ對スル何カ御考ガゴザイマセスカ、更ニ御同致シタイト思ヒマス

○戸田政府委員 只今御希望ノ點ハ全然御同感デゴザイマス、丁度青山サン

ガ一番初ノ時ニ御出ガナカッタヤウニ記憶致シマスガ、提案ノ理由ノ説明ノ際ニ申上ゲマシタヤウニ、本法ノ改正モ其意味ヲ自然ニ含ムコトニナリマスノデ、指導方法如何ニ依ッテハ一般沿岸漁業ノ或ル程度マデ行詰ッテ居ル點ヲ、遠洋漁業獎勵ニ依ッテ緩和スルト云フコトモ出來ルト思ヒマス、是ガ本法改正ノ一ツノ使命ニモ含マレテ居ルト考ヘル次第デゴザイマシテ、御尋ノヤウナ點ニ付テハ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○青山委員 今一ツ此際御伺ヲシテ見タイノハ、何レモ今日ハ農村ト云ヒ、山村ト云ヒ、漁村ト云ヒ、經濟上ノ行詰リヲ生ジテ居ルノデゴザイマス、殊ニ此漁村ニ於テハ其漁業資金ノコトニ付テハ非常ナ苦勞ヲ致シテ居ルノデゴザイマスガ、此水産ノ金融ノ問題ハ只今當局ニ於テモ大ニ研究ヲスルト云フコトデゴザイマスルカラ、私共ハ是非御研究ヲ願ヒタイト思ヒマスカ、要スルニ今日漁業者ノ財産ノ最モ有力ナル部分ガ此漁船デゴザイマス、ソレデ此漁船ニ依ッテ資本融通ノ途ヲ付ケルト云フコトガ漁業者ニ取ッテハ最モ急ナル問題デアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデソレニ付キマシテハ是非漁船保險法ノ制定ガ必要デアアル、又之ニ伴ウテ漁船法ノコトモ改正スル必要ガ

アラウト思フノデアリマス、御承知ノ如ク今日ハ此船舶法ノ關係ハ悉ク二百噸以上ノ船ニハ適用サレテ居リマスガ、我國ノ今日ノ發動機船ノ數ハ三萬四千艘アルノデアリマス、是等ニ依ッテ資本ヲ作ラウトスル場合ニハ、直ニ起ル問題ハ此金ノ融通ヲショウトスルト保險ノ問題ガ伴フノデアリマス、ソレカラ此漁船法ノ關係ガ直ニ起ッテ來ル、故ニ私ハ今日ノ行詰ッタ漁村ヲ救済シ、水産金融ノ途ヲ開ク方法トシテハ漁船保險ノ途ヲ開キ、漁船法ノ制定ヲスルト云フコトガ最モ急務ナリト考ヘルノデゴザイマス、當局ニ於テハ是等ニ對シテ漁船法ノ制定、漁船保險ノ制定ヲ爲サル御意思ガアルカナイカ、若シアリトスレバ、是等ニ對シテ近キ機會ニ於テ法律案デモ提出セラレルヤウナ御考ガアルカナイカ、其點ヲ御伺ヲ致シタイトデアリマス

○戸田政府委員 漁船保險ニ付キマシテハ前カラ色々調査ヲ致シテ居リマシテ、相當材料モ或ル程度マデ集メ得タノデアリマシテ、今ソレヲ整理中デゴザイマス、水産局ノ意見ト致シマシテハ成ベク近キ將來ニ其成案ヲ得タイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、マダ政府トシテ議會ニ提出ノ時機等ニ付テ茲ニ申上ゲル所ニ迄ハ達シテ居リマセヌガ、成ベク早く成案ヲ得タイト云フ積

リデ努力中デゴザイマス、漁船保險ニ付キマシテモ、種々研究ヲ致シテ居リマスノデ、何等カノ成案ニ達スルコトヲ成ベク早く希望シテ調査研究ヲ追々進メテ居ル次第デゴザイマス

○青山委員 私ハ大體以上申上ゲタ點ニ付テ質問ハ打切りマスガ、冒頭ニ申上ゲタ如ク今日ノ遠洋漁業ノ獎勵法必シモ私共満足ハ致シマセヌガ、併ナガラ幾分力擴張セラレタ獎勵ノ途ガ立ッタノデゴザイマスカラ、是非委員諸君ノ贊同ヲ得テ本案ノ通過ヲ希望スル次第デゴザイマス

○手代木委員 只今青山君カラノ質問ガアリマシタ、汽船漁業ノ底曳網ノ問題ニ付テハ誠ニ青山君ノ言ハル、通りデアリマシテ、一般沿岸漁業者ガ多數中央ニ代表者ヲ送ッテソレト當局ニ願出テ居ルコトハ、是ハ今日ニ始ッタ譯デハアリマセヌノデ、年來繼續シテノ運動デアリマス、此點ハ何トカシテ方法ヲ講ジテ戴キタイト思フ、唯所謂根據地ヲ定メテアルガ、其機船底曳網ノ所謂原籍港ト云フヤウナモノガアリマセウガ、ソレハ日本國中何處ヘ行ッテ作業シテモ宜シイト云フヤウニナツテ居ル爲ニ、遠ク此邊ノ附近ノ者ガ遙カニ北海道邊リマデ行ッテ、北海道ノ沿岸漁業者ヲ脅シテ居ルト云フヤウナ點ガアツテ誠ニ困ル、例ヘバ其府縣ダケデ之ヲ

取締ラウト思ッテモ取締ルコトが出来
ナイヤウナ、他人ノ爲ニ自分ノ畑ヲ荒
サレテモドウスルコトモ出来ナイヤウ
ナ状態ニアルト云フコトハ、私ハアノ
法律ノ缺陷デアルト考ヘルデアリマ
ス、斯ウ云フヤウナ所カラ申シマス
北海道ナドノ沿岸ハ非常ニ延長ヲ持ッ
テ居ル、サウ云フ處ナドニ於テハ非常
ナ是ハ被害ヲ地方トシテハ受ケテ居ル
ノデアリマス、漁業一般カラ申セバサ
ウ云フ小サイコトハ言ハヌデモ堅イカ
モ知レマセヌケレドモ、ドウモ非常ニ
弊害ノ多イコトハ恐ラク當局ニ於テモ
初メ左様ナ豫想ハナカタノデアリマ
セウガ、能ク獎勵ヲセラレテ、偉イ事バ
カリ興スコトガ水産界ニハアルヤウデ
アリマス、獎勵セラレテ一部ノ者ハ非
常ナ迷惑ヲ受ケルヤウナコトヲ獎勵セ
ラレテ居ル、此點ハ是非十分ニ考慮セ
ラレテ、何トカ其弊害ヲ除去スル方法
ヲ執ッテ戴カナケレバナラスト思フノ
デアリマス

又モウ一ツ遠洋漁業ノ御獎勵、誠ニ
是ハ結構デアリマス、到ル處、北洋デア
ラウガ、南洋デアラウガ、其他ノ處デア
ラウガ、是ハ必要デアリマスルガ、是ト
同時ニ船ニ對スル補助トカ色々ナル事
ノ他ニ是等ノ所謂根據地ニナルヤウナ
處、殊ニ北洋ナドニ行キマス云フト
今日此根據地ニナルヤウナ處ガアリマ

セヌ、又設備ガアリマセヌ、是ハ此處
ニ委員長ニナッテ居ラレル東氏ガ北海
道ニ居ラレテ非常ニ此點ハ年來力説セ
ラレテ居ル所デアッテ、政友會ノ方ニモ
民政黨ノ方ニモ北洋開發ノ根據地ヲ拵
ヘルト云フヤウナ點ニ付テハ色々計畫
ヲ持ッテ居リ、調査ヲ持ッテ居リ、又道廳
當局トシテモ、内務省トシテモ、是ハ
持ッテ居ルヤウデアリマスガ、斯ウ云フ
點ナドニ付テノ考ガナカタナラバ、此
折角ノ獎勵ノ效果ヲ全ウスルコトガ是
ハ出来ナイト私共考ヘルノデアリマ
ス、此點ニ付テハ十分ニ、是ハマア
金モ掛カルコトデアリマスガ、ソコマ
デ考慮ニ置イテ將來此業ノ爲ニ御盡力
願ハナケレバナラスト考ヘルノデアリ
マス

尙ホモウ一ツハ魚族ノ繁殖地デア
ルトカ、ソレカラ魚道トカ云フヤウナコ
トニ付テノ私ハ研究ガ誠ニ不十分デア
ルト思フノデアリマス、私素人デアリ
マシテ細カナ事ハ知リマセヌケレドモ、
兎モ角モ各大學ノ水産科ニ於テデモ、
學究的ニ色々ナ事ヲ研究シヨウトシテ
モ金ガ無イトカ、北海道ノ鯨ニシテモ
唯沿岸ニ來ルノヲ待ッテ之ヲ漁獲スル、
不良ナ時ガアリ、或ハ非常ナ豐漁デ却
テ持餘シテ製品ヲ腐ラシテ思ハザル損
害ヲシテ居ル、色々ナ事ガアリマスガ、
是等モ或ハ魚族ノ繁殖地トカ、魚道ト

カ、色々ナ繁殖移動スル場所ヲ十分ニ
研究シテ置ケバ、ソレハ確ニスウ云フ
ヤウナ損害ヲ除キ得ル、又色々是ガ漁
獲ノ調節ト云フヤウナ事モ出来ルコト
デアリマセウ、或ハ魚族ノ保護繁殖ナ
ント云フ事モ十分ニ達セラレルコトニ
ナル譯デアリマス、是等ノ事ハ素人ノ
私ガ申サナイデモ宜イ事デアリマスル
ガ、能クサウ云フ聲ヲ聞クノデアリマ
シテ、ドウゾ斯ウ云フ點ニ付テモ十分
ナル研究調査アラコトヲ御願スルト
同時ニ、若シ既ニ當局ニ於テ何カ之ニ
付テノ目論見ナリ或ハ御豫定ナリガア
リマスナラバ、此序ニ御伺シテ置キタ
イト思ヒマス

○戸田政府委員 只今御話ノ第一點ノ
機船底曳網漁業ニ付テノ點ハ先程青山
サンニ御答ヘ致シマシタト同様ナ問題
デアリマスガ、御話ノアリマシタ北海
道ニ付テ申シマスレバ、北海道デハ、既
ニ他ノ府縣デハ或ル期間ヲ限ッテ機船
底曳網漁業ノ禁止ヲシテ居ルヤウナ縣
モアルノデアリマシテ、サウ云フ制限
ヲ設ケルコトガ出来ルノデアリマス
ガ、ソレハ北海道デハ未ダ致シテ居リ
マセヌ、斯ウ云フ事ハ北海道廳限リデ
出来ル事デアリマス、サウ云フ事ヲ致
シマスノハ一ツノ緩和策ト思ヒマス、
併ナガラ先程モ申上ゲマシタヤウニ、
ソレ以外ニ更ニ根本ノ問題トシマシテ

色々攻究シ改善ヲシタ方ガ宜イノデハ
ナイカト考ヘラレル問題ガアリマスノ
デ、ソレニ付テモ調査シテ居ル次第デ
アリマス、ソレカラ第二ノ北洋漁業根
據地ノ問題ハ本年度ニ於テ相當調査ヲ
致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、豫
算モ若干戴クコトニナッテ居ル次第デ
アリマス、ソレカラ第三ノ魚道トカ魚
群ノ調査ト云フヤウナ問題デアリマス
ガ、何分水産試験場ガ國ノ水産試験場
ハ三四年前ニ講習所ト一緒デアッタノ
ガ獨立シマシテ——獨立ハ致シマシタ
ケレドモ、其後財政ノ狀況等ノ爲ニ獨
立ニ伴フ金ノ豫算ガ一度議會デ成立ハ
致シマシタガ、整理節約等ノ爲ニ實質
的ニハ使ヘナクナッテ居ルノデアリマ
シテ、其獨立ニ伴フダケノ豫算ガマダ
戴ケテ居ラヌノデ、實ハ遺憾ニ思ッテ居
ルノデアリマスガ、是ハ財政ノ許ス限
リ近キ將來ニ於テ、少クトモ獨立ノ際
ニ一應議會デ認メラレタ豫算ダケハ戴
キタイト云フ考ヲ當局トシテハ持ッテ
居リマス、サウ致シマスレバ相當ノ研究
ガ出来ヤウト思フノデアリマシテ、其
當時一時議會ノ協賛ヲ得マシタ所ノ費
用ハ、水産試験場トシテノ獨立シタ其
組織ヲ完全ニスル爲ノ最小限度ノ經費
デアッタノデアリマス、ソレガ今日デハ
使ヘナイ狀況ニアリマス爲ニ甚ダ貧弱
デアリマスノデ、獨立ハ致シマシタガ

色々攻究シ改善ヲシタ方ガ宜イノデハ
ナイカト考ヘラレル問題ガアリマスノ
デ、ソレニ付テモ調査シテ居ル次第デ
アリマス、ソレカラ第二ノ北洋漁業根
據地ノ問題ハ本年度ニ於テ相當調査ヲ
致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、豫
算モ若干戴クコトニナッテ居ル次第デ
アリマス、ソレカラ第三ノ魚道トカ魚
群ノ調査ト云フヤウナ問題デアリマス
ガ、何分水産試験場ガ國ノ水産試験場
ハ三四年前ニ講習所ト一緒デアッタノ
ガ獨立シマシテ——獨立ハ致シマシタ
ケレドモ、其後財政ノ狀況等ノ爲ニ獨
立ニ伴フ金ノ豫算ガ一度議會デ成立ハ
致シマシタガ、整理節約等ノ爲ニ實質
的ニハ使ヘナクナッテ居ルノデアリマ
シテ、其獨立ニ伴フダケノ豫算ガマダ
戴ケテ居ラヌノデ、實ハ遺憾ニ思ッテ居
ルノデアリマスガ、是ハ財政ノ許ス限
リ近キ將來ニ於テ、少クトモ獨立ノ際
ニ一應議會デ認メラレタ豫算ダケハ戴
キタイト云フ考ヲ當局トシテハ持ッテ
居リマス、サウ致シマスレバ相當ノ研究
ガ出来ヤウト思フノデアリマシテ、其
當時一時議會ノ協賛ヲ得マシタ所ノ費
用ハ、水産試験場トシテノ獨立シタ其
組織ヲ完全ニスル爲ノ最小限度ノ經費
デアッタノデアリマス、ソレガ今日デハ
使ヘナイ狀況ニアリマス爲ニ甚ダ貧弱
デアリマスノデ、獨立ハ致シマシタガ

金ガ貫ヘナイデ内容ガ伴ハナイト云フ
狀況デアリマス、併ナガラサウ申シテ
居ッテハ甚ダ困ルノデアリマスカラ、有

云フ御考ヲ御持ニナッテ居リマスカド
ウカ

テモ餘リ深ク立入ッテ答ヘルコトハ避
ケタイ、斯ウ云フ御答辯デアリマシタ
カラ、以下私ガ申上ゲマスル理由ノ下

居ラレルノデアリマス、左様致シマス
レバ、是ハモウ直ニ政府トシテハ此國
民生活ト最モ重大ナル關係ノアル此關

金デ出來ルダケノ事ハ致ス意味デ、本
年度ニ於キマシテハ取敢ズ日本海ノ海
洋調査ヲ全國ノ一齊調査ヲ行ヒマシ
テ、農林省ノ試驗場ノ試驗船ヲ主トシ

○戸田政府委員 今私ダケノ考トシテ
何トモ申上ゲ兼ネマスガ、水産ノ當局
ト致シマシテハ成ベク其途ノ開ケルコ
トヲ希望スルノデアリマスカラ、大藏

ニ、此關稅ニ關係ヲ御持ニナル主管行
政長官トシテノ各國務大臣ガ御協議ノ
上デ、是ハ國家ノ重大問題デアアルカラ

ヲ持ッテ居リマスル問題ガ、唯徒ニ將來
ノ問題トシテ殘サレテ居ル、サウシテ本
案ガ提出ニナッタト云フコトハ、甚ダ私

マシテ、全國ノ各府縣ノ試驗船ノ總動
員ヲ行ヒ、又海軍等ニモ水路部等ノ助
力ヲ仰ギマシテ先ヅ第一ノ試ミトシテ

省ナリ其方面ニ色々御話ヲシテ見テ、
出來ルコトナラバ其途ノ開ケルコトヲ
水産當局トシテハ希望シテ居ルモノデ

斯ウ云フコトヲ委員會トシテ申上ゲタ
譯デアリマス、其理由ハ繰返シテ茲ニ
諄々シク申上ゲマセヌガ、唯政府當局

アリマス、ソレデアリマスカラ、本案提
出ノ際ハ間ニ合ハナカッタガ、政府トシ
テノ方針ハ實ハ此處ニアルノデアアル、

日本海ノ海洋一齊調査ヲ行ッテ居ルヤ
ウナ次第デアリマシテ出來ルダケ努メ
タイト思ヒマス

○小笠原委員 ドウカーツ速ニサウ云
フ途ノ開ケルヤウニ御盡力願ヒタイ

旁、之ヲ承認スルト云フコトニハマダ
問題ガ其處迄運ンデ居ラス、完全ナル
獨立シタル國家トシテ之ヲ認メナイ以

是ハ新國家ノ三千萬民衆ト吾々六千五
百萬ノ此國民トノ間ノ經濟ノ鹽梅ヲ
圖ッテ、有無相通ズル、共ニ俱ニ幸福ナ

○東委員長 商工大臣、拓務大臣ニ特
ニ御出席ヲ希望致シテ居リマシタガ、
丁度今繰合セテ御出デ下サイマシタ、

○倉元委員 商工大臣ノ御出席ヲ得マ
シタカラ、私御尋ヲ申上ゲタイ、先ヅ第
一ニ私御伺致シマスルコトハ、昨日カ

上ハ、關稅ノ問題トシテモハ後日ノ
問題ト考ヘル、是ハ現在ノ現狀ニ見テ
形ノ上カラ言フコトデアリマシテ、其

生活ニ入り得ル經濟政策ヲ立テ、行
ク、之ヲ私共ノ希望カラ茲ニ譬ヘテ申
スト、只今撫順ト云フアノ大キナ石炭

倉元サンノ要求デアッタカラ特ニ御出
席シテ載イタノデアリマスガ倉元サン
何カ……

存ジテ居リマス、繰返シテ申スコトハ
甚ダ諄イヤウデアリマスカレドモ、幸
ヒ御出席デアリマスカラ直接私ヨリ

實質ハサウデハアルマイト私ハ思フ、
御承知ノ如ク國民ノ輿論ノ趨向ハ大勢
既ニ此新國家ヲ承認スベシト云フコト

ガアル、何億噸ト云フ大キナ埋藏量ヲ
持ッテ居ル、アノ石炭ガ吾々日本ニ對シ
テドウ云フヤウナ生活上恩惠ヲ蒙ラシ

○小笠原委員 一寸遠洋漁業ニ關聯シ
テ御尋申上ゲタイ、先刻青山委員ガ言
ハレタヤウニ、矢張水産金融ガ一番大

會ニ臨ミマシテ吾々ガ感ジマシタコト
ハ、當面ノ問題ニナッテ居リマスル滿洲
新國家ノ滿蒙ニ對スル我國ノ關稅政策

ト云フモノヲ如何ニ取扱ッテ行クベキ
カ、本案御提出ノ時ニ當ッテハ此點ヲ御
考慮ニ御入レニナッタノデアアルカドウ

ト云ヘバ、格別是ガ吾々日常生活ニ餘
リ好イ影響ヲ與ヘナイコトデス、承ル
所ニ依レバ噸當リ二圓五十錢ノ石炭デ

事デアリマスルガ、興業銀行ニアリマ
シテハ船舶ニ對シテ現在金融ヲシテ居
ル、此遠洋漁業ノ船モ段々大型ニナッテ

ト云フモノヲ如何ニ取扱ッテ行クベキ
カ、本案御提出ノ時ニ當ッテハ此點ヲ御
考慮ニ御入レニナッタノデアアルカドウ

ト云ヘバ、格別是ガ吾々日常生活ニ餘
リ好イ影響ヲ與ヘナイコトデス、承ル
所ニ依レバ噸當リ二圓五十錢ノ石炭デ

此噸七圓五十錢ノ石炭デ内地國民ガ風
呂モ焚ケレバ飯モ炊ケルト云フヤウナ
ヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云

業銀行デヤッテ貫ヘルト云フヤウナコ
トニ、興業銀行ニ對シテ御盡力ガ願ヘ
スモノデセウカドウデセウカ、又サウ

シテモ、其點ハ事實デアリ、又吾々トシ
テモ餘リ深ク立入ッテ答ヘルコトハ避
ケタイ、斯ウ云フ御答辯デアリマシタ

カラ、以下私ガ申上ゲマスル理由ノ下
ニ、此關稅ニ關係ヲ御持ニナル主管行
政長官トシテノ各國務大臣ガ御協議ノ

上デ、是ハ國家ノ重大問題デアアルカラ
ヲ持ッテ居リマスル問題ガ、唯徒ニ將來
ノ問題トシテ殘サレテ居ル、サウシテ本

案ガ提出ニナッタト云フコトハ、甚ダ私
共トシテハ心足ラナイ氣分ガ致スノデ
アリマス、ソレデアリマスカラ、本案提

出ノ際ハ間ニ合ハナカッタガ、政府トシ
テノ方針ハ實ハ此處ニアルノデアアル、
是ハ新國家ノ三千萬民衆ト吾々六千五

百萬ノ此國民トノ間ノ經濟ノ鹽梅ヲ
圖ッテ、有無相通ズル、共ニ俱ニ幸福ナ
生活ニ入り得ル經濟政策ヲ立テ、行

ク、之ヲ私共ノ希望カラ茲ニ譬ヘテ申
スト、只今撫順ト云フアノ大キナ石炭
ガアル、何億噸ト云フ大キナ埋藏量ヲ

持ッテ居ル、アノ石炭ガ吾々日本ニ對シ
テドウ云フヤウナ生活上恩惠ヲ蒙ラシ
ムルコトガ出來ルヤウニナッテ居ルカ

ト云ヘバ、格別是ガ吾々日常生活ニ餘
リ好イ影響ヲ與ヘナイコトデス、承ル
所ニ依レバ噸當リ二圓五十錢ノ石炭デ

此噸七圓五十錢ノ石炭デ内地國民ガ風
呂モ焚ケレバ飯モ炊ケルト云フヤウナ
ヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云

ヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云
フヤウナヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云
フヤウナヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云

フヤウナヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云
フヤウナヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云
フヤウナヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云

フヤウナヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云
フヤウナヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云
フヤウナヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云

フヤウナヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云
フヤウナヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云
フヤウナヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云

フヤウナヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云
フヤウナヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云
フヤウナヤリ方ニナッテ、初メテ日本ト滿蒙ト云

フモノガ結付イテ、六千萬國民ノ民衆
ガ經濟上非常ナル恩典ニ浴スルコトガ
出來ル、此意味ニ於テ滿洲新國家が生
命線デアリ、吾々民衆ノ此滿蒙ニ期待
スル點ガ多イノデアリマス、又吾々先
輩ガアレダケノ犠牲ヲ拂ヒ今日ニ至ッ
タ其事情ヲ考ヘテ、初メテ意義アルコ
トニ相成ッテ來ル次第デアリマスカラ、
是ハドウシテモ此機會ニ政府トシテハ
十分ナル御決意ヲ以テ此經濟統制ヲ御
付ケ下サルト云フコトヲ御考ヘニナラ
ナケレバナラスト私共思ッテ居ルノデ
ス、ソレデアリマスカラ、既ニ一昨日ヨ
リノ問題デアリマシタカラ、關係ノ各國
務大臣ガ御協議ノ上デ此委員會ニ御答
辯下サルモノトシテ期待シテ只今マデ
御待受ケシテ居ッタ次第デアリマス、是
カラ先ヅ承リタイト思ヒマス

○中島國務大臣 昨日只今倉元君カラ
御述べニナリマシタヤウナ御希望ガゴ
ザイマシタコトヲ先程承知致シマシ
タ、即チ關係官省デゴザイマスル大藏
省、拓務省、農林省並ニ商工省當局協議
ノ結果、只今其協議ノ結果ト致シマス
ル所ヲ拓務大臣ヲ煩ハシテ御答辯申上
ゲマス

○永井國務大臣 倉元君ガ只今御述べ
ニナリマシタ通り、滿洲ハ我國ノ國防
上カラ申シマシテモ、亦經濟的存立上
カラ申シマシテモ不可分ノ重大關係ヲ

持ッテ居リマス、隨テ我國ト滿洲トノ間
ニ於キマシテハ、其根本關係ニ基キマ
シテ一切ノ經濟政策モ確立シ、統制シ
ナケレバナラスト、指導シナケレバナラ
スト考ヘテ居リマス、只今御質問ノ石
炭ナドノ問題ニ付キマシテモ、先日豫
算委員會デ小池君カラ御質問ガアリマ
シタヤウニ、我國ト滿洲トノ間ニ於テ
利害關係ガ能ク統制サレテ居ナイト考
ヘルベキ事實ガ色々ゴザイマス、其他
農産物ノ關係ニ於キマシテモ、亦木材
ナドノ關係ニ就キマシテモ、色々政府
トシテ考慮シナケレバナラスト問題ガ多
多アルノデゴザイマス

サウ云フヤウナ點ニ就キマシテ、關
係各省トノ間ニ於キマシテモ意見ヲ交
換致シテ居ルノデゴザイマシテ、是ハ
ドウシテモ日滿兩國ノ根本關係ニ鑑ミ
テ、本當ニ相互扶助ノ經濟關係ヲ確立
シナケレバナラスト思フノデアリマス
ルガ、先程倉元君御自身ガ御話シナ
リマシタヤウニ、日本ト滿洲國トハマ
ダ國際上互ニ承認セラレタ關係ニ立ッ
テ居リマセヌノデ、關稅問題ニ付キマ
シテ双方ノ間ニ意見ヲ交換スル機會モ
ゴザイマセヌ、隨テ只今御話ニナリマ
シタヤウナ種々ノ問題ニ付キマシテ
ハ、政府ト致シマシテハ出來ルゲケ速
イ機會ニ於テ、倉元君ノ御話シナリ
マシタ趣旨ニ副フヤウニ、經濟關係ヲ

確立致シタイト思ウテハ居リマスガ、
併シ今日ニ於キマシテ只今申上ゲタヤ
ウニ滿洲國ニ對スル承認問題モ未解
決ノ狀態ニナッテ居ルコトデアリマス
カラ、只今此處デ今日ノ場合ニ於キマ
シテ是等ノ問題ニ對シテ明白ニ決定的
ノ意見ヲ申上ゲル機會ニハ達シナイノ
デアリマス、併ナガラ是等ノ問題ハ出
來ルダケ速イ機會ニ於キマシテ、十分
日本ト滿洲トノ根本關係ニ鑑ミテ有利
ニ問題ヲ解決致シタイ、斯様ニ考ヘテ
居ル次第デゴザイマス、關係各省ノ間
ニ於キマシテハ、大體此ノ意見ニ一致
シテ居ル譯デアリマス

○倉元委員 只今ノ御答辯ニ依リマシ
テ大體政府ノ方針ノ在ル所ハ窺知ルコ
トガ出來マシタガ、併シ問題ニ依リマ
シテハ強チ滿洲新國家ガ完全ナル獨立
國トシテ、一人前ノ國家ノ形式ヲ具ヘ
ル迄待タナクテモ、私ハ部分的ニハ或ル
重要ナルモノニ付テハ協定ヲ爲サルコ
トモ出來ヤウシ、又我國ノ立場カラ見
テ、滿洲國ニ餘リ大ナル惡イ影響ヲ與
ヘナイト云フモノデアッテ、吾々内地國
民ガ恩惠ニ浴シ得ルト云フヤウナ事項
ニ付テハ何モ躊躇爲サル必要モナイ、
直チニ是ガ實施ニ御取掛リニナッテモ
差支ナイコト、私ハ思フ、是ハ又少シ
關係ガ違ヒマセウガ、此機會ニ御尋ス
ルコトハ内地ト大連ノ間ノ航路ニ對ス

ル噸稅ニ付テハ、今免稅ニナッテ居ルカ
ノヤウニ承知致シテ居リマス、是等ノ
扱ニ付テモ其扱ヲ爲サルコトニナレ
バ、他ノ移入品ニ對シテノ御考ハ此噸
稅ヲ免ズル精神ト何處ガ違フノデア
ルカ、ソレハ十把一束ニ皆同様ニ之ヲ扱
フト云フコトハ出來ナイト云フコトガ
品物ニ依ッテハアルカモ知レマセヌガ、
其精神ヲ顧ミマスルト物ニ依ッテハ矢
張無稅ニシテモ宜イ物モアルと思フ、
日本ノ政府ダケデ考ヘテヤリ得ルモノ
デアッテ、内地國民ガ全體ニ其恩惠ニ浴
シ得ルモノデアルト云フ御見込ノモノ
ハ、躊躇ナク御遣リ下サルコトガ此非
常經濟ニ處スル一ツノ方法デアッテ、國
民經濟ヲ助ケル所以デナイカと思フ、
是ハ強チ形式上新國家ノ承認ト云フ
モノガ出來上ッテシマッテ、ソレカラ向
フノ總テノ機關ガ整ッテ、ソレカラ
ポツ／＼交渉ヲ始メテ政府ノ確定方
針ガ定マルト云フノデハ、餘リニ私
共ハ緩慢過ギハシナイカと思フ、今
ノ御方針デ大體ノアナタ方ノ御考ヘ
ニナッテ居ル御胸中ハ私共拜察ハ致
シマスケレドモ、モウ少シ此舉國一
致内閣デアリ、誰モ兩黨トモ餘リ文句
ヲ付ケナイ此内閣ハ、最も自由ナル立
場ニ於テサウ云フコトヲ御解決ナサル
非常ニ便宜デアアル、思切ッテ私ノ申上ゲ
ル趣旨ノコトダケデモドン／＼是カラ運

ンデ行クト云フ御決心ガアリマスカアリマセンカ

○永井國務大臣 倉元君ノ御意見ハ一應御尤デアリマス、併シ實ハ滿洲國ニ對シマスル日本ノ關係ハ隨分複雑デアリマス、關稅問題モ其一ツデアリ、其他經濟上ノ援助ニ關スル種々ノ問題モアルノデゴザイマス、又交通上ニ於キマシテモ色々ナ問題ガアルノデアリマスソコデ是等ノ問題ニ對シマシテハ政府トシテハ色々方針ヲ立テ、居ルノデアリマスケレドモ、今之ヲ一方のニ日本デハ斯ウ云フヤウナ方針ヲ以テ、滿洲國ハドウアラウトモ其中ニ包含シテシマフ、其政策ニ服從サセテシマフト云フヤウナ態度デ臨ム譯ニハ行カナイノデス、色々ナ問題ガアリマスルノミナラズ、我國自身ノ滿洲ニ於ケル行政機構ノ如キモノモ此際一ツ根柢カラ建直シマシテ、本當ニ日滿兩國民ノ生活ニ適切ナル新機構ヲ確立シタイト云フコトモ實ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソレデ滿洲ニ對シマシテハ實ハ經濟上ダケデナク、行政上、交通上、全般のニ政府トシテハ新シキ政策ヲ確立シテ、サウシテ只今倉元君ノ御話ノ通り、舉國一致内閣ナレバコソ爲シ得ル速度ヲ以テ、又爲シ得ル力ヲ以テ根本的ノ關係ヲ確立致シタイト實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、其全般のノ改革ヲスベ

キ時ニ臨ンデ居ルノデアリマスカラ、今此處デ關稅ノ問題ダケニ對シマシテ、是ダケハ斯ウ云フヤウナ方法ニシテ進ンデ行クト云フヤウナコトハ、此際政府トシテハ言明シナイコトガ實ハ賢明デアルト思ッテ居ルノデゴザイマス

個々ノ問題デ協定出來ルモノハ一ツヤツテ行ッタラドウカト云フ御話モアリマスガ、關稅ノヤウナ重大ナ問題デアリマス、ドウシテモ國際關係ガ確立シテ居ラナケレバ協定ト云フモノハ效力ヲ發生シナイコトニナルノデス、ソレデ唯便宜上個人ナドノ旅行ノ時ニ得ルヤウナ便利ハ出來ルダケ獲得スルヤウニシテ居リマスケレドモ、斯ウ云フ大キナ經濟政策等ニ關スル問題ハ今日ニ於テハ有效ナル協定ヲスルト云フコトハマダ出來ナイ狀態ニナッテ居リマス、併ナガラ倉元君ガ御話ノヤウニ、今日日滿兩國ノ經濟關係ニ於テ、交通關係ニ於テ、總テノ點ニ於テ根本的ニ日滿兩國ノ共存共榮ノ目的ニ適フヤウニ方針ヲ立テルト云フコトハ、非常ニ急務デアルト云フコトハ私モ同感デアリマス、是ハ全般のニ政府トシテハ總テ再調査ヲシテ、サウシテ本當ニ日滿兩國ノ經濟關係ヲ確立シ得ルヤウナ經濟組織ノ再建ヲシタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○倉元委員 此委員會ノ希望ノアル所ハ、能ク御承知下サイマシタト存ジマスルガ、左様致シマスルナラバ私ハ此本案ノ内容ニ付テ今日マデ質問應答ヲ重ネラレタ、ソレヲ拜聽致シテ居リマシテモ、吾々ガ十分満足ヲ得ルダケノ案デナイコトハ稍、ハキリシタヤウデアリマス、是ハ元來關稅ハ申マデモナク大正十五年一般ノ大改正ヲ行ハレタ際ノ條件ガ、アノ時ニハ今後關稅ハ特ニ此政府ダケノ眼デナクテ、廣ク知識ヲ集メテサウシテ過チナカラシメル爲ニモ、亦時機ヲ得テ改正ヲ行ッテ行クヤウニト云フ此趣旨ノ下ニ、アノ調査委員會ト云フモノガ出來テ居リマス、ソレデアリマスカラ時々此關稅ノ改正ト云フモノハ毎年行ハレテモ宜イモノデアラウト私ハ思フ、時ノ產業狀態、經濟狀態、斯ウ云フコトヲ考慮ニ入レマス

レバ、年一年ト進步シツ、アリ、又日ヲ追ウテ變化シツ、アル今日ノ此狀態ニアッテハ、ドウシテモ年々ト或一部分ノ改正ヲ行ッテコソ、初メテビシヤリト產業ノ狀態ト關稅ト云フモノガ喰付イテ行クト私ハ考ヘテ居ル、其意味ニ於テ、アノ委員會ト云フモノモ設ケラレテ居ルト思ヒマス、隨テ今申上ゲマシタ通り、本案ガ吾々ノ見ル所デハ完全デハナイト云フ風ニ——私共ハ大綱ミデハゴザイマスケレドモ、之ヲ此處デ

私共ハ通過セシムル——認ムルカ認メヌカト云フ問題ニハ觸レマセヌガ、少クトモ今マデノ眞ノ狀況ヲ見テ居ルト、甚ダ不滿ナル點ガアルヤウデアリマスカラ、シテ見レバ政府當局ガ御考ヘニナッテ居ルモノガ完壁トハ言ヘマセヌトスレバ、少クトモ次ノ通常議會マデニハ、之ヲ又按配仕直シテ御遣リニナルト云フコトモ御考ヘ下サラナケレバ相成ラヌ事情ニアルト思ヒマス、サウシマス日滿ノ經濟統制ト云フ關係ハ、ソレマデニハ少クトモ方針ガ確立シテ行カナケレバナラス、ソレデ初メテ實現ガ期セラレルト云フコトニ相成ル譯デアリマス、併シソレハ滿洲ノ今ノ狀況ガ今後如何ニ成行クカト云フコトガ前提トナッテ考ヘラレマセウケレドモ、私共ヲ以テ言ハシムレバ少クトモ本年一杯ヲ待タズシテ滿洲新國家ト云フモノハ我國ハ承認セザルヲ得ヌ立場ニアルデアリマセウ、是ハ自分ガ生出シテ自分ガ育テ、其子ヲ承認セス、

認知ハ出來ナイト云フコトハ言ヘナイ筈デアアル、我國トシハテサウ云フ不徳義ハ出來ナイ、我國ハ九箇國條約ガ何デアラウガ、華盛頓會議ガ何デアラウガ、自分ガ生出シテ自分ガ育テタモノハ自分ガ是ハ認知ヲスルヨリ外仕樣ガナイ、又今ノ行懸リトシテ之ヲ完成セシメザルベカラザル事情ニアルト致シ

マスレバ、ドウカ次ノ通常議會マデニ

ハ私ガ申上ゲル此精神ニ依ッテ、此事實ニ立脚セラレテ關稅ノ上ニ是ガ現ハレテ來マスルヤウニ、私共ハ希望ヲ申上ゲマス

○東委員長 強イテ今質問ヲ打切ラナケレバナラスト云フヤウナコトハアリマセヌガ、大體質問ハ是デ通告ノモノハ全部終ッテ譯デアリマスルガ、尙ホ此場合質問ヲ復繰返シテ同ジコトヲ言フト際限ガアリマセヌカラ、是ハオ互ニ時間ヲ守ッテ經濟的ニ行クコトガ當然ダト思フガ、倉元サンノヤウナ御話デ、特ニ拓務大臣ナリ商工大臣ナリニ念ヲ押シテ置クト云フヤウナコトハ、今日迄ノ質問ノ經過デ大要分ッテ居ル、斯ウ云フ點ヲ一應念ヲ押シテ政府ノ辯明ヲ得タイト云フコトガアルナラバ、御許シテ宜イト思ヒマス

○倉元委員 私ハマダ繼續致シタイノデアリマス

○東委員長 今アナタハ御希望ヲ申上ゲテ質問ハ打切ラレルノデハアリマセヌカ

○倉元委員 イヤ、サウデハアリマセヌ、今ノハ御承知ノヤウニ行懸リノ問題ヲ言タノデ、其答辯ヲ聽イテ、ソレニ對シテ私ハ希望ヲ申上ゲタノデ、是カラマダ質問ヲシタイト思ヒマス

○東委員長 一寸一言ダケデスカラ關

聯シテ……

○東委員長 ソレデ櫻井君ニ簡單ニ御許シ致シマス

○櫻井委員 丁度滿洲炭ノ問題ガ出マシタカラ商工大臣ニ御尋シテ置キタイト思ヒマス、是ハ製鐵事業ニ關係アル問題デアリマスカラ、簡單デ宜レウゴザイマスガ御答辯ヲ願ヒマス、撫順炭ヲ内地ヘ移入スルト云フ問題ハ、或ル頃迄ハ大略二百萬噸以內ト云フコトニ決マッテ居ッタヤウニ考ヘラレマス、サウ云フ方針ノ下ニ政府ガ指導セラレテ居ッタヤウニ考ヘマス、所ガ山本条太郎君ノ滿鐵總裁時代デアリマスカ、撫順炭ノ増產計畫ヲスル爲メデアラウト思ヒマスガ、丁度其頃ノ議會ニ於テ、私ガ中橋商工大臣ニ御尋シマシタ所ガ、サウ云フ制限ハ置カナイ、モウ二百萬噸、百八十萬噸ト云フ制限モ置カズニドシ、内地ニ移入サセル積リデア

ル、斯ウ云フコトヲ議會ニ於テ中橋商工大臣ガ明言セラレタ、然ルニ其後内地當業者ノ大分色々ナ陳情ガ起ッタヤウデアリマシタガ、又殆ド事實的ニ百八十萬噸出ルト決マッタヤウニ私共ハ承知致シテ居ル、斯様ナ質問ヲ致ス趣意ハ何レニアアルカト申シマスレバ、色々ナ困難ガアルトハ思ヒマスルケレドモ、出來得ルナラバ撫順炭ヲ多ク移入シタイ、殊ニ斯ウ云フ經濟不況ノ時代

ニ於テハ安クツクモノヲ成ベク使ヒ、又國ノ國策ノ上カラ考ヘマシテモ、出來ルダケ内地產ノモノヲ保留シテ置イタラ宜イデヤナイカ、又保留スルコトガ一ツノ望マシイ點デアリ、又斯ノ如キ不況時代ニ於テハ安イモノヲ使フト云フコトガ望マシイコトデアル以上ハ、殘ル問題ハ是ガ爲ニ當業者ノ受ケル影響如何ト云フコトデアリマスガ、是モ合理化ノ見地カラ見マシテ、何等カンコニ方法ガ立ツナラバ、出來ルナラバ撫順炭ヲ餘分ニ入レタ方ガ滿鐵ノ經濟モ好クナリ、望マシイコトダト思フノデアリマスガ、商工大臣ノ之ニ對スル御考ガ定ッテ居リマシタナラバ、一ツ御聽カセテ願ヘレバ甚ダ仕合セト思ヒマス

○中島國務大臣 只今櫻井君カラノ御尋デアリマスガ、其問題ニ付キマシテハ、過日豫算總會ニ於テ、此處ニオイデニナル小池君カラ拓務大臣ニ御話ガアリマシテ、拓務大臣カラ御答ニナリマシタコトデアリマス、即チ私モ此撫順炭ノ内地移入ノ點ハ今後十分ニ注意ヲ拂ウテ行クベキ問題ダト考ヘテ居リマス、何レ考慮致シマシテ、此間ニ何分ノ考ヲ立テタイヤウニ考ヘテ居リマスガ、過日拓務大臣カラ御答申上ゲマシタ通りニ、現在ノ所尙ホ九州其他内地產ノ石炭ノ盛衰興亡ニモ關スベキ重要

ナ要素ヲ含ンデ居リマス、是等ノ點モ十分ニ考究ヲ致シテ見ルベキ餘地ノアルコト、思ヒマス、併シ全體カラ此内地滿洲ノ經濟ヲ統一一致シマシテ、即チ「ブロック」經濟ト致シマシテ考ヘナケレバナラストハ、單ニ石炭關係ノミニ止ラズ、其他國民經濟上ノモノモ多

ク存スル譯デアリマスガ、ソレ等モ併セテ考ヘテ見タイト存ジテ居ル譯デアリマス、本日ハ甚ダ御不満足デアリマセウガ、此關係ニ於テハ此以上申上ゲルコトノ出來ナイコトヲ遺憾ト致シマス、御諒承願ヒマス

○倉元委員 私ハモウ一、二點、幸ヒ商工大臣ガ御出席デゴザイマスカラ御伺ヒシタイ、是ハ關稅ノ上ニ將來重大ナル關係ヲ持ツ問題デゴザイマスカラ伺ッテ置キタイト思ヒマス、先日政府委員ニ對シテ中島委員カラ御尋ガアッタ問題、即チ仲縮關稅ノ問題デアリマス、商工大臣ハ永ク實業界ニ經驗ヲ御持チニナッテ居リ、又關稅ノコトニ付テハ御造詣深イ御方デアラセラレル、而シテ仲縮關稅ト云フコトニ付テハ豫テ御持論モアルカノヤウニ御伺シテ居リマスガ、今回政府ノ當路ニ御立チニナリマシテ、此仲縮關稅ニ付テノ閣下ノ御方針ナリ、將來ドウ云フ風ニ御考ヘニナルノデアアルカ、隨分是ハ產業上重

大ナル關係ヲ持ッテ居ルト思ヒマスカラ、

御方針ノアル所ヲ伺テ置キタイト思ヒマス、今回ノ此御提案ニ付テハ其伸縮關稅ニ付テノ片鱗ヲモ認ムルコトガ出來ナイト云フコトデ、次ノ通常議會位ニハ其見地ニ立ッテ御提案ガアルノカトモ考ヘマスガ、サウ云フコトハ今考ヘテ居ラヌト仰シヤルカモ知レマセヌガ、大體ノ方針トシテハ自分ハ斯ウ考ヘテ居ル、此伸縮關稅ガ産業ヲ發達セシムル上ニ極メテ必要デアル、斯ウ云フ風ニ御考ニナッテ居ルノデアルカドウカ、之ヲ伺ッテ置キタイト存ジマス

○中島國務大臣 只今倉元君カラ伸縮關稅ノ問題ニ付テ御尋ガゴザイマシテ、是ハ私モ御案内ノ如ク、就任日尙ホ淺ク致シマシテ、自分ガ實際行政ヲ取扱フ地位ニ就キマシテ、斯ル國民經濟ニ重大ナル關係ヲ及ボシマスル問題ニ付テ、的確ナル意見ヲ申上ゲルコトガマダ出來ナイノデゴザイマス、聊カ私見ニ相互ル嫌ヒハゴザイマスケレドモ、試ミニ私見ヲ一ツ申上ゲテ責ヲ塞ギタイト思ヒマス、私モ實ハ財界ニ居リマシテ、此種ノ經濟問題ヲ審究致シマシタ場合ニ於テハ、屢々伸縮關稅ノ問題ニ付テ思フ致シタコトガゴザイマス、殊ニ御案内ノ如ク昨今國際間ニ於ケル關稅競爭激化ノ現狀ニ際シマシテ、我國亦伸縮關稅等ノ點ニマデ考ヲ致サナケレバナライノデハアルマイ

カトサヘ思ヒマシタコトモ一再ニ止マラス譯デアリマス、唯、今申上ゲマスル通りニ平生持論トシテ考ヘテ居リマスコトヲ之ヲ實際政治ノ上ニ行ヒマスニ於テ、曩ニ考ヘテ居リマシタ理論一片ノ見地ニノミ依ルコトハ出來ナイ憾ミモアルノデアリマス、隨テ此伸縮關稅問題ト云ヤフウナ如キ重大ナル經濟案件ニ付キマシテハ、今後十分ニ考慮ヲ致シマシテ研究スル積リデゴザイマスケレドモ、此際此時、只今ノ御質問ニ對シマシテ、明確ニ私ガ斯様致シタイト云フコトヲ申上ゲル運ビニ至リマセヌコトハ甚ダ遺憾デゴザイマス、ドウカ此點ニ付テ後日又更ニ御教ヲ仰グコトガアルカモ存ジマセヌ、宜シク御願申上ゲマス

○倉元委員 洵ニ御慎重ノ御態度デ、理論ト實際トハ往々ニシテ喰違ヒヲ生ズルコトガアリ、累ヲ及ボスコトガアル、洵ニ其通りデゴザイマス、サウ云フ御考デ居ラセラレバ、極メテ結構ダリマシタ、先日ノ政務次官ノ岩切君ノ御答ハ、或ル保護關稅ヲ實施スルコト云フコトニナレバ、或ル方面ニ弊害ヲ及ボシ、又政黨ノ關係等ヲ考慮シナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ御答辯ノ要旨ニ伺ッタノデアリマス、是モ考ヘナケレバナラヌ一ツノ理由デアラウ

ト思ヒマスガ、私共ハモウ一ツ商工大臣ハ豫テ御持論トシテ、之ヲ御唱ヘニナッタ關係カラ御覽ニナッタ憲法上ノ關係ハドウナルノカ、憲法第六十二條、六十三條ノ關係ハドウ云フ風ニ御判斷ニナッテ居ルノデアルカ、是モ序デアリマスカラアナタノ御考ノアル所ヲ一應伺ッテ置キタイト思ヒマス、私ハ何モ憲法學者デモナケレバ何デモナイ、御參考マデニ讀ミマスガ、六十二條ハ「新ニ租稅ヲ課シ及稅率ヲ變更スルハ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシ」是ガ六十二條ノ第一項デアリマス、ソレカラ六十三條ニハ「現行ノ租稅ハ更ニ法律ヲ以テ之ヲ改メサル限りハ舊ニ依リ之ヲ徵收ス」斯ウ云フ簡單ナ明文デアリマスガ、モウ一遍讀ミマス……

○東委員長 是ハ憲法ノ講義ト云フ譯デモナカラウガ、伸縮關稅ト云フモノハ法律デキメナケレバナラス問題デヤナイノデセウカ、ソレダカラ、是ハ大シタ問題ニナラヌヤウニ思フガ……

○倉元委員 大臣ノ御考ヲ承リタイ

○中島國務大臣 私一己ノ考ヲ申上ゲマスレバ、其點ハ或ハ委任命令ヲ以テ處理スルコトガ出來ルカトモ思フノデハアリマスケレドモ、何分憲法ニ關スル問題ニ付キマシテハ、私ノ如キ素人カラ御答申上ゲマシテモ、亦何等カノ累ヲ及ボスト非常ニ困リマスカラ、法

制局關係ノ方カラ一ツ御答辯ヲ致スコトニシタイト思ヒマス

○倉元委員 御尤デアリマス、直ニアナタノ御見解ヲ此處デ御發表ニナルコトハ困難ダラウト思ヒマスガ、此點ハ最モ重大ナル私ハ問題デヤナイカト思ッテ居リマス、餘程是ハ政府當局デモ御研究ニナッタ結果ニ依ッテ、此伸縮關稅ヲ御實施ニナラナイト、米穀法ノ運用ノ爲ニ、一ツノ法律ノ委任命令ニ依ッテ農林大臣ガ米穀ノ増減ヲ圖リ得ルト云フコトトハ、少シ是ハ趣ガ關稅ノ方ハ違ヒハセヌカト私ハ獨リ判斷デハゴザイマスガ左様ニ考ヘテ居リマス、ソレデアリマスカラ、此租稅ト同様ニ又稅率ト云フ關係カラ見マスと云フコトハ、是ハ憲法ニ保障シテ居ル重大ナ事項デアリマスカラ、國民ノ立場カラ云ヘバ義務ノ一ツト相成ル餘程重大ナル關係デアルト私ハ思ヒマス、ドウカアノ米穀法ノ運用ノ關係ノ法規モゴザイマスガ、ソレ等ヲモ御參酌ノ上、御研究ノ上デ、次ノ議會ニ若シ商工大臣ガ此伸縮關稅デモ實施ナサルト云フヤウナ御決心ガ付ク場合ニハ、此憲法上ノ御研究モ願ッタ上デ萬遺憾ナキヲ期セラレシコトヲ私ハ希望致シマス、續イテ商工大臣ニモウ一ツ御尋ネ致シマス、先日來ノ質問應答ノ狀態ヲズツト對照シテ考ヘテ見マシタ所ガ、大藏當局ノ御

答辯ニ依リマシテモ、産業保護ノ見地カラ今回ノ改正ヲ行ツタ、商工省ノ御立場カラハ勿論サウデアラウト思ヒマスルガ、左様致シマスルト、此内容ヲ質問應答ニ依ッテ伺ツタ結果ニ依リマス、強チ産業ノ保護ト云フコトガ其目的ヲ達スルニ遺憾ナイカト云フト甚ダ遺憾ナ點ガ吾々共カラ見レバアルノデアリマス、率直ニ私ノ——是ハ此案提出ノ私個人トシテハ、政黨政派ヲ離レテ、一個ノ倉元ト云フ見地カラ之ヲ考ヘマスルト、是ハ今日ノ財政ノ赤字ニ堪ヘラレナイ、何トカシテ此國ノ財政ノ緩和ノ爲ニ、赤字ノ補填ノ一ツノ手段トシテハ、關稅ニ依ルノ外ナシ、關稅ヲ以テ其一部分ニ充テルコトガ適當ナリト云フ、斯ウ云フ政府ノ大局ノ方針カラ割出サレテ、從量稅ノ如キ、十把一束、三割五分ノ引上ゲラースルト云フ方針ニセラレタノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ私ハ考ヘテ居リマスガ、ソレデモヤハリ産業保護ノ爲ニヤツタノデアルト、斯ウ云フ風ニ御考ヘデアアルノデアルカ、其點ハ一ツ大局ニ付テ伺ツテ置キタイト思フ、若シ此保護ノ見地カラバカリ改正ヲ行ツタト云フコトデアレバ、甚ダ遺憾ナガラ法ノ目的ヲ達シ得ナイモノガ多クアルノミナラズ、大局カラ之ヲ論ジマスルナラバ、從價稅ヲ一層御引上ゲニナルコトガ適當デハナイカ、從

價稅ハ其物價ノ變動ニ依ッテ、ソレニ從ッテ増減ガアルモノト私ハ考ヘテ居ル、從量稅ノ方ハ、一定ノ或ル時期ノ物價ノ標準ニ依ッテ、ソレニ百斤幾ラノ稅率ガ課ツテ居ル、其時ノ價ガ基準ニナツテ居ル、サウ致シマス、大正十五年改正ノ現行關稅率ト云フモノハ、今年改正ノ現行關稅率ト云フモノハ、今ノ物價、或ハ爲替ト御比較ニナツテドウ云フヤウニ御考ヘニナルノデアアルカ、從量稅ト云フモノガ果シテ從價稅トノ比較ヲ御取リニナツタ上デ、適當デアアルカ、此從價稅ト云フモノヲ此儘ニ置イテ置クコトガ適當デアアルカ、此點ヲ私伺ツテ置キタイノデアリマス

○中島國務大臣 只今ノ御質問ハ、半バハ大藏省關係、半バハ商工省關係ノ質問ト心得マシタ、法案ノ内容ニ關シマシテハ、色々ノ御意見モアル、コトデ、是ハ餘儀ナイコト、思ヒマス、商工省ト致シマシテハ、ヤハリ産業政策ノ上カラ考ヘマシテ、本案ノ御協賛ヲ願ヒマシタ譯デアリマス、大藏省ノ方ノ關係ニ付キマシテハ、大藏省關係ノ方カラ御答辯アルコト、思ヒマスガ、私ガ商工省ノ關係カラ考ヘマスレバ、總テ産業政策ノ見地カラ御協賛ヲ願ヒマシタコトニナツテ居リマス、案ノ内容ニ關シマスル御意見ハ、偶、私共ト多少異ナル所ガアルコトハ洵ニ已ムヲ得ナイコト、思ヒマス

○倉元委員 實ニ著シイ例ヲ申上ゲルト「アルミニウム」ナドハドウナリマスカ、アレナドハ、我國デハ生産ガ出來ルカ、私ハ出來ナイト思ヒマスガ、如何デアリマス

○竹内政府委員 只今「アルミニウム」ニ付テ御質問ガアリマシタガ、私カラ代ッテ御答ヘ致シマス、「アルミニウム」ノ關係致シマスル問題ハ、從量稅三割五分引上ゲノ問題ナノデアリマス、是ハ先日提案ノ理由トシテ、大藏當局カラ御説明ガアリマシタ通りノ趣旨デアリマシテ、詳シイコトハ大藏當局カラ御説明ガゴザイマセウガ、私共ノ商工當局トシテ了解致シテ居リマスル所ヲ簡單ニ申上ゲマス、大體アノ三割五分一律引上ノ問題ハ、從價稅ト從量稅トノ調和ヲ保ツト云フ點ニアルノデアリマス、而シテ之ニ對シマシテハ、新聞用紙ノ如キ特殊ノモノヲ除キマシテハ、大體例外ヲ認メナイト云フ一般方針ニ從ッテ居ルノデアリマス、只今商工當局ト致シマシテ、提案サレテ居リマスル關稅ノ問題ハ保護ノ見地ヨリデアルト云フコトヲ大臣ヨリ申サレマシタガ、是ハ大體ニ付テ其通りデアリマスルガ、斯ノ如ク一品々々數ハ上ゲテ見マシタナラバ、其處ニ多少一般方針ノ下ニ於キマシテ例外ト見ナケレバナラヌモノガアルト云フコトヲ御承知願ヒ

タイノデアリマス

○武田委員 議事進行ニ付テ申シマス、先程委員長ノ宣告ハ、最早大體質問モ盡キタト認メル、併シ商工大臣竝ニ拓務大臣ガ御出デニナツタラ、全體ニ對スルヤウナ質問、若クハ念ヲ押シテ置クヤウナコトガアッタラ、質問セヨト云フ宣告ノ下ニ質問ガ發セラレテ居ルト吾々ハ承知シテ居ルノデアリマス、ソレヲ又「アルミニウム」トカ石炭ガドウトカ云フ、各品々々ニ付テノ質問ガアリマス、際限ナイ話デアリマスシ、私共モ尙ホ小麥ニ付テノ質問ナドガアルガ、ソレハ保留シテ委員長ノ宣告ニ從ッテ居ルノデアリマス、私ハ委員長ニ豫メ申上ゲタヤウニ、拓務省ニ關スル質問ニ付テ、木材ニ關スル質問ニ付テ、農林當局ハソレハ拓務省ノ關係デアアルカラト云ツテ、ソレヲ保留シテアル譯デアリマス

○東委員長 分リマシタ、アナタニ發言ヲ許シマス

○武田委員 各品別ノ質問ハ一ツ御打ちリニ願ハナイト云フト、今日中ニ終了ハ出來ナイト思ヒマス、斯様ニ委員長ハ適當ニ御取計ヒテ願ヒマス

○倉元委員 今「アルミニウム」ト云ヒマシタガ、是ハ一ツノ商工大臣ガ何處マデモ産業保護ノ目的ヲ達スルニ、斯ウ云フヤウナ方針ヲ持ッテ臨ムノダト

斯ウ仰シヤルカラ、ソレナラバ保護ニナラナイモノ、一番著シイモノヲ申上ゲヤウトシテ例ニ引イタノデ、是ハ一品一品ニ質問スルヤウナ愚ナコトハ致シマセヌ——先刻私が申上ゲマシタ大正十五年ノ物價ト爲替ノ關係ハ、金再禁止ヲ致シマシタ直前ト、今日ノ物價並ニ爲替、之ヲ御考ヘ下サツテ、此標準ヲ御比較ニナツテ、サウシテ今度ノ關稅率ヲ從價稅並ニ從量稅ノコトヲ御比較下サレタ結果ハドウナルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○中島政府委員 只今ノ倉元サンノ御質問ハ、一昨日デアリマシタカ既ニ堀切政府委員トノ間ニ質問應答ヲ重ネラレマシタコトヲ拜承致シテ居リマス、只今商工當局カラ御答辯ガアリマシタヤウニ、關稅定率法中改正法律案ニ出テ居リマス、全部ハ保護稅ダト心得テ居リマス、但シ輸入稅ノ從量稅ニ關シマスル方ノ三割五分、百分ノ百三十五課ケルト云フ法律ハ、二十九品ニ對シマスル考ト趣キヲ異ニシテ居ルト思フノデアリマス、堀切政府委員カラ既ニ御答ガアリマシタガ、言葉ガ違ヒマス爲ニ、或ハ違ッタヤウナ説明ヲ私ガスル虞ガアルカモ知レマセヌケレドモガ、堀切サンノ御答辯ノ趣旨ヲ私付度致シマシテ申上ゲマスレバ、輸入稅ノ從量稅ニ關スル法律ノ方ハ、二十九品

ノ方ノ稅率ヲ盛ルヤウナ心持デハヤッテ居ナイノデアリマスガ、三割五分ノ引上ヲヤリマス結果、其限度ニ於キマシテハ、只今ノ稅率ニ比較シマシテ、保護ヲヤツテヤル物品ニハヤハリ保護稅ニナルダラウト思フ、斯ウ云フ趣旨ダラウト思フ、但シ只今倉元サンノ御話ノヤウニ「アルミニウム」ノ如キハ二十九品ノ中ニ入ラナイデ、輸入稅ノ從量稅ノ方ニ入ッテ居ルト云フ關係カラ見マスルト、只今最初ニ御答辯申上ゲマシタヤウニ、二十九品ノヤウナ、サウ云フ意味ノ保護ニハナッテ居ナイト思ヒマス、是ダケ御答申上ゲマス

○倉元委員 私押問答ヲ止メマスガ、私ノ意見ヲ申上ゲテハ何デアリマスガ、私ノ觀ル所ヲ以テスルナラバ、今回ノ此關稅改正ハ、寧ロ私ハドウシテモ從價稅ノ方ヲ御上ゲニナルコトガ至當デアラウト思フ、斯ウ云フヤウニ私共ハ考ヘテ居リマスルガ、ソコデ初メテ產業ノ保護ガ全ク出來ル、片一方デハ爲替ノ關係カラ下落シテ居リマスカヲ、約三割以上モ既ニ保護ノ實ガ舉ッテ居ルト云フ關係ニアルヤウニ私共見ルノデアリマス、ドウシテモ政府當局ノ今ノ御答辯デ満足ハ出來マセヌガ、押問答シテモ駄目デアリマスカラ、此程度デ私ハ打切ッテ置キマス

○武田委員 私ハ一昨日カ、南洋材ノ

輸入稅ノコト、滿洲ノ、殊ニ豆滿江流域ノ材木ノ輸入稅ノコトニ付テ御伺ヲシテ居ッタノデアリマスガ、ソレハ拓務當局カラ御答辯ヲ下サルコト云フコトデ、保留シテアル譯デアリマス、然ル所南洋材ノコトニ付テハ、本日手代木君ト山林局長トノ間ニ詳細ナル質問應答ガアリマシテ、ソレニ付テハ私ハ多クヲ申上ゲル必要ハナイノデスガ、其質問應答ヲ伺ッテ見ルト、南洋材ヲ此增稅ノ中カラ除外シタト云フ理由ハ一モ見出サレナイ、寧ロ山林局長ノ御答辯ハ、之ヲ他ノ從價稅ト同一ニ課稅スベキ理由ヲ裏書キサレテアルノデアリマス、ソレデ私ハ拓務當局ニ伺ヒタイノデアリマスルガ、其質問應答カラ承レバ、今申上グル如クニ、之ヲ除外シタト云フ理由ハ政府當局ノ御答辯ノ上ニ於テ、何等ノ理由ハナイノデアリマスガ、是ハ併ナガラ一面ニ於テハ、今承レバ豫算會議ニ於テハ、豫算ハ決定シテ居リマス、サウ云フ事情モアリマスルカラ、尙ホ此貿易關係ナドヲ考慮シテ見ル必要ガアルト云フコトヲ山林局長ハ言殘サレテアルノデアリマスガ、果シテ拓務當局ハ、此南洋材ノ除外サレタト云フコトニ付テ適當ナル時機ニ御考慮ニナルト云フ御意思デアアルカドウカト云フコトヲ一ツ確メテ置キタイ、又左様ニ御考下サルコトガ、今日トシテハ適當デハアル

マイカ、先程手代木君カラモ再三御話ノアル通りニ、北海道ニ於キマシテハ、私ノ承知スル所デハ、闊葉樹ノ積載量ハ十五億萬石ト稱シテ居リマスガ、山林局長ハ十二萬何千石ト御話ニナリマシタ、何レニシマシテモ、是ハ北海道デモ重大ナルコトデアリ、又單リ是ハ北海道ダケデハアリマセヌ、内地全國ニ於ケル闊葉樹ノ積載量ハ、私ノ知ル所ニ依リマスレバ四十億萬石ト承知シテ居リマス、シテ見ルト差當リ北海道ト極テ重大ナル關係ガアリマス、日本全體ノ闊葉樹ノ山林ノ計畫ニ於テ少カラヌ影響ノアル問題ト考ヘマスカラ、成ベク近キ適當ナ機會ニ十分御考慮ヲ仰ギタイト私ハ思フノデアリマスガ、其點ニ付テ拓務當局ノ然ルベキ御言明ヲ願ヒタイト思ヒマス、モウ一ツハ豆滿江ノ材木ノ問題ハ、斯様ナル質問ヲ致シタノデアリマス、豆滿江ノ材木ハ御承知ノ通り間島及ビ彈春ヲ中心トシテ事業ヲ營ンデ居リマス、此方面ニ於キマシテハ朝鮮人即チ我が帝國々民ガ大多數ヲ占メテ居リマス、支那人ハ僅ニ五分ノ一位シカ居ナイノデアリマス、而シテ又企業家モ大部分内地人カ朝鮮人、即チ帝國臣民デアリマス、資金モ大部分此方ノ方カラ出テ居ルノデアリマス、而シテアノ方面ノ通貨ト云フモ

ノハ、朝鮮銀行ノ兌換券ガ事實ニ於テ
通用致シテ居ルノデアリマス、左様ニ
致シマスルト云フト、是ハ爲替ノ關係
トシテハ内地ノ爲替ト何ノ異ル所ハナ
イノデアリマスカラ、爲替ガ下落シタ
云フ關係デ茲ニ一律ニ三割五分ノ稅ヲ
御課ケニナルト云フコトハ少シ當ヲ得
ナイデナイカト云フ質問ヲ致シタノデ
アリマス、是ニ對シテ朝鮮總督府ノ御
意見ハ左様デナイ、滿洲ニ於テハ朝鮮
銀行ノ兌換券モ通用スルガ、又大部分
苦力ナゾノ支拂ハ、依然トシテ銀デア
ル、斯ウ云フヤウナ説明デアリマシタ、

尙ホ私ハ其方面ノ營業者ニ就テ昨日親
シク聽キマスルト、滿洲全體ニ取ッテハ
總督府ノ御意見通りデアリマスガ、間
島竝ニ琿春方面ハ、私ノ承知致シテ居
ル通りニ朝鮮銀行ノ兌換券ガ通用サレ
テ、現ニアノ方面ノ材木ガ日本ニ輸入
サレル場合ハ其代金ノ支拂ノ爲替ナゾ
ハ、同ジク日本ノ爲替デヤッテ居ルト云
フコトヲ聽イテ居ルノデアリマス、左
様致シマスルト是レ私ノ考ヘル通り
ニ爲替下落ノ爲ニ、何等影響ハナイト
考ヘルノデアリマス、シマスルト云フ
ト、此豆滿江材ト云フモノハ、私ノ考ヘ
ル通りニ是ハ除外サレテ然ルベキモノ
デナイカト思フノデアリマス、併シ先
程倉元君ト拓務大臣トノ質問應答ニ依
リマスルト、滿洲ニ關スルコトハ根本

的ニ日滿ノ關係ヲ確立シテ、然ル後ニ
關稅ナゾニ及バウト云フ御意見ノヤウ
デアリマスカラ、左様ナ意味合ニ於キ
マシテ、是モ御提案通りトシテ、適當
ナ機會ニ御考慮ニナル、斯ウ云フコト
デアリマスレバ深ク私ハ彼此レ申シマ
セスガ、其コトヲハキリト伺ハナイ
ト、本案ニ對シテ贊否ヲ決スルニ甚ダ困
ル次第デアリマスカラ、今南洋材ト豆
滿江材ノ事ニ向ッテ、近キ將來ニ於テ適
當ナル方法ヲ御考慮下サルカ否ヤト云
フコトニ付テ、確タル御意見ヲ一應御
表明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○永井國務大臣 只今ノ御質問ノ南洋
材ニ關シマスル事カラ御答ヲ申上ゲタ
イト存ジマスガ、南洋材ニ關シマシテ
ハ、曾テ本會議デモ申上ゲマシタヤウ
ニ、南洋材ノ投資、生産、販賣ト云フヤ
ウナコトノ、殆ド全部ガ日本人ニ依ッ
テ行ハレテ居ルダケデナク、其需用地ガ
日本自身デアリマシテ、此南洋材ノ生
產者ガ、今日爲替關係ダケデモ、非常ナ
打撃ヲ受ケケマスノニ、尙其上ニ關稅
關係ニ依ッテ我ガ國ニ對スル輸入ガ阻
止サレルト云フコトニナレバ、非常ナ
打撃ヲ受ケルデアラウ、致命傷トナル
デアラウト云フヤウナコトカラ、關稅
委員會ノ小委員會ニ於キマシテモ、之
ヲ除外スルト云フ議論ガ出テ居タノ
デアリマスルガ、同時ニ只今武田君ノ

御話ノ通り、北海道ニ於ケル林業ニ付
テモ、政府トシテハ餘程考ヘナケレバ
ナラヌト思ヒマス、殊ニ今日農山村ヲ
通ジテ、非常ナ生活上ニ於ケル重壓ヲ
受ケテ居ル時デアリマシテ、其救済ヲ
サヘ考ヘナケレバナラナイ時ニ、ソレ
ニ打撃ヲ加ヘルト云フコトハ餘程考ヘ
ナケレバナラヌ、餘程注意シナケレバ
ナラヌコト、思ヒマスノデ、其方面ノ
利害關係ヲモ考慮致シマシテ、之ガ爲
メニ關稅調查會ニ於テモ小委員會ガマ
ダ未決定ノ儘ニナッテ居ルト云フ状態
デアリマス、隨ッテ今武田君ノ御話ノ通
リ、政府ト致シマシテモ、此問題ニ付キ
マシテハ、今武田君ガ御話ニナリマシ
タ點ヲ十分考慮シテ、間違ヒノナイヤ
ウニ處置致シタイト存ジテ居リマス、
次ニ滿洲材ニ付キマシテ御話ニナリマ
シタコトハ、先程倉元君ニ對シテ申上
ゲマシタヤウニ、對滿洲ノ經濟關係ヲ
再吟味シテ、其經濟關係ヲ再建設スル
時ニ、十分御希望ニ副フヤウニ調査致
シタイト考ヘテ居リマス

○武田委員 只今拓務大臣ノ御答辯ニ
付キマシテ、豆滿江材ノコトハ諒承致
シマシタガ、南洋材ノコトニ付テハ甚
ダ遺憾ノヤウニ存ジマスカラ、重ネテ
御質問ヲ申上ゲルト同時ニ、希望ヲ申
上ゲテ置キタイト存ジマス、手代木君
ト山林局長トノ質疑應答ハ、拓務大臣

ハ御聽キニナラナカッタカラ御承知ナ
イノハ御尤デアリマス、私共仄聞致シ
テ居リマスル所ニ依リマスルト、此南
洋材ノ關稅ニ付キマシテハ、農林當局
ト拓務ノ當局トノ間ニ意見ガ一致シテ
ナイカノ如キ事實ヲ承ッテ、甚ダ懸念シ
テ居ッタノデアリマス、今日茲ニ明カニ
兩省ノ意見ガ乖離シテ居ルト云フコト
ヲ暴露サレタヤウナコトデ、甚ダ遺憾
ニ思ヒマス、今拓務大臣ガ一二御話ニ
ナリマシタ交通關係、或ハ投資關係ノ
コトニ付テモ、先刻質問應答ガアッタノ
デアリマス、然ル所農林當局ノ意見ニ
依リマスルト云フト、此南洋材ニ付テ
ハ、本邦人ノ投資モ極メテ少ナイ、手代
木君ノ御調查デハ七十萬圓ト云フコト
デアリマシタガ、私ノ聞及ンデ居ル所
ニ依レバ四十萬圓ニ過ギナイヤウニ承
知シテ居リマス、何レニ致シマシモ、
其投資額ハ極メテ少ナイモノデアリマ
ス、其僅カナ、假令七十萬ト致シマシテ
モ、其僅カナ投資額ノ爲メニ、北海道若
クハ全國ニ於キマシテ、四十億ノ澤山
ノ積材ノ在ル此關葉樹ノ需用ニ重大ナ
ル影響ヲ及ボスト云フコトニ付テハ、
十二分ニ考慮スル餘地ガアラウカト存
ジマス、又此船ノ關係ニ付キマシテモ、
是亦山林局長ハ大シタ影響ハナイ、即
チ比律賓ト日本トノ船ノ積載運搬關係
ノ南洋材ニ關スル限りニ於テハ、漸ク

其一割ニシカ當ラヌ、隨ツテ此運賃關係トシテハ深ク考慮スルニ足ラヌト云フコトヲ先程辯明ニナツテ居ル、シテ見ルト今拓務大臣ノ御話ニナリマシタ投資額、若クハ船ノ運賃關係デ、特ニ之ヲ除外シナケレバナラヌト云フ理由ハ見出サレナイト思フノデアリマス、併シ今私ハ之ヲ追究的ニ申上ゲルノデハナイノデアリマスカラ、左様ナル明白ナル事實ガ、玆ニ手代木君ト山林局長トノ間ニハッキリシテ居ルノデアリマスカラ、斯様ナル事實ニ向ッテ十分ナル御調査ヲナスツテ、成ルベク吾々ノ希望ニ副フヤウナ御考慮ヲ、然ルベキ時ニ御置キヲ願ヒタイ、サウシテ適當ノ機會、即チ來ルベキ通常議會アタリニ於テ、何等カノ御提案ガアルデアラウト想像致シマスガ、サウ云フ時ニハ是等ニ向ッテ、十分ニ農林省ノ御意向モ御參酌ニナツテ、日本ノ産業ノ發達ノ爲ニ、苟モ遺漏ノナイヤウナ、十二分ノ御考慮ヲ御加ヘ願ヒタイト云フコトヲ、併セテ希望致シテ置キマス

○武田委員 私ノ質問ハ是デ打切りマ

○田島委員 時間ガ非常ニ迫ッテ居リ

マスカラ、極メテ簡單ニ申上ゲマス、鐵ノ關稅ニ付テ、商工當局及ビ大藏當局ハ、大キナ落シ物ヲサレテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレデ其點ニ付テ、是ハ怠慢不注意ト云フ譯ニモ感ゼラレマスガ、一應其理由ヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス、ソレハ鐵力ノ關稅ノコトデアリマスガ、亞鉛板ノ原料デアリマス所ノ薄板ニ對シテハ、百斤一圓四十錢ノ關稅ヲ現在ハ課シテ居リマスガ、鐵力ニ對シテハ僅ニ七十錢ヲ課シテ居リマシテ、粗製品デアアル鉛板ハ一圓四十錢ト云フ高イ稅デアアルノニ、精製品ノ鐵力ハ、七十錢デアリマ

○永井國務大臣 只今ノ武田君ノ御意見ハ一應御尤ニ存ジマス、關係各省ノ間ニ意見ノ交換ヲ致シテ居ラレマシマス、色々ナ意見ガ實ハ出テ居ルノデアリマス、例ヘバ投資額ニ付キマシテモ、今御話ノヤウニ四五十萬圓程度ニ計算シテ居ル調査モアリ、三百萬圓以上デ

デアリマスガ、内地ニ於テハ之ガ出來ナイカト云フト、政府ノ製鐵所ニ於テ、年ニ二萬五千噸近クノ生産ヲ致シテ居ルノデアリマス、政府ノ經營デアリマスカラ、赤字ガ出テモ構ハヌノデアリマセウケレドモ、兎ニ角五萬噸カラ七八萬噸ノ輸入ヲ防遏スルト云フコトハ、是ハ關稅ノ保護ニ俟タナケレバ、不可能デアルト思フノデアリマス、殊ニ最近、前内閣ハ産業五箇年計畫ト云フヤウナ問題ヲ騷シテ居ラレテ、其豫算ヲ現内閣ガ承ケ繼イデ居ラレルヤウナ次第デアリマシテ、此鐵力ノ關稅ノ如キハ、當然御考ニナラナケレバナラヌコトデアラウト考ヘルノデアリマス、殊ニ商工大臣モ、只今御出デニナリマシタ大藏政務次官モ、産業保護ノ見地カラ、此關稅ヲ考ヘタノデアルト仰シヤッタニモ拘ラズ、斯ノ如キ大キナ落シ物ヲシテ居ラレルト云フヤウナ譯デアリマス、之ニ付テハ實ハ申ス迄モナク、色々ナ事情ガアルコトデアルト思ヒマ

スガ、大體此問題ニ付テハ、水産業者ノ反對ガアッタノデアリマス、最近ハアルカドウカ存ジマセヌガ、兎モ角モ水産業者ノ反對ガ多少アッタノデ、ソレガ決定ヲ延引シタ理由カト思フノデアリマスガ、水産業者ノ罐詰問題ニ付テ、非常ニヤカマシク主張シテ居リマス、此罐詰ノ輸出品トシテ考ヘラ

レテ居ル蟹罐詰、若クハ鮭鱈ノ罐詰ノ如キモノハ、是ハ其原料タル罐ガ輸入稅ヲ拂ッテ居ルノデハナイノデアリマスカラ問題外デアリマス、ソレデ輸出ノ水産罐詰ハ、現在デハ輸入稅ヲ拂ッテ居ルモノハ極メテ僅デアルト思フノデアリマスガ、兎モ角モ水産罐詰ノ起ッタノハ日露戰爭ノ頃デアリマシテ、是ハ軍用ノ關係上、是非内地生産ヲ必要トスルト云フコトガ非常ナ苦心ノ始マリデアツテ、ソレガ爲ニ今ノ盛大ヲ見タノデアリマス、所ガ罐詰ガ良ク出來テモ、其重要ナ材料タル鐵力ハ内地デ出來ナイト云フコトニナリマスレバ、是亦戰爭其他ノ事變ノ際ニ何等ノ效果ヲ生ジナイト云フコトニナリマシテ、其點ニ付キマシテ水産業者ト雖モ非常ニ憂ヘテ、若シ關稅ノ賦課デモアレバ鐵力製造工場ヲ造リタイト云フ製罐業者モアルノデアリマス、斯ノ如キ際ニ拘ラズ、此大キナ關稅ヲ鐵ニ付テ變更ヲ加ヘナガラ、鐵力ノコトヲ考ヘラレナカッタト云フコトハ、實ニ私ハ不思議ニ堪ヘナイ、ソレデ色々押問答ヲスル時間モナイノデアリマスカラ、一括シテ御答ヲ願ヒマスガ、兎モ角此從量稅ニ對シテノ一律一體ノ三割五分ト云フモノハ、多少考ヘナケレバナラヌト云フヤウナ御話モアルノデアリマシテ、本年ノ通常議會ナドニハ、多少ノ修正ヲ豫期シ

テ居ラレルヤウニ思ヒマスガ、サウ云フ場合ニ於テ、斯ノ如キ産業保護上必要ナル、而モ今迄屢、論ゼラレテ解決サレナカッタ問題ヲ、是非トモ御解決ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、其點ニ付テノ商工大臣及ビ大藏當局、水産局關係ノ御答ヲ御願シテ置キタイ

○中島國務大臣 私ニ關スル限リノコトニ付テ御答申上ゲマス、只今田島君ヨリ御注意ニナリマシタ鋳力ニ對スル關稅引上ノ點、是ハ必ズシモ取除ケテ居ルト云フ譯デハゴザイマセヌノデ、田島君十分ニ御承知デゴザイマス通り、現ニ製鐵所ニ於テ若干ノ製造ヲ見テ居ル譯デアリマス、之ヲ此度豫算ニ計上致シマシテ、皆サンノ御協賛ヲ經マシテ、鋳力製造工場ノ擴張ヲ致スコトニナリマシタ、此擴張ガ一旦成就シマシタ上デ、内地需給ノ關係ヲ見計ヒマシテ、其際若シ更ニ鋳力ニ付テノ關稅ニ考慮ヲ加フベキ必要ガアリト認メマシタ場合ハ、改メテ此問題ヲ考慮致シタイ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマシテ、必ズシモ忘失致シマシタ譯デハナイノデアリマス、此點ヲ御諒承願ヒマス

○堀切政府委員 只今ノ田島サンノ御說ハ、大藏當局トシテハ全然御同感デアリマス

○戸田政府委員 水産ノミデハナイノデアリマスガ、水産ガ主デアリマスガ、

肉類デアリマスとか、其他ノ鮭鱒等ノ水産ノ方ノ關係カラ申シマス、是ハ色々ナモノガアリマスカラ、總テガサウデハアリマセヌガ、物ニ依リマス、罐代ガ、例ヘバ佛蘭西ヘ輸出ヲ近頃圖ッテ居リマス、鰯ノ罐詰ナドニナリマス

ト、小サイモノデアリマスカラ、割合ニ中味ヨリモ罐代ノ方ガ多クナリマス、五〇「バーセント」位ニナルト云フモノモ中々アルト云フコトニナリマス、隨テ昭和四年、例ヘバ製鐵協議會等デ論ゼラレタヤウナ案、百斤三圓案ト云フモノニ付テ考ヘルト、中味ヨリモ罐代ノ方ガ高クナルト云フヤウナ關係ガアリマスノデ、大ニ考究ヲ要スル問題デア

ルノデアリマス、ソレカラ又内地ノ鋳力ノ品質問題モ多少論ゼラレテ居ルノデアリマスガ、是ハ製鐵所ノ製品ガ段段良クナッテ來テ居リマスノデ、從來ヨリ其部分ニ付テ論ゼラレルコトハ比較的少クナッテ來テ居ルトハ思ヒマス、サウ云フヤウナ譯デアリマシテ、考究ヲ要スル問題デアリマスノデ、直ニ宜イト云フ風ニハ私共トシテハマダ其處迄ノ結論ニハ達シテ居リマセヌ

○中島(彌)委員 今ノニ聯關シテホンノ一分——製鐵所ノ薄板ハドウナッテ居ルノデスカ、外品ニ對シマシテ日本ノ方ノ蟹ノ罐詰業者其他ノ人ガ反對スル所以ハ、小サナ孔ガ開イテ、外品ニ敵ハ

スト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、其處ヲ考慮ニ入レナカッタノデハナイノデスカ

○戸田政府委員 其點ハ當業者ノ言フ所ニ依リマス、物ニ依ッテ違フノデゴザイマス、實際ニ於キマシテモ、蟹ノ罐詰ナドハ内地品ヲ用ヒテ居リマセヌ、内地品ヲ比較的多ク用ヒラレルモノハ牛肉ノ大和煮ナドニ相當用ヒラレテ居ルヤウデアリマス、ソレデ一概ニ申セマセヌノデ品物ニ依ッテ違ッテ居ルヤウデアリマス

○中島(彌)委員 私ノ言フノハ、日本品ノ鋳力ノ原料ノ薄板ガ、孔ガ明イテ困ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、ソレハ事實デアリマス

○戸田政府委員 サウ云フヤウナ事ガ若干アルト云フ意味カラデアリマセウ、當業者ノ方デハ、物ニ依ッテハ内地品ヲ用ヒナイノガアリマス、蟹ノ罐詰ナドニハ餘リ用ヒテ居ラヌヤウデアリマス

○田島委員 一寸商工大臣ノ御答ニ對シテモウ一言念ヲ押シテ置キタイト思ヒマスガ、製鐵所ニ新シク鋳力工場ヲ計畫シテ居ッテ、其成果ニ依ッテ稅ヲ考ヘルト云フヤウナ仰セデアリマスガ、ソレハ一應御尤モニ拜承シマスケレドモ、此鋳力ト云フノハ鐵製品中ノ最モ高級品デアリマシテ、鋳力ニ對シテ百

斤七十錢位ノ關稅、若クハソレニ近イ位ノ關稅デ以テ満足スルコトガ出來ルヤウデアリマスレバ、日本ノ鐵工業ハ非常ニ進歩シタノデアッテ、他ノ鐵關稅ハ總テ御廢メニナッテ然ルベシト云フヤウナ考ヲ起スノデアリマス、ソレデ少シ私ノ申シ方ハ極端ニ失スルカモ知レマセヌガ、少クトモ此鋳力製品ニ對シテ關稅ヲ増徴スル必要ノアルコトハ、若シ他ノ鐵製品ニ對シ、殊ニ銑鐵等ニ對シテ關稅ヲ増徴スル必要ガアレバ當然ノコト、思フノデアリマス、其點ヲ

申上ゲテ更ニ御意見ヲ伺ッテ置キタイ

○中島國務大臣 只今ノ御質問ニ御答致シマス、無論只今申上ゲマシタ製鐵所ノ鋳力工場ノ完成ノ曉ニ於テ、更ニ他ノ釣合上、當然上ゲテ宜イモノデゴザイマスレバ、其際ニ考慮ヲ致シタイ、斯ウ存ズル次第デゴザイマス

○永田委員 時間モ切迫シテ居リマシテ、皆サンニ甚ダ御氣ノ毒デスガ、私玉蜀黍ノ關稅ニ付キマシテ一寸御伺ヒシタイ、實ハ數年來ノ問題デアリマスガ、私モ此事情ハ詳シク知ッテ居リマスノデ、委員ノ今井君ナドモ能ク御存知ノコトデ、改メテ諄々シク御尋スル程ノ必要ハナイノデス、併シ此問題ガ生ジマシタノハ、「コーン」・フロダクト・カン

パニー」ト云フモノガ現ハレタコトニ依ッテ激成サレタ問題デ、其會社ハ亞米

利加人ノ會社デ、何カ誤解デモ招カレ
ルコトハ甚ダ國際金融上面白クナイト
思ヒマス、其誤解ヲ解ク爲ニ當局ノ御
答辯ヲ願フテ、速記録ヲ通ジテ諒解サセ
タイト思フヤウナ關係カラ御伺スルノ
デアリマス、素人ラシイコトヲ御伺ス
ルヤウデスガ、事情ハ知ラヌ譯デハア
リマセス、時間ガアリマセヌカラ、サッ
サト讀ミマスカラ御筆記ヲ願ヒマス

本關稅ノ引上ハ北鮮ニ一千萬圓ノ大
キナ資本ヲ投ジテ設立セラレタ新事
業、即チ日本「コーン・プロダクト・

カンパニー」ノ進展ヲ阻止スルコト

ノ極メテ大ナルモノガアル、朝鮮

ノ此「コーン・プロダクト・カンパニー」

ノ出來タ結果、約五百人ノ人ガ收容

サレテ居ル、工場ニ働イテ居ル、又其爲

ニ今迄事業ガナカッタノニ事業ガ出來

タノデ、ソコデ石炭、或ハ動力業者ト云

フヤウナモノモ、玆ニ需要途ガ出來テ

利益ヲ得テ居ル、其次ニハ過去ニ於テ

朝鮮デハ約六十萬石ノ玉蜀黍ヲ產シテ

居ッタノニ過ギナイノデアアルガ、「コー

ン・プロダクト」會社ガ出來テ以來、此
會社ガ新シク二十四萬石乃至三十六萬
石ノ玉蜀黍ヲ消費スルヤウニナツテ、ソ
レデ朝鮮ノ產業ヲ大ニ刺戟シテ、其爲
ニ朝鮮ノ玉蜀黍生産ト云フモノガ殖エ
ツ、アルト云フ傾向デアアル、是等モ要
スルニ自分ノ會社ガ外國ノ資本ヲ持ッ
テ來テ、一千萬圓モ投資シタ結果デア
ル、斯ウ云フ建前カラ考ヘルト云フト、
今更自分ノ會社ガ不利益ヲ與ヘルヤウ
ナコトハドウモ甚ダ困ル、今マデマダ
朝鮮ダケノ玉蜀黍デハ足ラナイカラ、
滿洲或ハ南洋カラ這入ッタノデアアルガ、
其目的ハ朝鮮自身ニ於テ玉蜀黍ノ出來
ルコトヲ、會社ガ希望シテ居ルヤウナ
次第デアリマス、ソレヲ斯ウ云フ風ニ
急激ニ關稅ノ引上ヲセラレテハ甚ダ迷
惑ダ、斯ウ云フノデアリマス

ソレカラ玉蜀黍ニ對シマシテ斯様ナ
確實ニ買手ガアル、安ケレバ買フ、高ケ
レバ買ハヌト云フノデナシニ、チャン
ト一定ノ數量ヲ買フト云フ確實ナ買手
ガ出來タ、之ヲ栽培ヲスルノニ朝鮮總
督府ノ補助、補給ガアルト云フヤウナ
コトノミデ、農民ガ玉蜀黍ヲ作ルノデ
ナイ、買手ガシツカリ出來タカラデア
ル、自分等ノ働キヲ全然政府ハ認メテ
居ラヌ、ソシテ寧ろ關稅ヲ課シテ行ク
ト云フヤウナコトハ、公正嚴正ナル日
本ノ政治ヲ疑ハナケレバナラス、日本
「コーン・プロダクト」會社ノ出來タコ
トニ依ツテ、從來日本ニ入ッテ居リマス
ル糊「コーン・スターチ」、年産輸入額八
千乃至一萬噸モアル、又「デキストリ
ン、ブリチッシュ・ガム」「チユーインガ
ム」見タヤウナモノト思ヒマスガ、ソレ
モ以前輸入ガアッタガ、現在ハ日本「コ

ーン・プロダクト」會社ノ「コーン・スタ

ーチ」ガ出來ル爲ニ、是等ノ輸入モナク

ナツテ來タ、又家畜ノ飼料ガ此會社ノ飼

ヲ造ッタ糟ガ、家畜ノ飼料ニナルノダサ

ウデス、此家畜ノ飼料モ年々輸入額ガ

一萬五千噸位アッタノガ、ソレガ此會社

ノ副産物ニ依ッテ飼料ガ補ハレテ、日本

ノ養鶏業ヲ非常ニ助ケテ居ル、其原料

品ヲ高クスレバ、日本ノ養鶏業ガ困ッテ

シマフ、矢張利益ハナイノデハナイカ

ト云フヤウナコトヲ申シテ居リマス、

又今度ハ籲リマシテ、此關稅ヲ課ケル、
斯ウ云フヤウナ人ノ説明ヲ聽イテ見ル
ト、詰リ關稅ヲ課ケルト云フ今ノ「コー
ン・プロダクト・カンパニー」ニ對スル
反對者ノ言フ所ニ依ルト云フト、國產
ノ「コン・スターチ」ト競争スル、馬鈴薯
ノ「コーン・スターチ」ト競争スルト云フ
ガ、ソレハ競争スル積リガナイ、品物ガ
違フノダカラ、是ハ先日田島君カラモ
既ニ質問ガアッタコトデアリマス、隨テ
速記録ニ載ッテ居リマスカラ、重複致シ
マスルガ伺ヒタイ、サウ云フ譯デ競争
ノ立場ニナイノダカラ、關稅ヲ重課シ
テ來ヌデモ宜イデヤナイカ

ソレカラ又從來外國カラ輸入ヲ仰イ
デ居ッタ織物業者ト云フモノハ、此高級
「スターチ」ヲ成ベク安ク、低廉ニ供給サ
レルコトヲ熱望シテ居ル、其爲ニ會社
ハ供給シテ居ルカ、ソレモ高クナツテシ
マフト云フコトヲ申シテ居ル、是モ田
島サンカラ御尋ガアッタ點デアリマス、
サウ云フ譯デアアルカラ、織物業者ハ此
玉蜀黍關稅ノ引上ハ、自分等ト共ニ反
對ニ反對シテ居ルノダ、其織物業者ヲ
見殺ニシテ迄、自分ノ會社ニ利益ヲ與
ヘルノハ洵ニ困ルト云フコトガ、大體
彼等ノ意見デアリマス

サウシテ更ニ進ミマシテ、關稅調査

委員會ヲ開イタ際ニ、自分等ノ會社ノ

利益ヲ代表シテ、サウシテ意見ヲ述ベ

タイト思ッテ居ッタガ、其意見ヲ述ベ

ル機會ヲ與ヘズニ、急ニ委員會ヲ召集シ

テシマツテ、連モ朝鮮カラ列席スルヤウ

ナ汽車ニ間ニ合ハナイヤウナコトヲシ

テ居ル、是等ハ無論斯ウ云フコトニナ

ルノデアリマシテ、別ニ私ハ是ガ政府

ノ失策トハ思ッテ居リマセヌケレドモ、

彼等ハサウ見テ居ル、又一般ノ「コーン

スターチ」ノ關稅ハ、三割五分ノ引上ニ
ナツテ居ル、此玉蜀黍ノミガ今回四十六
割六分ニ當ルヤウナ引上ニナツテ居ル、
隨テ完成品ヲ造ッテ居ルモノヲ、公正且
ツ妥當ニ保護ヲシナイト、粗製品ガド
ン／＼入ッテ來ルヤウナ結果ニナリハ
シナイカ、サウシテ見タナラバ、露西亞
或ハ亞米利加等カラドン／＼入ッテ來
テ、サウシテ結局斯ウ云フ關稅ヲ設ケ
テモ、何等日本政府ノ玉蜀黍獎勵ト云
フコトニハナラヌコトニナリハシナイ

カ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデア
リマス、之ヲ要スルニ亞米利加ノ資本
ガ玆ニ入ッテ來テ、其資本ヲ日本政府ガ
壓迫スルノデハナイカト云フ疑ヲ持ッ
テ居ルノデアリマス、此點ニ對シマシ
テハ、單ニ關稅ノミデハアリマスマイ
ガ、朝鮮總督府トシテハ玉蜀黍ノ原料
ヲ無暗ニ高クナラヌヤウニ、又農民ヲ
保護獎勵シマシテ、サウシテ安イ原料
ガ入ッテ、「コーンスターチ」ガ必シモ高
クナラヌト云フヤウナ、色々ナ腹案ヲ
御持チダラウト思フ、之ヲ一ツ委員會
ヲ通ジテ御聲明ヲ願ヒマスレバ、私ハ
大變產業上、外國關係ニ於テ利益ダラ
ウト思ヒマス、甚ダ詰ラスコトカモ知
レマセヌガ、御尋スル次第デアリマス、
ドウカ成ダケ詳細ニ御答辯ヲ願ヒタイ
ト思フノデアリマス

○中島政府委員 只今永田サンカラ日
本「コーン・プロダクト・カンパニー」ノ
コトニ付テ、詳シク内容ノ御話ガアリ
マシタ、冒頭ニ御話ノアリマシタヤウ
ニ、外國人關係ノ會社デアリマスカラ
シテ、速記録ヲ通ジテ誤解ヲ防グト云
フコトハ、洵ニ私ハ適當ナ考ダラウト
思ヒマス、只今御言葉ノ中ニ關稅ノ調
査會ヲ開イテ、日本ノ實情ヲ聽カナケ
レバナラヌ場合ニ、突如トシテ關稅ノ
調査會ヲ開イテ、十分先方ノ實情ヲ實
査シナカッタ、餘リ實情ヲ究ハメズシ

テ、突如トシテ高イ關稅率ヲ盛ッタト云
フヤウナ意味合ノ文句ガアッタヤウニ
考ヘマスカラ、大藏當局ト致シマシテ、
一言申上ゲテ見タイト思ヒマス

玉蜀黍ノ關稅ニ付キマシテハ、昨年
既ニ五十九議會ニ於キマシテ、議員ニ
於キマシテモ、十分審議サレタ所デア
リマス、隨テ議會終了後ニ於キマシテ
モ、大藏省關係當局トノ間ニ、數次ノ研
究ヲ遂ゲラレテ居ルノデアリマス、殊
ニ昨年ノ、日ハ正確ニ記憶シテ居リマセ
ヌガ、慥カ十一月中旬ダッタ思ヒマス
ガ、北海道、農林省、商工省、ソレカラ
「コーン・プロダクト」會社關係ノ方モ
其席ニ御列席ニナッテ居ッタ、其處デ數
時間ニ互リマシテ、大藏省デ慥カ大藏
大臣官舎ト記憶シテ居リマスガ、十分
御審議ニナッテ居ル、其後引續キマシ
テ内部ニ於キマシテモ、十分ナル調査
考究ヲ遂ゲマシテ、且ツ月日ハ覺エマ
セヌガ、關稅調查會幹事會ト致シマシ
テ、四月ト思ヒマスガ——四月下旬ニ
大藏省ニ御集リヲ願ッテ、サウシテ能ク
向フノ實情モ拜聽致シタノデアリマ
ス、只今ノ永田君ノ御話ノ中ニハ、關稅
調査會ト云フ御言葉ガアリマシタガ、
調査會ニハ當業者、關係者ノ御列席ハ
ナイノデアリマス、是ハ調査會ハ御承
知ノ通り調査會デアリマシテ、此席デ

「ヒヤリング」致シマスルコトハ全然ナ
イ建前デアリマスカラ、其席上ニ御呼
ビスルト云フコトハ、是ハ當然アリマ
セヌ、今ノ御話ハ多分關稅調查會幹事
會ノ誤リダラウト思フノデスガ、幹事
會ニ於キマシテモ、必ズ關稅ノ問題ヲ
決スル場合ニ、當業者ノ關係ノ方ヲ全
部呼ブト云フコトハ從來致シテ居リマ
セヌ、併ナガラ此問題ハ、殊ニ慎重ニ考
ヘマシテ、特ニ雙方ノ當業者ノ方モ御
集リヲ願ッテ、利害ノ關係ヲ十分極メテ
決シタ譯デアリマスカラ、其點ダケ大
藏當局ト致シマシテ一應御話ヲ申シテ
置キマス

○小平政府委員 農林當局トシテ御答
致シマス問題ガ五ツバカリアルヤウデ
アリマスガ、今大藏當局カラ御答ニナ
タ其他ノ點ヲ除イテ、農林當局ノ關係
ノコトニ付テ御答申上ゲマス、私共ノ
點ハ特ニ外國資本ノ斯ウ云フ事業ニ不
利益ヲ與ヘルノデハナイカト云フヤウ
ナ御質問デアリマシタガ、是ハ實ハサ
ウ云フ目的デ今回ノ改正ヲ致シタヤウ
ナ譯デハゴザイマセヌ、要スルニ既ニ
内地ニ於キマシテ澱粉製造業其他ノ原
料ノ製造業ニ從事シテ居ル者ト同ジヤ
ウニ、平等ニ扱フ意味デ今回ノ關稅ノ
改正案ヲ立案シタ次第デアリマス、詰
リ從來ノ同業者ノ販賣スル價格ニ對
シテ非常ナル脅威ヲ來スノデアリマス
カラ、ソレヲ同ジヤウナ「レベル」ニ致
シマシテ、共存共榮ヲ圖ルト云フ目的
ニ過ギナイノデアリマス、外國ノ資本
デアルト云フ故ヲ以テ、斯ウ云フ改正
案ヲ考ヘタノデハアリマセヌ、外國ノ
資本デナクとも、假ニ日本ノ資本デ斯
ウ云フモノガ出來テモ、同ジヤウナコ
トニナルデハナカラウカト考ヘテ居リ
マス、ソレカラモウ一ツノ第二ノ點ハ、
品其モノガ全然無クナルト云フ御意見
ノヤウニ拜聽致シテ居リマシタガ、成
程品物ノ無クナル部分モアルノデアリ
マスガ、併シ此「コーンスターチ」ガ安
ク出來ルト云フト、内地ノ馬鈴薯澱粉
甘藷澱粉ガ十分買ヘルノデアリマス、
又現ニ「コーン・プロダクト」會社ニ於キ
マシテハ、飴ヲ製造シテ居リマス、「コ
ー」原料トシテ、加工ノ途行ハ同ジ
デアリマス、飴ノ製造モ「コーンスタ
ー」ノ製造モ同ジデアリマス、途中ニ於
テ一方ガ飴ニナリ一方ガ「コーンスタ
ー」ニナル、現ニ飴ヲ盛ンニ製造シテ
居リマシテ、是等ノ販賣價格ガ非常ニ
安イノデアリマス、從テ内地ノ多數ノ
飴製造業者モ非常ナ脅威ヲ受ケツ、ア
リマス、現ニ朝鮮デ内地ノ飴製造業者
ガ飴ヲ賣ル契約ヲシテ、ソレヲ破棄セ
ザルヲ得ナクナッタ事實ガアリマス、製
品ガ違フカト云フト決シテ違ハナイ部
分ガ相當アルノデアリマスカラ、要ス
ルニ此原料品ニ關稅ヲ課ケマシテ、「コ

「コーンプロダクト」會社ノ製品ハ、製品トシテ分擔スル部分ガ日本ノ産業上十分アルト思ヒマスカラ、其分擔スル部分ヲ分擔セテ、内地ノ既設ノ普通ノ手工業者及農民ノ生産ヲ脅威サセナイヤウニ、共存共榮ヲ行キタイト云フコトニ過ギナイノデアリマス、ソレカラシテ賣物ノ點ニ觸レテ御質問ガアッタヤウデアリマスガ、是ハ從來ノ價格、詰リ此「コーンプロダクト」會社ガ、特ニ安イ物ヲ賣出スト云フコトニ付テ考慮ヲシタノデアリマシテ、別ニソレ以上ノ、今迄二三年課シテ來タ此澱粉ノ價格以上ニ上ゲルヤウナ考ハ持ッテ居ラナイノデアリマスカラ、御互ノ共存共榮ノ上カラ言ッテ、特ニ當業者ニ打撃ヲ與ヘルヤウナコトハナイト私ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラモウ一ツノ點ハ、サウスレバ外國カラシテ、露西亞等カラシテ安イ「コーンタスター」ガ入ルコトハナイカ、現在ノ「コーンスター」ノ關稅カラ考ヘマシテ、サウ云フモノハナカラウト考ヘテ居リマス、是ハヤハリ内地ノ澱粉モ、亦此「コーンプロダクト」會社ノ製品モ同ジヤウニ保護サルベキモノデアリマシテ、若シ是ガ爲ニ外國カラシテ「コーンスター」ガドンノ入ッテ來テ、「コーンスター」チ類似ノモノニ脅威ガ加ハルト云フノナラバ其時ニ同ジヤウニ平等ニ考慮セラ	ルベキモノト考ヘテ居ル次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス ○今井田政府委員 朝鮮總督府トシテ一應御答申上ゲマス、玉蜀黍ノ關稅ノ引上ノ理由ハ先程來他ノ委員ヨリ十分御述ベニナリマシタコト、考ヘマス、總督府ト致シマシテハ、現在存在スル會社ノ業務ヲ著シク壓迫スルト云フヤウナコトノナイヤウニト云フコトハ固ヨリ考ヘテ居リマシタノデアリマス、今回ノ引上ニ依リマシテ、會社ノ經營ニ多少ノ影響ハ勿論アルコト、考ヘマスルガ、併シソレニ依リマシテ會社ノ事業ノ經營ヲ著シク困難ナラシムルト云フコトハナイヤウニ存ジテ居リマス、殊ニ朝鮮ニ於キマスル玉蜀黍ノ産額ハ多少ゾ、デモアリマスガ、年々殖ヘテ參リマス、最近兩三年ノ産額ハ約六十萬石内外デアリマス、「コーンプロダクト」會社ノ使用豫想數量ハ約三十萬石内外ト存ジテ居リマスガ、左様致シマスレバ朝鮮ニ於テ現ニ生産セラレテ居リマスル生産額ノ約半額内外ノモノニ該當スルノデアリマス、此玉蜀黍ノ他ニ利用サレテ居ルモノヲ、他ノ代用品ヲ以テ充當致シマスレバ、此會社ノ原料トシテ使用シ得ル餘地ガ十分アルノデアリマス、殊ニ將來關稅ノ増徴ニ依リマシテ、朝鮮内ノ生産額ガ漸次増加スルト云フコトニナリマスレバ、	關稅引上ノ影響ヲ受ケルコトモ漸次低減サレル、斯様ニナッテ行クノデハナイカト存ジテ居リマス、尙ホ先程來外國關係デアアルカラ將ニサウシタト云フ御話モアリマスノデ申上ゲテ置キマスガ、此關稅々率ノ引上ニ付キマシテハ、私共此會社ノ關係ヲ慎重ニ考慮致シマシテ、會社ニ於ケル原料工賃、生産費其他ノ各般ノ事項ヲ十分ニ承知致シマシテ、妥當ナル關稅ノ引上ニ付キマシテ中央關係當局トモ御協議致シ、先年來會社ニ對シマシテモ十分ナル資料ノ提供ヲ依頼シタノデアリマス、併ナガラ會社ノ都合モアルコトデアリマシテ、十分詳細ナル資料ヲ得ルコトガ困難デアリマス、總督府トシマシテモ非常ニ的確ナ意見ヲ立テルト云フコトニ多少ノ困難ヲ感ジテ居ル事情モアルノデアリマス、其邊モ御諒承シテ戴キタイト思ヒマス ○永田委員 洵ニ色々御親切ニ有難ウゴザイマシタ、斯様ナ御聲明ヲ得マスレバ、速記録ヲ通ジテ、理解セシムルコトニ非常ニ便宜ト思ヒマスガ、此亞米利加人ノ資本家ハ、「ジヤパン・アドヴァタイザー」アタリト關係ヲ有ッテ居ルヤウデアリマスカラ、將來トモ朝鮮總督市ニ於キマシテモ、彼等ノ感情ニ觸ルルコトノナイヤウニ、成ベク御親切ニ總テノ御係リノ諸君等ニ於キマシテモ	御取扱ヒ下サルヤウニ切ニ私ハ希望スル次第デアリマス、ソレダケ御願致シテ置キマス ○東委員長 之ニテ全部質問ハ終了致シマシタ、本月ノ六日以来九日マデ、午前十時カラ午後六時乃至七時頃マデ繼續シテ、諸君ノ熱心ナル質疑應答ガ重ネラレタト思ッテ居リマス、ソレデ、之ヲ以テ質問ハ終了致シタイト考ヘマスガ、如何ナルモノデセウカ 「異議ナシ」ト呼フ者アリ ○東委員長 ソレデハ滿場一致、是デ質問ハ終結致シマシタ、同時ニ、明日ハ本會議ノナイ日ナノデスガ、特ニ此關稅ノ爲ニ議長ニ要求シテ、本會議ヲ開イテ貰フコトニ交渉致シテ居リマス、ソレデ、是カラ明日午前十時マデノ間ニ御出席ヲ願ッテ、各派ノ黨議等モアラウト思ヒマスカラ、其御相談ヲ願ッテ、十時カラ討論ヲ致シマシテ、サウシテ決定ヲ致スコトニ取計ヒタイト思ッテ居リマスガ如何デセウカ ○中島(彌)委員 討論ノ方ハ午後ニ願ヘマセデセウカ、明日ノ朝私共ノ黨ノ幹部會ヲ開クコトニナリマシテ、其結果ト致シマシテ政友會ノ諸君ノ方トモ協議シテ見タイト云フ打合せニナッテ居リマス、政友會ノ諸君ノ中ニモ反對ノ人モアリマスシ、賛成ノ人モアル、色々ナ問題ニ付キマシテ、品物ニ依ッテ
--	---	--	--

ハ皆考ガ變ッテ居ルヤウデアリマスカ
ラ、今日成ベク私共ノ方デハ集マッテ：
○東委員長 今日一ツ御願ヒシタイデ
スネ、今日アナタ方ノ黨ノ方ノ御相談
ヲ願フコトガ出來レバ結構デスガ――
本會議ハ午後一時カラデアリマスルカ
ラ、大體十時開會ト云フコトニ御承知
ヲ願ヒマス、之ヲ以テ散會致シマス
午後五時二十三分散會

昭和七年六月九日印刷

昭和七年六月十日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所